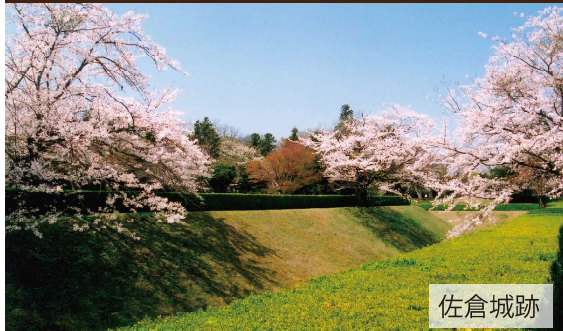


政治・軍事の面で江戸を支えた佐倉



佐倉城跡



佐倉の武家屋敷群

江戸の趣きを感じる町並み・文化



城下町佐倉の町並み



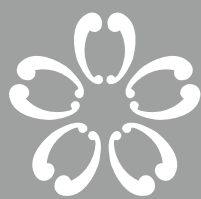
城下町佐倉の祭礼



佐倉道（成田街道）道標

佐倉市教育委員会

佐倉の教育

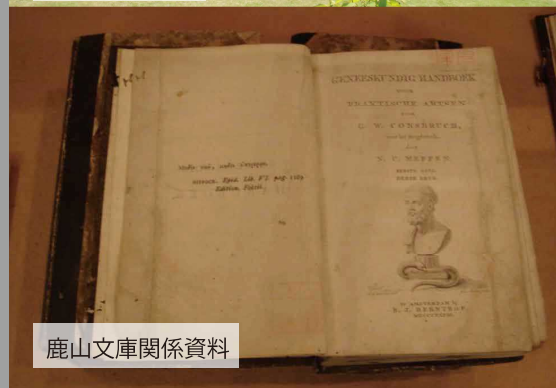


平成
29
年度

蘭学の先進地であった佐倉



旧佐倉順天堂



鹿山文庫関係資料

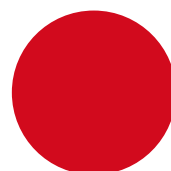
地域の象徴であった大名家・堀田家



旧堀田邸



堀田正俊・正睦・正倫墓



JAPAN HERITAGE

日本遺産

佐倉市を含む

「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」が
日本遺産に認定されています。

佐倉市教育の日 11月16日

今後の佐倉市が多くの人材を育てる「まち」として着実な歩み続け、一層の充実が図られ、確かな人づくりを進めることを目的として、「佐倉市教育の日」を制定しています。

期日の由来は：佐倉藩主堀田正睦公が天保4年(1833)11月16日、藩政改革を宣言した日にあたり、これが佐倉藩の学問興隆の契機になった日です。

(平成17年3月24日制定)

佐倉市民憲章

わたしたちは、印旛沼湖畔のきれいな空気と、緑と太陽と歴史に恵まれた佐倉市民です。全市民は力を合わせて、この憲章を守り、理想のまちをつくりましょう。

1. 私たちは、美しく清潔なまちをつくりましょう。
1. 私たちは、公衆道徳を守り、スポーツを愛し、明るいまちをつくりましょう。
1. 私たちは、歴史や自然を大切にし、おくゆかしいまちをつくりましょう。
1. 私たちは、老人を敬い、子どもを愛し、あたたかいまちをつくりましょう。
1. 私たちは、創意と努力をもって、豊かなまちをつくりましょう。

(昭和45年12月23日制定)

平和都市宣言 ～非核三原則を守り核兵器廃絶をめざして～

豊かな自然に恵まれた歴史と文化のまち佐倉。この良好な環境のなかで、やすらぎに満ち、健康で平和な生活を維持することが佐倉市民共通の願いです。

佐倉市民は、悲惨な紛争や戦争のない世界を強く願い、軍縮の推進はもとより、特に、人類および地球の破滅につながる核について非核三原則を守り、核兵器の全面禁止と廃絶をめざして、最大の努力をしなければなりません。

戦後50年目の年にあたり、佐倉市民は、戦争の犠牲者に追悼の誠を捧げ、国際社会の一員として、国際協調の視点をふまえ、世界の恒久平和を実現するために「平和都市」を宣言します。

平成7年8月15日

佐倉市

人権尊重・人権擁護都市宣言

わたしたちは、個性を認めあい、協調性のあるまちづくりをすすめています。

みんなの顔がきらめいて、希望にあふれる都市をつくりたいと願っています。

それは、一人ひとりが大切にされ、人間らしく生きることができるところにすることです。

そのために、わたしたちは基本的人権を正しく理解して、人権感覚の向上に努めなければなりません。

わたしたちは、差別や偏見をなくすために、人権尊重の教育や啓発活動に積極的に取り組みます。

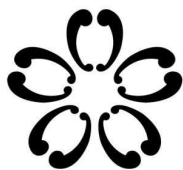
そして、わたしたち一人ひとりが、人権擁護のまちづくりの主人公となるため、ここに佐倉市を

「人権尊重・人権擁護都市」とすることを宣言します。

平成9年2月24日

佐倉市

市章



この市章は、佐倉藩主堀田氏の紋章の一つであって、出陣に際して使用したものです。

図案は、陣馬の「クツワ」につける鐙を組み合わせ、桜花となし、これを鐙桜といいます。

鐙は陣馬操縦にあたり馬口を引き締める大切な道具です。

市章は市民がこん然一体となり、心を引き締めて市の建設発展にまい進する強い意思を表し、桜は佐倉に通じて平和でうらかな市民の心意気を示しているものです。

(昭和30年4月1日制定)



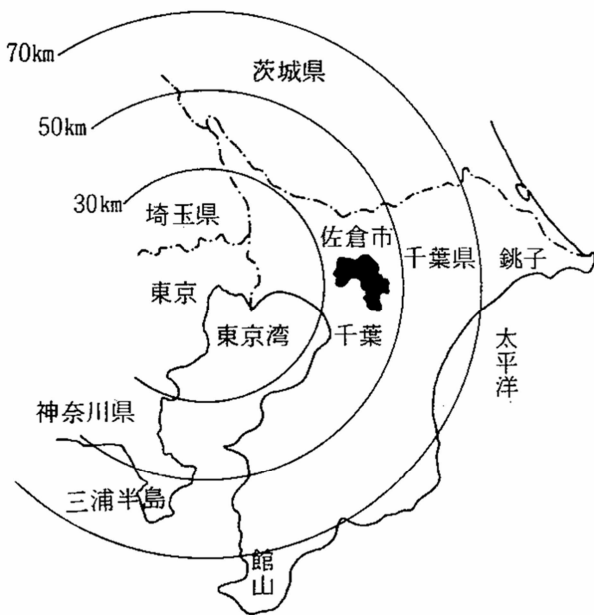
佐倉市民憲章
マスコットキャラクター
みらいくん

—目次—

I	佐倉市の概要	1
II	佐倉市教育委員会教育長及び教育委員	3
III	平成29年度教育目標	4
1	教育ビジョンに基づく施策の内容	10
2	教育センター事業	23
3	公民館事業	24
4	図書館事業	31
5	市民音楽ホール事業	33
6	美術館事業	35
7	佐倉学	36
8	コミュニティ事業	40
IV	学校紹介	41
〔資料編〕		
I	教育行財政	
1	歴代教育長及び教育委員	54
2	平成28年度教育委員会会議	55
3	平成28年度教育功労者等	56
4	教育委員会機構	57
5	職員数	58
6	教育費予算・決算	59
II	教育関係施設	
1	佐倉市立の教育施設マップ	63
2	学校一覧	
(1)	市内幼稚園・幼保連携型認定こども園	64
(2)	市立小・中学校	65
(3)	県立高等学校	66
(4)	短期大学	66
3	学校施設一覧	
(1)	教室等施設	67
(2)	建物・校地面積	68
4	社会教育等施設一覧	70
5	社会体育施設一覧	71
III	その他	
1	児童生徒数の推移	72
2	スポーツテスト実施状況	73
3	スポーツ施設利用状況の推移	74
4	指定・登録文化財一覧	75
5	市民文化資産一覧	77
6	日本遺産	77
7	「北総四都市江戸紀行」日本遺産認定について	78
8	佐倉市教育大綱	81

I 佐倉市の概要

I - 1 位置及び地形



方 位	東 経	北 緯
極 東	1 4 0 ° 1 8 ’	3 5 ° 4 1 ’
極 西	1 4 0 ° 0 7 ’	3 5 ° 4 2 ’
極 南	1 4 0 ° 1 5 ’	3 5 ° 3 7 ’
極 北	1 4 0 ° 1 2 ’	3 5 ° 4 5 ’

(1) 位置

本市は、千葉県北部、北総台地の中央部に位置し、都心から東へ40 k m、県都千葉市から北東へ20 k m、成田国際空港から西へ15 k mの所にある。

東西・南北は各15.9 k mで、東部は酒々井町、東南部は八街市、南西部は千葉市と四街道市、西部は八千代市に接し、北部は印旛沼を隔てて印西市に相對している。

行政面積は103.69 k m²である。

(2) 地形

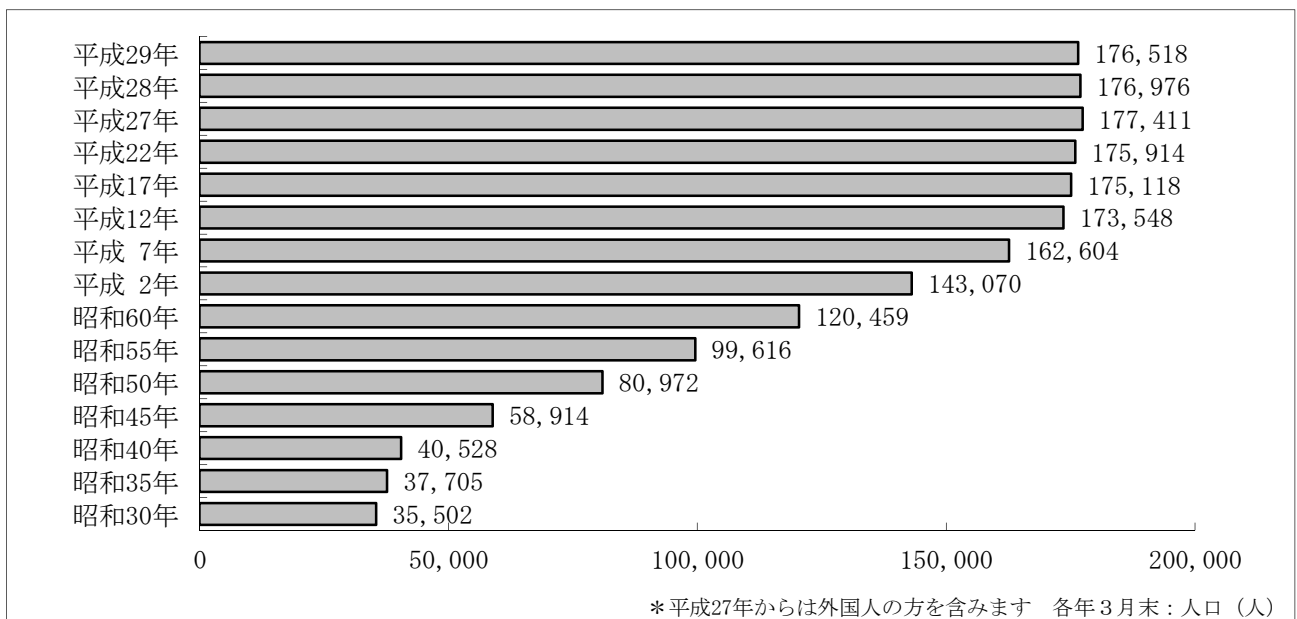
当市域は印旛沼の南方に展開する低地と台地であるが、これを区分すると、沼沿い並びにこの沼に注ぐ小河川沿いの谷津を併せての低湿地と洪積層の台地、それと両者の間の傾斜地の三部に区分することができる。

市役所の位置

東経 1 4 0 ° 1 3 ’ 2 6 ”

北緯 3 5 ° 4 3 ’ 2 6 ”

I - 2 人口の推移



I - 3 沿革

原始・古代

印旛沼と沼に注ぐ河川がもたらす水利のよさや比較的温暖な気候に恵まれた佐倉市域には、原始・古代から人々の営みがあり、その痕跡が残っています。

旧石器時代の生活は、星谷津遺跡等の調査結果からうかがわれ、縄文時代になると遺跡数は次第に増加します。上座貝塚からは海の貝が出土し、内海が迫っていたことがわかり、吉見台遺跡では縄文時代後期の大規模集落、井野長割遺跡では環状盛土遺構が発見されました。

弥生時代では江原台遺跡や六崎大崎台遺跡が著名で、印旛沼を中心とする地域色の濃い文化の存在がうかがわれます。

古墳時代以降は次第に地方色は薄れ、全国的に文化の画一化が進むようになり、高岡遺跡群では、中央政権の影響が波及した様子がうかがわれます。

中世

佐倉市域には平安時代末まで、印東荘・白井荘等の荘園があり、上総一氏が勢力を持っていました。

鎌倉幕府成立以降は、現在の千葉市を本拠地とする千葉氏が進出し勢力を伸ばしました。戦国時代の動乱の中、千葉氏は本佐倉城(佐倉市・酒々井町)を築き、新たな本拠地としました。

戦国時代の終わり頃には、千葉一族の鹿島幹胤が現在の佐倉城址公園の地に鹿島城の築城を始めましたが、途中で中断されてしまいました。さらに、天正18年(1590)の小田原北条氏の滅亡とともに千葉氏も滅亡すると、徳川家康の家臣や一門が佐倉を治めるようになり新たな時代を迎えることとなりました。

近世

慶長15年(1610)に土井利勝が佐倉に封ぜられると、翌年から鹿島城の跡に新たに佐倉城を築き、城下町の整備を始めました。以後、佐倉は江戸を守る重要な地として、代々幕府の要職を務める有力な譜代大名が治めました。佐倉は、佐倉道(成田街道)の要衝でもあったため、宿場町の臼井とともに江戸への物資の輸送や、成田山参詣の往来でにぎわいました。

歴代城主の中でも堀田氏は、寛永19年(1642)～万治3年(1660)までと、延享3年(1746)～明治2年(1869)の版籍奉還までと最も長く佐倉を治めました。幕末期の城主堀田正睦は早くから西洋の学問に注目し、藩校では医学や兵学の研究も盛んに行われました。正睦は、老中として日米修好通商条約の締結に向け尽力しました。

近代・現代

明治4年(1871)の廃藩置県で佐倉藩は佐倉県とな

り、後に印旛県に再編されました。明治6年6月15日に印旛県と木更津県が統合され千葉県が誕生、佐倉に郡役所が開設されるなど、地方行政の中心となりました。また、佐倉城跡に歩兵連隊が置かれ、第二次世界大戦終結まで、「連隊の町」として栄えました。

戦後復興期の昭和29年3月31日、佐倉町・臼井町・志津村・根郷村・弥富村・和田村の六町村が合併し、佐倉市が誕生しました。その後、旭村・四街道町の一部を編入し、現在に至ります。

昭和40年代以後、住宅団地の造成により人口が急増し、小中学校の建設も進みました。昭和55年4月には、県内で12番目の人口10万人の市となりました。(現在の人口:約17万7,000人)

その一方、豊かな自然環境や城下町としての歴史を背景に、昭和58年、国立歴史民俗博物館が開館します。昭和62年には、蘭学が栄えた歴史を縁に佐倉日蘭協会が設立され、日蘭児童交流など、オランダを身近に感じる事業を通じて特色ある国際交流を進めています。

学校建設が進む中で、図書館・公民館のほか、佐倉市民音楽ホール(昭和59年)、市立美術館(平成6年)、佐倉順天堂記念館(昭和60年)、佐倉武家屋敷(平成2年)、旧堀田邸(平成11年)を整備・開館し、地域の歴史、文化を広く全国に発信しております。

また、平成7年には「佐倉市平和行政の基本に関する条例」を県内で初めて制定し、平和都市として恒久平和の実現を目指しています。

佐倉市には、自然・歴史・文化に加え、郷土の優れた先覚者がいます。これらを学び、将来に生かすため、平成15年度からは「佐倉学」の取組を開始し、佐倉市の特色ある教育を進めています。

平成22年(2010)は、土井利勝が佐倉の領主となった慶長15年(1610)から400年目にあたり、佐倉市ではこの節目を記念して、平成29年度までの間、「佐倉・城下町400年記念事業」を行い、市の歴史・文化や魅力を全国に発信しているところです。

平成23年3月には「第4次佐倉市総合計画」の将来都市像として、～「佐倉」への思いをかたちに～「歴史 自然 文化のまち」を掲げ、薫り高い文化の創造と快適なまちの実現を目指し、まちづくりを進めています。

平成24年度には、佐倉とゆかりのある女子美術大学及び順天堂大学、平成25年度に東邦大学、平成26年度に千葉敬愛短期大学、東京情報大学及び敬愛大学、平成27年度に国立歴史民俗博物館、平成28年度には日本大学生産工学部と連携協定を結び、教育や文化など多方面に、活気あふれる新たなまちづくりの活動に取り組んでいます。

平成28年4月には「北総四都市江戸紀行」の「城下町佐倉」として「日本遺産」に認定されました。

Ⅱ 佐倉市教育委員会教育長及び教育委員

(平成29年 6月 1日現在)



茅野 達也
(教育長)



関山 邦宏
(教育長職務代理者)



田邊 俊彦
(委 員)



菅谷 義範
(委 員)



熊倉 夏子
(委 員)

役 職 名	氏 名	任 期	就 任 日
教 育 長	茅野 達也	平成28年10月2日～平成31年10月1日	(教育長) 平成28年10月 2日 (委 員) 平成25年 4月 1日
教 育 長 職務代理者	関山 邦宏	平成26年10月2日～平成30年10月1日	平成 5年 6月 8日
委 員	田邊 俊彦	平成25年6月30日～平成29年6月29日	平成21年 6月30日
委 員	菅谷 義範	平成25年10月6日～平成29年10月5日	平成21年10月 6日
委 員	熊倉 夏子	平成28年10月1日～平成32年9月30日	平成28年10月 1日

Ⅲ 平成２９年度 教育目標

〔基本理念〕（佐倉教育ビジョンより）

よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、
心豊かな市民をめざす“佐倉の教育”の実現

〔めざすべき佐倉市民像〕（佐倉教育ビジョンより）

- 佐倉に誇りと愛着を持つ人
- よく学び、自ら考え進んで行動する人
- 豊かな心と創造力に富む人

〔基本方針〕（佐倉教育ビジョンより）

- 地域の教育力のさらなる向上と市民参加の促進をめざす
- 豊かな心と学ぶ喜びに満ちた学校教育をめざす
- 郷土への愛着を育み、進取の精神による新しい文化の創造をめざす
- 教育環境を整え、多様な学習機会の提供をめざす

〔平成２８年度施策の主な成果〕

平成２８年度は、『佐倉教育ビジョン（後期）推進計画（平成２８年度～３１年度）』の１年目として、４年後の達成目標に向けて、着実かつ効果的な事業展開と教育内容の充実に取り組みました。

施策の主な成果について、佐倉教育ビジョンの重点事業から特色のあるもの、新たに取組んだ事項などから、主なものを以下に表記します。

なお、施策事業の実績・成果及び評価については、「教育委員会の事務執行にかかる点検評価報告書」を作成し公表いたします。

- （１）児童生徒の登下校の安全確保のため、警察・道路管理者と対策を検討し、改善を図りました。また、スクールガードフォーラムを開催し、地区情報交換会の実施や地域の見守り活動等の取り組みを推進しました。各学校で開催する教育ミニ集会においても、防犯の取り組み状況等をテーマにするなど、地域の方々とともに子供の安全に関する理解を深め、意識を高めました。
- （２）【拡充】市立幼稚園における預かり保育時間の延長等を実施し、幼児教育の拡充を図りました。
- （３）地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、まちづくりに参加できる人材を育成するため、「コミュニティカレッジさくら」を開講し、４９名の学生が学習に取り組みました。地域づくりのリーダーを目指し、社会の現状と課題について学びました。
- （４）「東日本大震災」を教訓として、各学校では防災訓練や教育ミニ集会等を通して、学校と地域が連携した防災体制の推進と防災教育の充実を図るとともに、子供たちが安全かつ安心して学習ができるように、教育環境の整備充実に努めました。
- （５）【拡充】教育センターでは、児童生徒の基礎・基本の定着を目的として、「好学チャレンジプリント」及び「好学チャレンジテスト」を作成・配布しました。小・中学校では夏季休業中に「好学チャレンジプリント」等を活用した「好学チャ

レンジ教室」を開催し、児童生徒の確かな学力の育成と学力の向上を目指しました。また、公民館（中央・和田・根郷・志津）及び千葉敬愛短期大学においても、ボランティアを募り、「好学チャレンジ教室」を開催し、補充学習等に取り組みました。

- (6) 確かな学力の向上のため、佐倉市独自の学習状況調査を実施しました。調査結果をもとに各研修会で基礎学力及び応用学力向上のための指導・助言を行いました。過去3年間の経年変化データや調査分析結果を各学校へ提供し活用することで、指導方法の改善に取り組みました。
- (7) 【拡充】文部科学省から教育課程特例校〔臼井小学校(H26～28)、王子台小学校(H27～29)]の指定を受け、小学校5・6年生は、年間35時間の外国語活動の授業に加え、週3回各15分間の授業を行いました。また、小学校3・4年生についても外国語活動の授業を編成し、年間35時間の授業を行いました。教諭と英語指導助手が互いに協力することで、学習の場を工夫し、コミュニケーション能力を育成する活動型の学習を展開しました。さらに、公開研究会を開催して研究成果を市内外に広め、英語教育の推進に努めました。
- (8) 教育委員及び教育委員会事務局職員が定期的に学校を訪問し、特色ある教育活動や学校の課題を把握することで、各学校の学校運営や指導方法の改善に役立てました（小学校3校、中学校1校で実施）。
- (9) 東邦大学病院との連携による「外科手術体験セミナー」や、事業者の協力による職場体験活動等の実施を通して、小・中学生のキャリア教育を推進しました。また、佐倉少年少女発明クラブ員の「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」、及び中学生の「科学の甲子園ジュニア」への参加により、児童生徒の挑戦する探求心や創造性を育みました。
- (10) 【新規】文部科学省から研究指定を受けた「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」（平成25年度～27年度）を継承し、新たな「インクルーシブ教育システム推進事業」に取り組みました。ことばの発達に課題のある児童への理解を深めるとともに、合理的配慮に基づく適切な支援が受けられる体制を構築するため、学校支援コーディネーター2名を教育センターとことばの教室に配置しました。
- (11) 【拡充】平成27年度に策定した「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づき、全小・中学校において定期的な生徒指導会議を開催し、いじめ防止に関する取り組みについて共通理解を図るとともに、「学校いじめ防止基本方針」を改訂しました。また、条例に基づき設置した「佐倉市いじめ問題対策連絡協議会」及び「佐倉市いじめ対策調査会」を開催しました。加えて、子供の視点からいじめ防止について考えることを目的に、全小・中学校の代表児童生徒による「いじめ防止子供サミット」を開催しました。さらに、いじめ問題等、生徒指導上の諸問題に対応するため、学校支援アドバイザー5名を各学校へ派遣しました。
- (12) 生活習慣病予防の講演会を開催し、養護教諭を中心として個別相談を充実させました。学校薬剤師と連携し、全小・中学校でエピペン研修会を開催し、食物アレルギー対応の緊急処置についての理解を深めました。また、市健康増進課の保健師との連携により、性教育に関する授業の充実を図りました。
- (13) 全校で、「津田仙献立」や「お殿様献立」などの特色ある給食を実施するとともに、家庭に向けた給食だよりや献立表、さらには市の広報等で学校給食について紹介しました。また、地場産物活用の充実に向けて、給食食材を提供している地場産物生産者との交流会を小学校で行いました。さらに、佐倉市学校栄養士会に

よる食生活アンケート結果を基に、「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨しました。

- (14) 学校教育及び社会教育の双方の分野で佐倉学の推進に積極的に取り組みました。学校教育においては、リーフレット「佐倉学がめざすもの」を作成し、全教職員に配付するとともに、「佐倉学研修会」を開催し、井野長割遺跡の見学や指導方法の研修等を実施しました。また、佐倉市研究モデル校である間野台小学校で授業研究会を開催し、授業での取り組みや指導方法の改善を図りました。社会教育においては、公民館などで佐倉・城下町 400 年記念事業としての講座を開催したほか、地域性を活かした様々な佐倉学事業を推進しました。
- (15) 【拡充】平成 27 年 3 月に旧堀田邸庭園が旧堀田正倫庭園として国指定名勝に指定されたことを契機に、従来の邸宅内での「観月の夕べ」に加え、庭園での音楽会を開催し、市民へのより一層の周知を図りました。
- (16) 【新規】佐倉市の貴重な文化財等を紹介するための冊子として『新・佐倉細見』を発行しました。
- (17) 【新規】千葉県指定有形文化財旧川崎銀行佐倉支店（市立美術館エントランス）の耐震改修工事を実施しました。同工事は、平成 29 年度に完了する予定です。
- (18) 【新規】佐倉市、成田市、香取市、銚子市の 4 市と千葉県が申請した「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」が日本遺産として、平成 28 年 4 月 25 日に千葉県内で初めて認定されました。認定を記念して、「ぶらり佐倉検定—日本遺産ってなんだ？—」・「歴史学習会—日本遺産港町銚子の町並みを歩く—」を実施し、日本遺産の構成文化財を巡りながら理解を深める取り組みを行いました。
- (19) 【新規】平成 28 年 8 月 1 日に、日本遺産構成文化財である武家屋敷の旧武居家住宅と町家の旧平井家住宅が、国の登録有形文化財に登録されました。
- (20) 佐倉市では大学機関等との連携により、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施しています。平成 24 年、女子美術大学及び順天堂大学との連携協働に関する協定を締結し、これ以降、東邦大学、千葉敬愛短期大学、東京情報大学、敬愛大学、国立歴史民俗博物館等とも連携協定を締結してきました。この取り組みにより、夏休みには小学生向けに女子美術大学教員・学生による JOSHIBI ワークショップの開催や、順天堂大学、女子美術大学、東京情報大学、敬愛大学等の教員を講師に迎えた佐倉市民カレッジ公開講座・授業等を実施しました。
- (21) 小中学校のパソコン教室における機器を、タブレット端末としても使用できる機種に更新するとともに、コンピュータを活用した情報教育を充実させました。
- (22) 【新規】市立美術館において、エスコ事業による空調設備の更新を行いました。

〔平成 29 年度施策の特徴及び重点項目〕

施策の主な特徴として、「①インクルーシブ教育システム、少人数指導、いじめ防止対策など、きめ細かでより充実した学校教育の推進」、「②公民館・図書館等による生涯学習・社会教育の振興や老朽化が進む社会教育施設の更新・整備」、「③歴史文化資産と佐倉の魅力を活かした文化振興」、「④安全・安心・良好な教育環境を確保するための学校施設等の整備」の 4 点が挙げられます。

この 4 点を含め、「佐倉教育ビジョン推進計画」及び以下の重点項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、各施策を推進します。

(1) 地域の教育力の向上をはかります

- ・地域との連携を深め児童生徒の安全確保に努めるとともに、学校を拠点とした地域づくりを進めます。また、地域の声や評価を反映できる学校運営を目指します。
- ・学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取り組みを推進します。
- ・青少年の健全育成を目的とした地域の活動を充実させます。
- ・学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。
- ・幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援します。
- ・市立幼稚園における預かり保育・園庭開放等を実施し、幼児教育の拡充を図ります。
- ・人づくり、地域づくりを目指した公民館活動を充実させます。
- ・地域活動の担い手育成を目的としたコミュニティカレッジさくらを運営します。

(2) “佐倉の教育” への市民参加の促進をはかります

- ・佐倉の教育への関心を高めるため、「教育懇話会」や「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。

(3) 確かな学力の向上をはかります

- ・学習状況調査（国語、算数・数学、理科、英語）を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます（英語は中学校のみ実施）。
- ・夏季休業中に全小中学校及び公民館、千葉敬愛短期大学で「好学チャレンジ教室」を開催します。教員や学生・地域ボランティアが好学チャレンジプリント等の教材を活用しながら指導し、基礎・基本の定着を図ります。
- ・外国人英語指導助手^{※1}を全小中学校に派遣し、英語・外国語活動の授業や国際理解教育の一層の充実を図ります。
- ・経済的支援が必要な高校生を対象とした奨学金を支給します。
- ・経済的な理由により就学が困難な小中学生の教育に係る費用を援助します。
- ・理科教育支援員^{※2}を小学校2校に派遣し、理科学習指導や環境整備を支援します。
- ・弥富小学校の複式学級の解消と少人数によるきめ細かな指導を行うため、学校支援補助教員^{※3}を配置します。
- ・少人数指導支援のため、学校支援補助教員^{※3}を配置し、ティームティーチングなど、児童生徒個々への学習支援を充実させます。
- ・教育課題等の調査・研究や指導方法の改善に取り組み、児童生徒の学習意欲を高め、確かな学力の向上や体力を身につけるような取り組みを推進します。
- ・【拡充】次期学習指導要領の趣旨を周知・徹底させ、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）を意識した授業改善を図り、教職員の研修を充実させます。
- ・教育委員及び教育委員会事務局職員が定期的に学校を訪問し、特色ある教育活動や学校の課題を把握することで、各学校の学校運営や指導方法の改善に役立てます。

(4) 豊かな心と丈夫な体の育成をはかります

- ・佐倉の伝統や文化を生かした道徳の授業の充実と体験活動やボランティア活動等とおし、道徳的实践力を高める教育を推進します。
- ・学校生活や学習活動を行う上で、児童生徒の必要に応じた支援を充実させます。
- ・特別支援教育支援員^{※4}を特別な支援を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に配置し、学校生活や学習活動を行う上で、一人ひとりのニーズに応じた支援の充実に努めます。

- ・インクルーシブ教育システム推進事業として、言語通級指導教室設置校を中心に支援が必要な児童への効果的な支援体制を継続するとともに、学校支援コーディネーター^{※5}を派遣するなどの取り組みを進めます。
- ・【拡充】児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員^{※6}・心の教育相談員^{※7}を配置するとともに、スクールカウンセラー^{※8}や各関係機関等と連携し、各種教育相談体制を充実させます。なお、心の教育相談については、相談員を1名増やして相談活動の充実を図ります。
- ・「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づき、「佐倉市いじめ対策調査会」、「佐倉市いじめ問題対策連絡協議会」、「佐倉市いじめ防止子供サミット」を開催するとともに、学校支援アドバイザー^{※9}を巡回派遣するなど、いじめ防止のための対策を推進します。
- ・児童生徒の情操を高め豊かな心を育むため、学校図書館司書^{※10}を全小・中学校に派遣し、読書活動の推進や読書環境の充実に努めます。
- ・児童生徒の体力の現状を分析し、体力向上推進計画を作成することにより、体力の向上に努めます。
- ・学校プール施設がない学校の水泳指導については、民間と連携し良好な環境の下で安全な指導を授業に取り入れ、小学校学習指導要領での水泳学習のねらいを達成させます。
- ・児童生徒の生活習慣病予防検診事業の継続と、健康教育を充実させます。
- ・学校給食を通じて児童生徒への食育を推進します。
- ・給食室の老朽化に伴う補修工事等の対策を実施します。

（５）「佐倉学」の推進をはかります

- ・佐倉学リーフレットを配付し、佐倉学の周知を図ります。
- ・佐倉学副読本や資料の活用により、「佐倉学」の授業を一層充実させます。
- ・佐倉学事業の充実を図ります。

（６）新たな佐倉の魅力の発見と、芸術文化の普及をはかります

- ・市の歴史や文化を表象する資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやチラシ等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的魅力について市内外に周知します。
- ・旧川崎銀行佐倉支店の改修工事等を行い、文化財の保存・活用を推進します。
- ・芸術文化に関する様々な展覧会や演奏会等の実施をとおして、市民が芸術文化に親しむ機会を充実させます。また各種芸術文化団体の主体的な活動を支援し、その育成を行います。
- ・大学機関等との連携により、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施します。また地域の中で芸術文化の役割を探り、連携事業の展開を支援します。
- ・【拡充】佐倉・城下町400年記念事業の最終年度の事業として、城下町佐倉の歴史文化の企画展示、弓術と刀術の鑑賞会等を開催します。
- ・【新規】千葉県指定有形文化財旧河原家住宅（日本遺産構成文化財）の茅葺屋根の葺き替え工事を実施し、佐倉の歴史文化資産を保存し、城下町佐倉の認知度向上と郷土に愛着を持つ人の増加を図ります。
- ・【新規】日本遺産を活用し体験型の事業を展開することで、地域を活性化すると同時に、城下町佐倉の認知度向上と郷土に愛着を持つ人の増加を図ります。

（７）安心して学べる教育環境の整備をはかります

- ・体育館屋根落下防止対策を進めることで、安全・安心な教育環境と避難所の確保を図ります。
- ・【新規】衛生環境の向上を目指し、普通教室への空調設備導入のための調査を行います。

- ・小中学校施設の安全対策と老朽化対策に取り組み、施設の維持管理に努めます。
- ・小中学校の教材備品を計画的に購入し、教育環境を整備します。
- ・児童生徒が安心して通学ができるように、通学路等の安全の確保に努めます。
- ・小中学校の校務や授業で使用する情報機器を整備するとともに、授業等で使用できるソフトウェアの充実を図り、情報教育の推進を図ります。

(8) 様々な場面で市民が学ぶことのできる機会の提供をはかります

- ・各公民館、図書館等における事業を充実させます。
- ・コミュニティカレッジさくらの活動事業を推進します。
- ・【新規】佐倉図書館の整備を行います。図書館サービスの充実とあわせ、より機能的・多目的な活用を図ることで、佐倉地区の活性化にも資する拠点施設とします。今年度は市民ニーズの把握、周辺施設の機能再編などの基礎調査を実施します。
- ・【新規】市民音楽ホール客席の天井改修工事を実施し、大地震発生時における利用者の安全を確保します。(平成28年度～平成30年度)
また、空調設備をはじめ老朽化した設備等の改修・修繕を実施し、利用環境を整備します。(平成29年度～平成30年度)

○学校等へ配置する補助教員等の人数

※1	外国人英語指導助手	14人	※5	学校支援コーディネーター	2人
※2	理科教育支援員	1人	※6	学校教育相談員	10人
※3	学校支援補助教員 (小規模特認校1人・ 少人数指導支援3人)	4人	※7	心の教育相談員	8人
			※8	スクールカウンセラー	13人
			※9	学校支援アドバイザー	5人
※4	特別支援教育支援員	46人	※10	学校図書館司書	11人

※8は、千葉県教育委員会が配置する者で、人数は28年度実績数。

※8以外は、佐倉市教育委員会が委嘱・雇用する者で、人数は29年度予定数。

Ⅲ-1 教育ビジョンに基づく施策の内容

(1) 地域の教育力の向上をはかります

市民一人ひとりが身近な地域社会に目を向け、誇りと愛着を持って地域の教育活動に参加し貢献できる環境を創り上げることで、地域の教育力を高めます。

家庭はすべての教育の出発点であることから、市民が家庭教育の重要性を再認識できるよう、学習機会や情報の提供など行政による一層の支援を行います。

また、学校・家庭・地域が十分に連携し、より良い教育環境や社会環境を構築できるよう、新たな教育施策を推進します。

■ 地域に開かれた学校づくり

○地域全体で子供たちの安全を守る組織の構築をさらに進めるため、情報交換やスクールガードフォーラムなどを開催し、ボランティア活動を支援します。

➤ 開かれた学校づくり推進事業

○地域の方や保護者などが学校の運営に参画することで、地域に開かれ地域に支えられる学校づくりを推進し、この取り組みが順次拡大できるように努めます。

➤ 学校運営委員会による学校運営への取り組み

〔白銀小学校、寺崎小学校、下志津小学校、南志津小学校、和田小学校、
臼井小学校、佐倉東中学校、臼井南中学校〕

➤ 【新設】上志津中学校に学校運営委員会を設置

■ 地域とのつながりや連携の推進

○地域で子供たちを育てる環境を充実させるため、青少年の奉仕体験活動などの充実や、地域において各世代が参加・参画・交流できる事業の展開を支援します。

➤ 地域との連携による通学合宿の実施

➤ 地域と学校、他地域との交流活動の推進

➤ 地域との連携による公民館祭や世代間交流事業などの実施

■ 家庭教育の充実

○家庭教育に関する学習機会の提供など、各種の家庭教育支援事業を展開し、家庭の教育力の向上に取り組めます。

➤ 家庭教育支援の充実

➤ 家庭教育に関する情報提供

○学校や公民館などとの連携による家庭教育を充実させます。

➤ 中学生を対象とした家庭教育に関する学習機会の提供

➤ 各小中学校、市立幼稚園における家庭教育学級の充実

➤ 各公民館による家庭教育事業の充実

■ 幼稚園児の就園の支援

○幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援します。

➤ 幼稚園児就園支援

➤ 市立幼稚園における預かり保育・園庭開放等の実施

■ 公民館等の社会教育機能の拡充

○高等学校や大学等の教育機関や人的資源等の教育機能を活用し、市民を対象とした公開講座を実施します。

➤ 大学、高等学校公開講座の実施

○公民館や図書館などで社会教育事業を推進します。

➤ 各種講座の実施

○図書館の郷土資料を充実させます。

➤ 郷土資料の収集

○各図書館において幼児・児童向けのおはなし会や、一般を対象にした講座等を開催し、読書に親しむ機会を充実させます。

➤ 絵本のおはなし会(幼児)、おはなし会(児童)、ブックトーク、ブックリサイクルの開催

■ 地域活動の担い手の育成

○地域の人材育成をめざし、カレッジ事業、ボランティア養成講座などを開催します。

➤ コミュニティカレッジさくら

➤ さくら学び塾

➤ 市民カレッジ事業

➤ ボランティア養成講座

■ 関係機関との連携強化

○地域の青少年を健全に育成するため、学校・家庭・地域の三者が連携して組織しているPTA活動団体を支援します。

➤ 市PTA連絡協議会の活動支援

➤ その他関係機関・関係部局との連携による、各種情報の収集と提供の推進

(2) “佐倉の教育” への市民参加の促進をはかります

市民一人ひとりの力によって佐倉の教育が支えられ、魅力ある佐倉が築き上げられることから、引き続き教育への市民参加の推進に努めます。

■ 教育に関する市民参加の促進

○市民が佐倉の教育について理解を深めることができるよう、教育に関する意見交換や市民の学習成果を発表する場などを設け、市民の教育への関心や学習意識を高めます。

➤ 市民との教育懇話会の開催

➤ 市民学習発表会（学社連携）の開催

○学習機会や生涯学習関連施設等の情報、各種団体の活動情報などを市民に提供し、家庭や地域における教育活動を支援します。

➤ 『我ら学び隊』、『さくらあそび場百科じてん』の発行

➤ 『公民館だより』等の発行

➤ ホームページによる学習機会や文化行事等の情報提供

○市のホームページや『こうほう佐倉』等を活用し、教育に関する情報の提供を推進します。

➤ 教育に関する情報提供の推進

■ 市民による教育と文化の育成

○市民から読書感想文等を募集し、市民読書感想文集「さくらおぐるま―読者の広場―」を発行します。

➤ 市民読書感想文集「さくらおぐるま―読者の広場―」発行

○11月16日の「佐倉市教育の日」を周知し、市民の教育への関心を高めます。

■ 市民との協働事業の推進

○教育に関する市民の理解を深めるとともに、当市の教育の充実と発展に資するため、「佐倉市教育の日」を中心に、市民参加の各種事業を展開します。

➤ 「佐倉市教育の日」関連行事の開催

○市民が企画運営に参加・参画する各種事業や行事を開催するとともに、共催や後援による協働事業を推進します。

➤ 佐倉市民文化祭の開催

(3) 確かな学力の向上をはかります

学習指導要領では、これからの社会において必要な「生きる力」を育むことが重要であると位置付けられ、「確かな学力」を身につけることが大きな柱となっています。そのため、将来にわたって学習し続ける意欲や態度を身につけられるよう、引き続き各施策を推進します。

■ 確かな学力の向上

○児童生徒の確かな学力を育むため、教員の教材研究及び教科研修に活用する教科書及び指導書を購入し、各学校に配布します。

➤ 教科書指導書購入事業

○学習指導要領に基づく学習の習熟度を把握するため、全国学力・学習状況調査の全数調査に参加するとともに、佐倉市独自の学習状況調査を実施し、その結果をもとに各学校における児童生徒の確かな学力の定着を図る取り組みを推進します。

➤ 全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学）への参加

（対象：全小中学校 小学校6学年・中学校3学年）

➤ 佐倉市学習状況調査（国語、算数・数学、理科、英語）の実施

（対象：小中学校全学年 英語は中学校のみ実施）

➤ 各学校における学習状況調査結果の分析と指導方法の改善

➤ 【拡充】主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）を意識した授業改善

○一人ひとりの児童生徒に確かな学力を身に付けさせるため、基礎・基本の確実な習得を図る取り組みを推進します。

➤ 小中学校及び公民館、千葉敬愛短期大学における「好学チャレンジ教室」の開催

➤ 好学チャレンジプリント等の活用による基礎・基本の徹底

➤ 各学校におけるドリルタイムの工夫や補充学習の充実など学力向上の取り組み

○すべての教育活動を通して言語活動を充実させ、学習の基盤となる国語力の育成に努めます。

○児童生徒の思考力や判断力、表現力などを培う、探究・協同型の授業改善を推進します。

○習熟度別指導や発展学習・補充学習を取り入れた学習など、個に応じた指導の充実を図ります。

○研究指定校や研究モデル校を指定し、小中学校教育課程の効果的な展開、学習指導の内容や指導方法の改善などに取り組みます。

〔文部科学省研究指定校〕

「教育課程特例校」：王子台小学校（H27～29）

〔千葉県金融広報委員会指定 金融教育研究校〕：千代田小学校（H28～29）

〔千葉県教育委員会指定 「地域における食育推進事業」食育推進拠点校〕

：寺崎小学校（H28～29）

〔千葉県教育委員会指定 特色ある道徳教育推進校〕

：寺崎小学校（H29）、佐倉東中学校（H29）

〔印旛地区教育委員会連絡協議会指定 道徳研究学校〕

：寺崎小学校（H29～30）

〔佐倉市研究モデル校〕

➤ 「国語科における伝統と文化を基本とした学習指導」：内郷小学校（H28～29）

➤ 「生徒指導の機能を生かした学校体制と学習指導」

：根郷中学校、井野中学校（H28～29）

➤ 「学校間連携を通して豊かな心と実践力を高める道徳教育」

：千代田小学校（H28～29）、寺崎小学校（H28～30）

➤ 「インクルーシブ教育システムに基づいた特別支援教育」

：小竹小学校（H28～29）

➤ 「佐倉の歴史や文化、先覚者の生き方に学ぶ佐倉学」

：間野台小学校（H26～29）

➤ 「コミュニケーション能力を育成する英語・外国語活動」

：王子台小学校（H27～29）

➤ 「自分の将来を見据え、生きる力を育てるためのキャリア教育」

：和田小学校、臼井南中学校（H28～29）

➤ 「日本の伝統を生かして、健康で活力ある生活を育む食育・健康教育」

：南志津小学校（H28～29）

➤ 「地域コミュニティを生かした学校運営」

：佐倉東中学校、上志津中学校（H28～29）

➤ 「子供の主体性を生かした防災教育」：印南小学校（H28～29）

➤ 「全国学力・学習状況調査、佐倉市学習状況調査等を活用した指導方法の工夫・改善」

：西志津小学校（H29～30）

➤ 「佐倉学を生かした理科の授業改善」

：白銀小学校（H29～30）

※研究モデル校とは、当市の教育施策の具現化に向け、モデル校として課題解決について実践研究を進める学校です。

〔その他〕

（地方技術教育センター指定）

➤ 「技術・家庭科」：佐倉中学校（継続）

（青少年赤十字活動採用校）

・内郷小学校（継続）、千代田小学校（継続）

・南志津小学校（継続）、

・佐倉中学校（継続）、井野中学校（継続）、佐倉東中学校（継続）

（公開研究会等への支援）

➤ 平成29年度授業公開及び公開研究会の開催支援

■ 学習意欲の向上

○経済的な支援が必要な高校生を対象として奨学金を支給し、修学援助を行います。

➤ 奨学資金補助事業

○経済的な理由により就学が困難な児童生徒を支援するため、就学援助制度により経済的負担の軽減を行います。

➤ 小中学校就学援助事業

○教員志望の大学生を活用して実施している「学力向上支援事業」や「ちば！教職たまごプロジェクト」等を継続して実施します。

➤ 大学等との連携による学力向上サポートティーチャーの受け入れ

➤ 千葉県たまごプロジェクト研修生の積極的な受け入れ

○外国人英語指導助手を全小中学校に派遣することで、英語教育や外国語活動、国際理解教育を推進します。

➤ 外国人英語指導助手の派遣

○理科教育支援員を小学校に派遣することで、実験・観察等の授業の充実、科学への関心・意欲の向上、理科室等の環境整備を推進します。

➤ 理科教育支援員の派遣

○環境学習資料等を活用し、佐倉市の環境に関心を持つとともに、各学校における奉仕的な活動や緑化推進運動などの体験を通して、地域の自然や社会と積極的に関わろうとする態度を育成します。

➤ 環境教育に関する指導資料や啓発資料の活用

○児童生徒が自然の不思議さや科学の楽しさを味わい、自然現象への興味や関心を高め、自ら科学する心を育む取り組みを進めます。

➤ 自然科学に関する「楽しい科学教室」の開催

➤ 「児童生徒科学工夫作品展」の開催

➤ 県立佐倉高校との連携による「科学の甲子園ジュニア千葉大会」への参加

■ 指導の質の向上

○弥富小学校の複式学級の解消と少人数によるきめ細かな指導を行うため、学校支援補助教員を配置し、教育支援を行います。

➤ 小規模特認校学習支援事業

○きめ細かな少人数指導またはティームティーチングを実施して、個に応じた学習支援を行うため、学校支援補助教員を配置します。

➤ 少人数指導支援推進事業

■ 教職員の質の向上

○教職員の使命感の涵養と指導力の向上のため、「佐倉市教職員研修体系」に基づき各種研修会や会議を開催し、新しい時代に対応できる教職員の資質の向上に取り組み、その専門性と力量を高めます。

これまでの研修の成果を踏まえ、外部機関との連携を深め、研修方法や内容を見直し、教職生活の全体を通じた教員の資質能力の向上を図ります。

〔職務別研修〕

➤校長・教頭研修会 ➤安全主任研修会 ➤養護教諭研修会

➤栄養教諭・学校栄養職員研修会 ➤学校事務職員研修会

〔専門研修〕

➤国語研修会（部会共催） ➤歴博講座

➤理科研修会（部会共催）

➤佐倉学研修会 ➤道徳研修会

➤英語指導助手・英語教諭合同研修会（ALT・JTE合同研修会）

➤小学校外国語活動研修会（部会共催） ➤教育相談基礎講座 ➤学校保健研修会

➤体育研修会（部会共催） ➤大学公開講座

➤教職員実践研究発表大会 ➤長欠対策研修会 ➤人権教育研修会

➤特別支援教育研修会 ➤教育講演会 ➤学校図書館司書研修会

〔担当者会議〕

➤校長会議 ➤教頭会議 ➤主幹教諭・教務主任会議 ➤研究主任会議

➤生徒指導担当者会議 ➤特別支援教育担当者会議 ➤学校図書館担当者会議 等

○指導主事等が計画的に学校を訪問し、指導や助言等を行うことにより、各学校における授業の改善や教員の指導力向上などに取り組みます。

- 指導主事のタイムリーアドバイスによる支援
- 第45回教職員実践研究発表大会の実施
- 指定校・モデル校の指導主事等担当制

○教育委員及び教育委員会事務局職員が定期的に学校を訪問し、特色ある教育活動や学校の課題を把握することで、各学校の学校運営や指導方法の改善に役立てます。

- 教育委員会訪問

○学校・家庭等における教育課題について、教育センターで調査・研究した結果をもとに報告・提言し、各校の教育活動の充実に図ります。

- 佐倉市教育センター等報告会の開催
- 佐倉市教育センターだよりの発行

（４）豊かな心と丈夫な体の育成をはかります

学校教育では、引き続き「生きる力」を育む教育を目指し、「確かな学力」と「豊かな心」と「健やかな体」のバランスがとれた教育施策の充実を行います。

また、いじめは重大な人権侵害に当たるという共通認識のもとに、学校・地域・家庭が一体となって、その防止に取り組みます。

近年増加している、栄養摂取の偏り等による子供たちの生活習慣病の増加、若年化といった健康課題に対して、学校給食を活かした食育や生活習慣病予防検診の実施による健康教育を推進します。

■ 心の教育の充実

○児童生徒の郷土佐倉への愛着を育むとともに、人材育成の一助となるよう、郷土の先人や佐倉を素材とした道徳教材のよりよい活用に取り組みます。

- 佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」の活用
- 【拡充】佐倉市独自の道徳教材資料の開発・活用によるさらなる内容の充実

○市立美術館や市民音楽ホール等の教育機関と連携を行い、優れた芸術文化に触れることにより、豊かな心を育みます。

また、児童生徒を対象とした学校の美術教育を支援します。

- 学校連携プログラムに基づいた美術館学芸員による出前講座の実施
- 美術館での美術鑑賞教室
- 第63回佐倉市文化祭 幼・小・中学校図画書写作品展の開催
- 学校巡回音楽会等の開催

○社会人活用による授業の充実や小学校及び中学校におけるキャリア教育を推進することで、児童生徒が他人の生き方や働くことの大切さなどを学び、自分の生き方や将来を考える機会を提供します。

- 社会人活用による授業の充実
- 小中学校におけるキャリア教育の推進
 - ・東邦大学と連携した「外科手術体験セミナー」の開催
- 研究モデル校による、地域と連携したキャリア教育の実践

○学校における校外活動の実施により、自然体験活動や環境教育を推進します。

- 佐倉少年少女発明クラブの実施

- みどりの少年団活動の実施
- チューリップの植え付け体験学習の実施等

○豊かな人間関係づくりを目的とする指導プログラム等の活用により、児童生徒の心の居場所となる学校、学級づくりを推進します。

- 児童生徒の心を育てる取り組みの推進
- 【新規】道徳の教科化を見据えた、新しい道徳指導の研究の推進

■ 一人ひとりのニーズに合った教育の推進

○学校の特別支援教育体制を一層充実させるため、佐倉市教育支援委員会を開催するとともに、必要な学校に特別支援教育支援員を配置するなど、一人ひとりのニーズに合った教育を推進します。

- 佐倉市教育支援委員会の開催
- 特別支援学級と通常の学級への特別支援教育支援員の配置
- 特別支援教育専門家チームのサポート体制
- インクルーシブ教育システム推進事業
- ・学校支援コーディネーターの派遣等

■ 学校教育相談の充実

○児童生徒が個々の目標を達成するために必要な資質・能力・態度を育成し、社会への適応力を高めることができるよう、教育センターや適応指導教室などを活用し、発達相談・教育相談の充実に努めます。

- 【拡充】児童生徒教育相談事業の充実
 - ・教育センターやヤングプラザにおける電話または来所相談
 - ・適応指導教室（志津教室／佐倉教室）の充実による通級指導、相談
 - ・学校教育相談員による教育相談、発達相談
 - ・心の教育相談員による教育相談(1名増員)
 - ・スクールカウンセラーによる教育相談
- 生徒指導専門家チームのサポート体制

■ いじめ防止の取り組み

○「佐倉市いじめ防止基本方針」の策定に基づき、「佐倉市いじめ対策調査会」、「佐倉市いじめ問題対策連絡協議会」を開催するとともに、学校支援アドバイザーを巡回派遣するなど、いじめ防止のための対策を推進します。

- 「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づく、佐倉市全体での取り組みの推進
- 「学校いじめ防止基本方針」に基づく、各学校での取り組みの推進
- 佐倉市いじめ防止子供サミットの開催

■ 読書や芸術・文化学習の支援

○各学校で取り組んでいる「朝の読書」などの読書活動の充実に加え、学校図書館司書を配置し、学校図書館の有効活用、市立図書館との連携を進めます。

- 読書活動の推進
- 学校図書館司書の派遣（中学校区単位）
- 学校と市立図書館との連携事業の推進

○課題図書等の新規購入や老朽化した図書の更新等、学校図書館の蔵書の整備を行います。また、各学校の図書館へ学習教材用の新聞を配備します。

- 小・中学校図書館図書整備事業

○絵本のおはなし会を実施し、絵本の読み聞かせ、すばなしなどを通して、おはなしの世界の豊かさを感じてもらいます。

➤ 絵本のおはなし会

○小学校及び保育園を訪問し、絵本の読み聞かせなどを行い、読書普及に努めます。また、先生方への情報提供を行います。

➤ 小学校・保育園訪問おはなし会

○小中学校を対象に、オーケストラや和楽器などの質の高い演奏会を提供します。また、少年少女合唱教室及び少年少女ハンドベル教室を開催します。

➤ 学校巡回音楽会、各種教室事業（少年少女合唱教室、少年少女ハンドベル教室など）の実施

○学校と連携して、児童生徒を対象とした学校の美術教育を支援します。優れた芸術文化に触れることにより、豊かな心を育みます。

➤ 学校連携プログラム（美術館送迎バス・出前講座・美術鑑賞教室・美術教材の貸出等）

■ 学校給食を活かした食育の推進

○学校給食を通して、児童生徒及び家庭・地域における食育と健康教育を推進します。また、食に関する指導の充実と生活習慣病予防教育における個別相談指導を行い、望ましい食習慣の確立に取り組みます。

- 安全・安心な給食を提供するための地場産物を中心とした献立作りの推進
- 郷土の先覚者である津田仙ゆかりの西洋野菜を取り入れた献立作りの推進
- 地場産物を使用した「佐倉・城下町400年記念メニュー・お殿様献立」の実施
- 地産地消を推進するための「地場産物推進会議」の開催
- 家庭や地域を対象とした学校給食試食会、家庭教育学級等における食育の推進
- 教科等と関連づけた「食に関する年間指導計画」に基づく指導の充実と児童生徒の望ましい食習慣の確立
- ホームページの活用、イベントへの参加による食育等の情報提供の推進
- 生活習慣病予防教育における食生活個別相談の充実
- 給食施設設備の維持補修及び更新等
- 給食用食材の放射能測定検査の実施

■ 児童生徒の体力向上の推進

○児童生徒の体力向上に向けての取り組みを進めます。

- 第63回佐倉市文化祭小中体育大会の開催
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査への協力
（対象校：全小中学校、対象：小学校5年、中学校2年）
- 各学校での新体力テストへの積極的な参加と結果の分析
- 体力運動能力調査A判定の児童生徒への運動能力証、体力優良証の交付
- 体力向上推進会議等における体力向上推進のための協議
- 学校プールの水質の検査と管理の実施
- 民間プールとの連携による水泳授業の取り組み（佐倉小・西志津小）

○定期健康診断、各種検診の実施及び事後措置を徹底し、児童生徒の健康の保持増進に努めます。

- 生活習慣病予防を目的とした健康診断、心臓・腎臓疾患予防対策、歯科管理健診、結核予防対策
- 養護教諭と栄養教諭・学校栄養職員の専門性を活かした生活習慣病予防教育

- 学校歯科医と歯科衛生士の協力を得た歯科管理健診
- 学校医・学校歯科医・学校薬剤師や地域関係者の協力を得た学校保健委員会の推進

(5)「佐倉学」の推進をはかります

佐倉市には印旛沼などの恵まれた自然と原始・古代からの歴史、城下町として培われた文武両面にわたる文化、そして、好学進取の精神に富み優れた業績を残した先覚者がいます。

郷土佐倉に対して愛着を持つためには、佐倉をより深く知ることが大切です。今後も佐倉学を積極的に推進します。

■ “佐倉ならではの” 情報発信の強化

○「佐倉学」に関して、様々なメディアを活用した情報発信等を行うとともに、小中学生から一般までを対象とする「佐倉学」に関する図書の選定を行い、市民への普及を促進します。

- 佐倉学に関する情報発信の強化
 - ・図書館等に設置している「佐倉学」に関する資料等の充実
 - ・「佐倉学」推薦図書の選定及び普及
 - ・「佐倉学」に関係する映像資料の活用
 - ・「佐倉学」リーフレットの配布と活用

○佐倉ゆかりの美術作家等の調査、研究を行い、図録など記録資料を作成し、その発表の場として展覧会を開催します。

■ 「佐倉学」の推進

○各学校で「佐倉学」に取り組むことで、児童生徒の郷土佐倉への興味、関心を高め、新たな学習意欲を向上させます。

- 各学校における「佐倉学」の推進
- 佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」の活用による指導の充実
- 佐倉の自然に関わる教科横断的な学習の推進
- 「佐倉学」に関する学習に文化課・美術館職員を派遣

○「佐倉学」をテーマとする各種講座等の開催や小中学生を対象にした「佐倉っ子塾」を開設することにより、「佐倉学」を推進します。

- 市立美術館で佐倉学に関する「佐倉学子供作品展」を開催
- 公民館などにおける「佐倉学」の入門講座、専門講座、体験講座等の開催
- 各公民館における「佐倉っ子塾」の開設
- 佐倉図書館における「佐倉学コーナー」での図書展示
- 佐倉南図書館における教養講座の開催
- 佐倉学関連図書の読書感想文を「さくらおぐるま」へ掲載

■ 地域教材を活用した学習の推進

○社会科副読本や佐倉学副読本等の学習指導資料を作成し、その活用を行うことにより、本市の特色を活かしながら、各学校の地域性に対応した学習指導を充実させます。

- 社会科副読本『わたしたちの佐倉市3、4年生版』の全面改訂
- 佐倉学副読本『ふるさと佐倉の歴史』の一部改訂と活用

(6) 新たな佐倉の魅力の発見と、芸術文化の普及をはかります

佐倉市には、国指定文化財の本佐倉城跡、井野長割遺跡、旧堀田邸・庭園をはじめとする、数多くの国・県・市の指定・登録文化財、及び市の選定市民文化資産が所在します。平成28年度には、城下町佐倉の姿を伝える町並み等が、日本遺産として認定され文化都市としての新たな価値が加わったと言えます。これらの文化財や文化資産について、保護や保全を継続し、市民共通の財産として文化価値を広く周知するとともに、資産の活用を図りながら新たな佐倉の魅力発見につなげます。

■ 新たな学ぶ意欲の喚起

○国、県、市の指定・登録文化財及び市内に伝え残されている文化資産を保護するとともに、各種普及事業や広報活動を展開し、文化財愛護の意識を高めます。

また、身近にある歴史資料や民俗資料等を貴重な文化財として収集、分類保存し、郷土学習の資料として活用できる体制を整えます。学校や公共施設等と調整を図りながら、埋蔵文化財発掘調査による出土品等の展示公開を進めます。

- 市内に所在する指定文化財等の周知、公開
 - ・年間を通じた旧堀田邸、武家屋敷、佐倉順天堂記念館の公開と特別公開、及び展示内容の再検討
 - ・文化財や市民文化資産の見学会、文化財施設でのイベント開催など
 - ・【拡充】佐倉・城下町400年記念事業の実施（企画展示・礼法体験・ぶらり佐倉検定等）
 - ・【拡充】甲冑試着会の開催の増加
- 刊行物やリーフレット等による文化財普及活動の実施
 - ・『佐倉順天堂』、『風媒花』、『佐倉さんさくミニ見にガイド』、『臼井さんさくミニ見にガイド』、各文化財施設の解説リーフレットなど
- 埋蔵文化財と歴史民俗資料の保全・活用
 - ・史跡、資料の公開や見学会の実施

○ふるさと佐倉の歴史や文化を学ぶことで、日本の歴史や文化への理解を深めます。

また、英語教育などを通して国際理解教育を推進し、国際社会に生きる日本人としての協調の精神や、主体的に行動できる児童生徒を育成します。

- 楽しい英語教室・楽しい日本語教室の開催
（小学生対象、外国児童生徒対象、夏季休業中に開催）
- 佐倉日蘭協会との連携によるオランダ児童との交流、オランダ関連事業の開催

■ 歴史文化資産の保全活用

○歴史文化資産について、市民を対象とした各種講座を開催して郷土への関心と愛着を高めるほか、文化財施設や史跡などの価値を発信し、佐倉市が持つ潜在力を市内外に広めます。

- 市民文化資産選定制度と既選定物件の周知
- 市民文化資産の選定・保全、活用と普及
- 歴史文化資産の学習会・見学会の実施
- 佐倉城跡大手門周辺の発掘調査の資料整理、報告書刊行
- 旧川崎銀行佐倉支店改修工事の実施（H28～29）
- 【新規】武家屋敷多目的トイレ建設の工事設計等を委託
- 【新規】武家屋敷・旧河原家住宅茅葺屋根葺き替え工事
- 【新規】日本遺産のPR動画等の積極的な情報発信と活用による地域の活性化

○国指定史跡本佐倉城跡の史跡整備に向け検討を進めます。

○国指定史跡井野長割遺跡保存のための整備計画を進めます。

■ 歴史的建造物の保全・整備

○歴史的建造物は、地域の歴史を目の前にわかりやすい「形」として伝えるものである
ので、景観の形成を含め市内外にアピールできる資産として適切に保全を進め、将来
的な整備につなげます。

- 歴史的建造物の詳細調査、保全、活用
- 登録有形文化財制度の周知と登録物件の活用推進
- 旧平井家住宅の整備・活用と周知

■ 芸術・文化活動の充実

○芸術文化に関する情報や学習機会を提供するとともに、芸術文化活動団体を支援し
ます。

- 文化情報誌「風媒花」の発行
- 名作映画上映会「キネマの夕べ」の開催
- 佐倉市役所ロビーコンサートの開催

○市民音楽ホールを音楽活動の拠点として、多彩な事業を展開し、音楽に親しむ機会
を充実させます。

- 各分野にわたる鑑賞事業の実施
(仲道郁代ピアノ・リサイタル、親子でコンサート、カール・ハインツ・シュッツ フ
ルート・リサイタル、樫本大進&アレッシオ・バックス、演劇「喝采」、午後の名曲
コンサート(ピアノ：三浦友理枝)、森麻季ソプラノ・リサイタル、ビバ! ミュージ
カル! IV(平成29年度県民芸術劇場公演)、親子でクリスマス・コンサート、ニュ
ーイヤー・コンサート 2018、アコースティック・ナイト予定)

○市立美術館を市民の美術鑑賞と作品発表の拠点として、各種展覧会の企画、開催、
普及活動を通じ、美術に親しむ機会を充実させます。

- 佐倉ゆかりの作家を紹介すると共に、対話による鑑賞に適した作品を展示し、鑑賞
コミュニケーターによる鑑賞会などを実施。
 - ・「柴宮忠徳展」
- これまであまり振り返られることのなかったジャンルの作品を展示し、その功績を
称えると共に、その魅力を紹介する展覧会を開催。
 - ・「自転車の世紀展」、「根付展」
- 佐倉と広く房総にゆかりのある作家の業績を顕彰する収蔵作品を中心とした展覧
会を開催。
 - ・収蔵作品展 年3回
- 美術を身近に感じてもらうための活動
 - ・「アートプロジェクト事業」「ミュージアム・コンサート」
- 市民の創作活動の発表の支援
 - ・展示室、ホールの貸出し

○文化団体等の主体的な活動を支援し、その育成を行います。

- 文化団体連絡協議会などの芸術文化団体の支援

○大学機関等との連携により、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施
し、地域の中で芸術文化の役割を探り、連携事業の展開を支援します。

- 学校法人女子美術大学、学校法人順天堂、国立歴史民俗博物館等との連携協働

(7) 安心して学べる教育環境の整備をはかります

児童生徒の安全を確保するとともに学校施設が災害時の避難所に指定されていることから、安全対策を実施します。

また、建築後、年数が経過している学校施設が多いことから学校の維持補修や、運動場の整備などの課題に取り組みます。

この他、学校施設への不審者の侵入に対する対応や、通学路における児童生徒の安全確保に努めます。

■ 学校の施設整備の推進

○学校教育環境向上のための施設整備を推進します。

- 小学校施設
 - ・体育館屋根落下防止事業（井野小学校、佐倉東小学校：H28～29）
 - ・【新規】普通教室への空調設備導入支援のための調査（H29～30）
 - ・給水設備更新工事（弥富小学校、王子台小学校 他）
 - ・雨漏り防止工事（内郷小学校、山王小学校 他）
 - ・運動場改修工事（佐倉小学校：H28～29）
 - ・【新規】空調機器設置工事（教育センター：発達相談や発達検査を行う第2相談室に設置）
- 中学校施設
 - ・【新規】普通教室への空調設備導入支援のための調査（H29～30）
 - ・給水設備更新工事（西志津中学校）
 - ・雨漏り防止工事（上志津中学校）
 - ・体育館床補修工事（佐倉東中学校、臼井西中学校）
 - ・校舎解体跡地整備工事（南部中学校）
- 幼稚園施設
 - ・【新規】普通教室への空調設備導入支援のための調査（H29～30）
 - ・屋根・外壁改修工事（佐倉幼稚園）

○災害発生時における通信手段のより一層の確保に取り組みます。

- 市立幼稚園・小中学校等への災害時用PHS電話の設置

■ 学校の教育環境の整備

○「東日本大震災」を教訓とした防災体制の推進及び防災教育を充実させます。

- 学校危機管理マニュアルの改善、防災避難訓練や防災教育の充実

○児童生徒の毎日の学習が支障なく行えるように、小中学校の教材備品などの購入及び維持管理を行います。また、コンピュータを活用した情報教育を充実させます。

- 小中学校教育振興事業
- 小中学校情報機器整備事業

■ 通学路の安全の確保

○児童生徒が安心して通学できるように、安全の確保に努めます。

- 学校通学路安全確保事業

（８）様々な場面で市民が学ぶことのできる機会の提供をはかります

歴史や自然、芸術文化、スポーツなど、市民が行う学習活動の範囲は多岐にわたっていることから、学習環境の整備を行い、学級や講座を開催するなど、様々な機会や場所を提供します。

また、地域からの要望も聴きながら、計画的な整備・検討を進めていきます。

■ 生涯学習の推進

○コミュニティカレッジさくらの活動事業を推進します。

➤ コミュニティカレッジ活動事業（「さくら学び塾」を含む）

○人権、平和問題について考える機会を提供します。

➤ 人権教育講座の実施

➤ 終戦の日に合わせた図書館における平和関連書籍の配架

○スポーツに親しむ機会を提供します。

➤ 学校の校庭や体育館の一般開放の推進

○文学、歴史及び芸術等の一般的教養に関する講演会を実施します。

■ 社会教育施設の整備の推進

○公民館や図書館、市民音楽ホールや市立美術館など、社会教育・文化施設の整備・補修を進めます。

➤ 【新規】（仮称）佐倉図書館等新町活性化複合施設の基礎調査等を実施

➤ 【新規】将門同和対策集会所の耐震診断業務を実施

➤ 【新規】和田公民館の屋上修繕、空調改修等

➤ 【新規】佐倉南図書館特定天井の新構造適合調査を実施

➤ 【新規】市民音楽ホール客席の天井改修工事（H28～30）、設備の改修等（H29～30）

Ⅲ－２ 教育センター事業

○運営方針

- ・佐倉教育ビジョンを踏まえ、佐倉市教育の目指す方向性を把握し、学校教育・社会教育に関する調査を行い、これから求められる教育や学校像を明らかにします。
- ・各種相談活動については、相談者の不安や悩みが解決されるよう指導・助言に努めます。
- ・教育課題の調査研究を通して、佐倉市教育の現状と課題について分析・考察し、改善点を明らかにします。

○平成29年度 事業計画

月	主 な 事 業 内 容
4	・教育相談開始 ・センター調査研究計画確認 ・学習状況調査作成委員会， 佐倉学道徳教材検討委員会準備 ・特別支援教育支援員研修会① 4日(火)14:30～(佐倉市立中央公民館) ・特別支援教育担当者会議 11日(火)14:00～(和田ふるさと館) ・学校図書館研修会① 12日(水)10:00～(佐倉市立中央公民館)
5	・広報「佐倉市教育センターだより」Vol.42発行
6	・言語教育研修会 1日(木) 14:30～(教育センター) ・佐倉学道徳教材検討委員会① 7日(水) 14:30～(教育センター) ・学習状況調査作成委員会① 14日(水) 14:30～(和田ふるさと館) ・学校図書館研修会② 16日(金) 10:00～(志津コミュニティセンター)
7	・特別支援教育支援員研修会② 20日(木)14:30～(佐倉市立中央公民館)
8	・佐倉市教育相談基礎講座①②③ 1日(火)、 2日(水)、 10日(木) 9:30～(和田ふるさと館) ・佐倉市教育センター等報告会 8日(火) 13:30～(国立歴史民俗博物館) ・学習状況調査作成委員会② 18日(金) 9:30～(和田ふるさと館) ・特別支援学級等担任研修会 22日(火) 9:30～(地域支援センターレインボー) ・佐倉学道徳教材検討委員会② 22日(火) 14:30～(佐倉市立中央公民館)
9	
10	・佐倉市教育支援委員会① 6日(金) 14:00～(教育センター) ・広報「佐倉市教育センターだより」Vol.43発行 ・学習状況調査作成委員会③ 11日(水) 14:30～(和田ふるさと館) ・学校図書館研修会③ 10月下旬 10:00～(市内学校)
11	・佐倉学道徳教材検討委員会③ 9日(木) 14:30～(教育センター) ・家庭教育に関する調査
12	・佐倉市教育支援委員会② 6日(水) 14:00～(教育センター) ・学習状況調査実施：対象 中3 ・教職員意識調査実施
1	・学習状況調査実施：対象 小1～中2 ・佐倉市教育支援委員会③ 11日(木) 14:00～(教育センター)
2	・広報「佐倉市教育センターだより」Vol.44発行 ・学校図書館研修会④ 2日(金)10:00～(志津コミュニティセンター) ・学習状況調査作成委員会④ 14日(水) 14:30～(和田ふるさと館)
3	・平成29年度佐倉市教育センター報告書発行 ・学習状況調査結果送付

※ 就学相談、教育相談、教職員相談、学校図書館、教育情報・資料収集は通年実施

Ⅲ－３ 公民館事業

○運営方針

「佐倉教育ビジョン」及び「佐倉市公民館活動計画」の基本理念を踏まえ、地域の実態や市民生活の急速な変容に伴う学習要求や生活課題をとらえながら、住みよい地域づくりをめざす市民の連帯意識を高めます。

それとともに市民が自主的に「集う」「学ぶ」「結ぶ」活動を支援し、よって、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設として、その役割を果たすことに努めます。

中央公民館

○平成２９年度事業計画

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭教育	3歳児親子あそびうた教室	3歳児と保護者 15組	6月～7月 5回 10月 5回	幼児の自主性と豊かな心を育むことができるようリトミックと体操、手遊び、読み聞かせを行う。
	家庭教育共通講座 「親子で食育講座」 (仮称)	小学生と親12組 ※多数時父親優先	2月 1回	親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶ。また、父親の家事・育児参加を促すことにより、男女平等参画の推進と家庭教育の充実を図るため、父親優先とする。
青少年教育	夏休み子どもゼミナール	小学生5・6年生 15人	7月 4回	世界情勢や宇宙などについて専門の講師を招いて少人数制のゼミ形式で学ぶ。
	水辺観察会 「夏休み子供水辺探検ツアー」	小学生 20人	夏休み 1回	環境政策課と共催。谷津の生きものや、水質についての講義と野外観察を通じて佐倉の自然環境を学ぶ。
	佐倉市・女子美術大学連携協働事業 「JOSHIBIワークショップ」	小学生 20人	夏休み 1回	女子美術大学教員・学生の指導を受けながらアートを体験する。
	子どもの居場所作り	小学生	夏休み中	公民館を利用しているサークルが小学生を対象に指導し、日頃の学習の成果を披露する。工作・華道・調理など。
		小学生から一般市民	7月下旬～8月中	夏休み期間中、学習室1を自主学習の場として提供する。
	紙で作ろう！ 「キアゲハ・カブトムシ」	小学4年生以上 30人	夏休み 1回	模写標本の作製をし、昆虫の生態を学び、虫の仕組みや佐倉の自然環境に興味を持つきっかけとする。
	通学合宿	小学校4～6年生	9月 3泊4日 (佐倉東小)	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活体験をすることにより、自主性・協調性などを高める。また、地域の住人との交流も図り、明るい地域づくりを期待する。
成人教育	親子映画会	小学生・幼児とその保護者	夏休み・冬休み 春休み・各1回	親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。
	地域づくり講座	成人 20人	11月 1回	地域人材による講習会を行い、地域へのつながりと興味を深める。
	パソコン講座	成人 30人	11月 3回	パソコン等の機器に実際に触れ、操作することによって、どのようなものであるかを体験する。
	健康増進教室	成人 30人	9月～10月 1回 2月～3月 1回	介護予防に関する心身の健康に必要な方法や、家庭における健康管理に資することを学ぶ。
	佐倉学講座 「佐倉の文化」(仮称)	成人 90人	9月～12月 2回	佐倉を学ぶ身近な題材として、民話や伝説そして、小説・映画・写真などから郷土への理解を深めるとともに、佐倉を学ぶ。
	佐倉学講座 「印旛沼」(仮称)	成人 50人	9月～12月 1回	佐倉の象徴として「印旛沼」を学び、かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に伝えていくことの重要性を学ぶ。
	佐倉学講座 「佐倉・城下町400年」	成人講座 80人 散策 各 20人	9月～3月 講座 1回 散策 2回	講座と佐倉地区の史跡散策を行い、土井利勝が佐倉城とその城下町を整備してから約400年の歴史を学ぶ。
	佐倉学講座 「古今佐倉真佐子を歩く」	成人 20人	9月～3月 1回	古今佐倉真佐子に記された場所を散策し、古くて新しい佐倉についての身近な発見をする。

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
成人教育	印旛沼公開講座 (環境政策課共催事業)	成人 90人	8月～12月 5回	印旛沼環境基金が主催、環境政策課との共催事業。佐倉市のシンボルでもある印旛沼の状況と自然環境と水の浄化について学ぶ。
	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年・第2学年 2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年・第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	【第1学年】 成人 100人 (予定)	5月～2月 61回	高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をとおした生涯学習の場とする。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。 「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。 公開講座、ミニセミナー等を拡充し、一般への学習機会を提供する。
		【第2学年】 成人 96人	5月～2月 65回	
		【第3学年】 成人 92人	5月～2月 41回	
		【第4学年】 成人 88人	5月～2月 43回	
団体育成	佐倉地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 1団体	随時	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。佐倉市子ども会育成連盟主催の中央交流フェスティバル等に参加する。
	「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」、 「佐倉こどもかるた普及派遣事業」	幼児・児童・成人	随時	佐倉に伝わる民話を題材とした語りを行うグループ「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育む。
	中央公民館利用 グループ懇談会	利用団体代表者 約200団体	4月	利用者団体の交流を図り、公民館活動のあり方について懇談する。
	調理室利用者懇談会	定期利用団体	6月・12月	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用サークル間の交流を図る。
広報活動	中央公民館だより	佐倉地区	年2回 各500部	公民館の事業紹介や募集、地域の様々な情報を提供する。
	「なかま」	成人	毎月1回 1,500部	一般市民から広く原稿を募集し、市民による編集委員会により、編集・校正をする。
視聴覚ライブラリー	16ミリ映写機 操作講習会	社会教育団体 ・一般 20人	6月 1回	視聴覚機器の操作を習得する機会を提供し、映像教材の活用を図る。
	16ミリ映写機点検事業	16ミリ映写機 保有施設	3月 1回	各施設所有の16ミリ映写機を老朽化に伴う上映使用時のトラブル防止のため、一括して点検を行う。
	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出 *16ミリフィルム463本、ビデオ教材1369本、DVD教材194本

和田公民館

○平成29年度事業計画

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と保護者	5月～1月 10回	楽しい親子遊びをとおして、幼児の自立のための親の役割、環境作りや遊びの意義などについて共に考える機会とする。
	楽しく家庭教育講座	小学生以上の 保護者	前期、後期 各1回	子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習する。
青少年教育	剣道教室	地区の小学生 20人	5月～3月 40回	異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10月中旬	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休みおもしろ体験教室	地区の小学生 20人	7月～8月 1回	保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
	【新規】 子ども映画会	地区の小学生	7月、3月 2回	子どもたちに優良な映画に触れる機会を提供することで、心の成長を促し、映画という文化芸術の素晴らしさ・楽しさを知ってもらう。
	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	6月～2月 3回	地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。

	事業名	対象	期間・回数	内容
青少年教育	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各15人	年3回	創造力をはぐくむ講座(和田のはたおりや手工芸、凧作りなど、伝統文化の体験学習を予定)
成人教育	長命大学手芸教室	60歳以上の 地区の成人10人	4月～3月 11回	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図る。また受講生により、再利用を通じて物を大切にする心を子どもたちに指導する。
	【新規】 いきいき生活講座	60歳以上の 地区の成人等	年1回	高齢者の方(おおむね60歳以上の方)の社会的孤立感の緩和と、自立した生活の支援を図る講座を実施する。
	長命大学交流会	地区の成人 40人程度	3月 1回	長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、和田地区交流バス見学会を実施する。
	和田地区防災訓練	地区の成人 50人	1月下旬	地域づくりの実践現場で役立つ防災や防犯について実践的な訓練を行う。
	【新規】 佐倉・城下町400年記念事業 北条氏勝ゆかりの地めぐり	市内の成人20人	10月～11月 2回	弥富公民館と連携して、和田・弥富地区にある北条氏勝のゆかり地を巡り、郷土の歴史を学習する。
	【新規】 佐倉・城下町400年記念事業 ぞうりづくり体験	市内の成人12人	ワラぞうりづくり 1月予定 1回	江戸時代より主流となった日本の伝統的な履物であるぞうりづくりを行う。本物のワラを使い、当時のワラぞうりを再現する。
			ミニぞうりづくり 2月予定 1回	江戸時代の作り方そのまま現代風にアレンジした”ぞうりストラップ”を作る。
佐倉学	佐倉学体験講座 ふるさと味工房	市内の成人 各15人	6月～2月 5回	地域の伝統的食材を活かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図る。【こんにゃく作り、太巻き寿司、大和芋、和田の新鮮野菜料理等】
	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域塾	市内の成人 15人	6月～1月 7回	地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
育団成体	団体育成事業	和田小PTA民俗資料 収集委員会・和田はた おり保存会・和田地区 青少年育成住民会議	通年	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう、協力援助する。
活動広報展	公民館だより発行	和田地区全世帯	年4回発行	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布する。(各700部)
	歴史民俗資料室展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示及び市内小学校の社会科見学の際に解説を行う。
事図業書	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携し、リクエスト図書の提供をする。

弥富公民館

○平成29年度事業計画

	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子遊びのつどい	1～3歳児と 保護者8組	6月～12月 10回	子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を親子遊びを通して学習する。また、幼児が点在し少ない弥富地区において子供と保護者双方の交流の場とする。
	家族で遊ぼう	小学校入学前の 子供と家族12人	10月 1回	家族で活動体験を通じて、親と子のふれあいの大切さを学習する。
青少年教育	弥富剣道教室	小学生～中学生 20人	5月～3月 38回	剣道の稽古を通じて児童生徒の心身の鍛錬及び千葉県指定無形文化財「立身流」を学習する。
	星空観察会	弥富小学校の 児童と保護者	8、10月 2回	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで科学への興味を育む。季節ごとの星座の移り変わりや天体の動きについて学習する。
	佐倉っ子塾 「なんでも体験弥富塾」	弥富小学校児童	5月～2月 10回	自然体験や工作、料理など様々な体験を通じて子供たちの創造性や協調性、豊かな心を育む。
教育人	ふるさと弥富散策会	市内の成人 12人	3月 1回	散策を通して弥富地区の豊かな自然等について理解を深めてもらうとともに、郷土への愛着を高める。

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
成人教育	グラウンドゴルフ	弥富地区の住民	6月 1回	児童から高齢者まで幅広い層と一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して健康増進と異世代間の交流を図る。(弥富地区高齢者クラブ共催)
	竹炭づくり体験	市内の成人 8組	11月 1回	弥富地区の自然を活かした竹炭づくりを体験する事により地域への理解を深める。
	健康づくり講座	弥富地区の成人 12人	10月～11月 4回	日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図る。
	【新規】 佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学入門講座 「北条氏勝ゆかりの地めぐり」	市内の成人 20人	10月～11月 2回	和田公民館と連携して、和田・弥富地区にある北条氏勝ゆかりの地を巡り、郷土の歴史を学習する。
	【新規】 佐倉学入門講座 「中世の弥富」	市内の成人 30人	6、7月 2回	中世の弥富とその周辺地域について学習し、郷土への理解を深めるとともに、地域外の市民にも弥富地区の歴史的魅力を伝える。
	佐倉学入門講座 「弥富の民俗」	市内の成人 12人	1月 1回	弥富地区に残る民俗・風習等について学び、地域への理解を深める。
	佐倉学体験講座 「くらしの講座」	弥富地区の成人 8～50人	6月～3月 8回	弥富地区で継承されてきた生活文化を次代に伝えるとともに、世代間を越えた交流を図り、地域に対する郷土愛を育む。(バス研修、太巻き祭り寿司、布ぞうり作り。)
活動報	佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学専門講座 「塩古ざるづくり」	市内の成人 10人	9月～11月 8回	弥富周辺地域(塩古郷)に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学ぶ。
	公民館だより	弥富地区全世帯	年3回 約600部	公民館事業の案内、募集、弥富地区及び佐倉市全体、市内他地区の情報提供等を行う。
団体育成	地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会	弥富地区の住民	通年	ふるさと弥富を愛する会の主催事業への協力等を通じて活動を支援する。
	弥富地区青少年 健全育成住民会議	弥富地区の住民	11月 1回	青少年健全育成住民会議主催の地区グラウンドゴルフ大会開催等の協力を通じて活動を支援する。

根郷公民館

○平成29年度事業計画

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭教育	親子で遊ぼう ぽっぴちゃんくらぶ	2・3歳児と 保護者30組 (15組×2コース)	前期:5月～ 7月 後期:10月～ 12月 各コース12回	親子と一緒に運動や絵本、手遊び・工作などを楽しみ、幼児の様々な発達を促す。また、家族の参加日を前期後期それぞれ2回設け、保護者だけでなく、家族ぐるみの交流を図る。さらに保健師を講師に育児についての講義を行う。
	【新規】 親子ヨガ教室	幼児・小学生 及び保護者 20組	9月 1回	親子の健康増進を図るとともに、心身のリフレッシュ及び参加者同士の交流も図る。
	親子体験教室	幼児・小学生 及び保護者 10組	5月～10月 5回	屋外活動やもの作りなど、計画から準備までの全てを親子で協力して行い、親子の交流を図る。ザリガニ釣り、おもちゃ作りなどを予定。
	子育て実践講座	幼児の保護者 20人	9月 1回	幼児期の様々な悩みを講師の助言により解決に向けての一助とする。それにより、心身のリフレッシュも図る。
青少年教育	根郷公民館 通学合宿	根郷小学校の 小学4年～6年 14人	6月 (2泊3日)	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活を体験することで自主性・協調性などを高め、生きる力を育む。事業に協力する地域住民・学生との交流も図り、地域の絆を強める。
	体験学習・ものづくり講座	小学生 実験16人 勾玉16人 水彩画15人	6月～12月 9回	体験型事業として、「おもしろ科学実験隊」7回、「勾玉作り」1回、「水彩画教室」1回を開催し、子どものやる気や自主性・協調性などを養う。
	【新規】 子ども茶道教室	小学生 10人	8月 2回	茶道を学ぶことにより、日本文化を知り、礼儀作法や美しい立ち振る舞いなどを身につける。
	クリスマスコンサート	小学生 40人	12月 1回	音楽鑑賞等を通じ、次世代を担う子どもの情操教育に資する。地域の公民館で吹奏楽団(地域に根ざした市民楽団)の音楽に親しむ機会を提供する。

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
青少年教育	佐倉っ子塾 環境政策課 共通講座(水辺観察会)	小学生 20人	7月 1回	環境意識を育む講座(印旛沼などの自然環境やその他の自然体験学習により、環境への意識を育む)
	佐倉っ子塾 夏休み社会科見学	小学生及び保護者 20組	7月 1回	工場や店舗を見学することにより、地域の産業や文化などを体験学習し、子どもの創造力や探究心などを育む(夏休みに実施)。
成人教育	根郷寿大学	60歳以上 130人	5月～3月 11回	郷土の歴史や文化、健康づくり、社会現象等 幅広い分野を学び、教養の向上と社会参加の推進を目的とし、また受講者同士の交流を図る。 ①歴史・文化(佐倉の歴史・歌声コンサート等) ②健康づくり(生活習慣病予防講座、体操) ③社会現象等(社会見学等)
	(市民公開講座) 生活習慣病予防講座	成 人 20人	6月 1回	生活習慣病予防のため、日常生活の中で実践できる予防法を学ぶ(市民公開講座として開催)。
	(市民公開講座) 防犯・交通安全講座	成 人 20人	8月 1回	防犯・交通安全について佐倉警察署職員を講師に学ぶ(市民公開講座として開催)。
	健康づくり講座	成 人 30人	10月 4回	健康の維持増進を図り、生活習慣病予防を目的として、日常生活の中で簡単に出来る有酸素運動など中心に健康体操を実践する。
	パソコン広場	成人 各回20人	4月～3月 毎月第2日曜日(12回)	パソコンボランティアを配置し、パソコン初心者に持ち込みパソコンの操作等に関する疑問を解決する場を提供する。
	シニアのためのタブレット・スマートフォン講座	60歳以上 各20人	7月～12月 4回	スマートフォン・タブレットを、安心・安全に使うには、どうしたらよいか。KDDI社員を講師に招き、理解を深める。さらに、パソコンボランティアが講師となり、スマートフォン・タブレット活用術講座を実施する。
	珈琲学入門講座 珈琲おいしさの方程式	成 人各10人	11月 2回	人々の暮らしに潤いを与える至福の一杯、珈琲の基礎知識、文化と歴史、珈琲豆の選び方、抽出技術等を学び、珈琲の持つ魅力を再発見する。
	ハンギングバスケット講座	成 人各10人	12月2回	季節を彩る花を使って、植物や機材の知識を習得しながらハンギングバスケットを制作する。
	防災講座	成 人 30人	2月 1回	地域住民の防災意識の向上と、防災力を強化するため、避難訓練を実施する。
	佐倉学入門講座	成 人	5月～1月 3回	佐倉をテーマに学び、郷土に関する知識を高める。「佐倉学入門講座」「郷土と刀と鐔を学ぶ」「総武鉄道全線開業120周年事業(展示・講演会等)」
	佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪	成 人各20人	4月10月11月 寺崎散策1回 野草観察2回	根郷をテーマに学び、自然や史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高める。 (寺崎散策:密蔵院の大祭を見学) 根郷地区を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しむ。(春・秋に野草観察会)
	佐倉学体験講座	成 人各20人	10月～12月 3回	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て実施する。講座を通じて地域住民同士の交流を図る。「こんにやく作り講座」「勾玉作り講座」「土偶作り講座」
団体育成	根郷地区社会教育 関係団体への支援	該当団体	通 年	南部地区子ども会育成会連絡協議会、根郷地区青少年育成住民会議及び各種団体の活動を支援する。
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	5月 1回	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を聴く。また、グループ活動の意義の理解を深める。
広報	根郷公民館だより	根郷地区の 各世帯・事業所	4月、9月 10,000部 ×2回	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行する。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通 年 1人10冊 2週間まで	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行う。

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
その他	自習室開放	小学生～成人	7月～8月 3月～4月	夏休み・春休みの期間中、児童・生徒・学生等が個人学習に利用できる部屋を提供開放する。
	卓球室開放	幼児～成人	4月～3月 第1日曜日 12回	家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供する。

志津公民館

○平成29年度事業計画

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭教育	お母さんと遊ぼう	2歳児と母親 20組	6月～11月 10回	親子遊びを通して、子どもの成長を見守り子どもと親が共に成長する「育自」を体験する。
	家庭教育共通講座 ～笑顔で子育て応援講座～	子どもと保護者	11月～3月 2回	子どもが健全に育つための、親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。
青少年教育	佐倉っ子塾 子どもクッキング教室	小学生	6月～12月 4回	地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。
	佐倉っ子塾 子ども手作り工房	小学生	6月～12月 4回	佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。
	佐倉っ子塾 子供自然教室	小学生	6月～12月 4回	自然体験学習や印旛沼等の自然環境を学び、環境意識を育む。
	佐倉っ子塾 子ども理科実験教室	小学生	6月～12月 4回	理科実験等、体験学習を通して子どもの研究心や想像力を育む。
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年	青少年が職場体験学習をすることで、地域のひとのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育む。
成人教育	しづ学入門	成 人 44人	5月～2月 19回	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に繋げる。
	地域健康学	成 人 40人	5月～2月 19回	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、自らの生活を見直し、健康について学ぶことを通じて、地域の中で連帯を図る。
	くらしの情報学	成 人 45人	5月～2月 19回	日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学び、安全で快適なくらしを送れる地域づくりを図る。
	おやじの食事学	成人男性 25人	5月～2月 19回	食生活の大切さや和食を基礎とした食事づくりの楽しさを体験しながら、仲間づくりと地域で活躍する機会をつくる。
	特別講座(公開講演会)	成 人 30人	8月～2月 6回	しづ市民大学の合同講演会等を市民にも公開する。
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成 人 30人	11月～12月 4回	井野長割遺跡を中心に志津地区の遺跡の成り立ちを学ぶことから、郷土愛や、遺跡保存の意識を高める。
	佐倉・城下町400年記念事業 「佐倉道を歩く」	成 人 20人	10月～11月 全5回	佐倉城主が通った「佐倉道」を学び、城下町佐倉について考える一助とする。
団体育成	第44回志津公民館祭	公民館利用サークル 約120団体	10月20日 ～22日	学習成果の発表や展示を通して、地域住民の交流と学習機会提供の場とする。
	定期利用サークル 運営研修会	公民館利用 サークルの代表者 約120名	4月 1回	グループ活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め、地域活動につなげる。
	調理室利用サークル懇談会	調理室利用 サークル	6月 1回	調理室の効果的利用方法を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。
	市子連事務	志津地区 加盟子ども会	通年	各種事業の広報と子ども会安全会事務。
	志津ジュニア・リーダース・クラブ(志津JLC)支援	1団体	通年・ 共催事業	「志津JLC」が行う各種事業への援助を通じて、JLの養成を図る。子ども会等の交流を図る機会を設け、JLが活動する場とする。

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
育団 成体	志津地区社会教育 関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動 を支援する。
	公民館園芸ボランティア 団体への援助	該当団体	通年	公民館における園芸活動を支援する。
活広 動報	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区各戸配布 市内主要施設配布	5、10、1月 各23,000部	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公 民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事 業の参加募集を行う。

臼井公民館

○平成29年度事業計画

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家 庭 教 育	おはなし会	5歳～ 成人30人	月1回	臼井公民館図書室の読書活動推進事業。 子供たち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせ によるおはなし会。本の世界に親しむとともに、豊 かな感受性の育成を育むことを目的とした講座。
	0歳半～3歳児親子あそ び	0歳半～3歳児と 保護者 10組20人	未定	絵本の読み聞かせや手遊びで、温もりある親子 関係を育むとともに、参加者間のコミュニケーショ ンを図る。
青 少 年 教 育	佐倉っ子塾共通講座 「夏休み こども水辺探検ツアー」	小学校4～6年生	7月 1回	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、 水辺環境を身近なものと捉える目を養う講座 (環境政策課共同事業)。
	バック・ステージ・ツアー	小学校4年生 ～成人20人	8月 1回	音楽ホール普段見ることのできない裏廻り (バックステージ)の見学と、音響、照明などの操 作体験をし、舞台芸術の仕事への理解を深め る。
	佐倉っ子塾共通講座 「手作り講座」	小学生 15人	8～9月 1回	物づくりを通じて、自らの手で工夫しながら作りだ す喜びを味わうことにより、個性や創造性を培う。
	かんたん！かわいい クリスマスリース作り	小学生 10人	11月～12月 1～2回	季節感のある物づくりを体験しながら、想像力を 育むとともに幅広い年代との交流を図る。
成 人 教 育	コミュニティカレッジさくら	18歳以上30人 ×2学年	5月～2月 18回	地域づくりのリーダー育成を図り、開設5年目とし て、1年生は基礎講座・人間学を学び、2年生は 実践的な学習を行う。
	佐倉学専門講座 「印旛沼」	成 人 20人	9月～12月 1回	佐倉の象徴とも言える「印旛沼」に関する自然環 境・文化や歴史について学び、豊かな自然を次 世代へ伝えていくことの重要性を認識する。
	佐倉学体験講座 「ちょっといいとこ見て歩き」	成 人 20人	10月～12月 1回	佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴 史・文化・自然や環境の変化について学び理解 を深める。
育団 成体	臼井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 7団体	年間随時	単位子ども会の円滑な運営を図るための相談・研 修・情報交換や地区子連主催事業を行う。
広 報 ・ 展 示 活 動	臼井公民館だより発行	主に 臼井・千代田地区	年2回	公民館の事業紹介や募集、地域の情報などを提 供する。
	まちづくり資料室展示	小学生～成人	通年	臼井地区に関する歴史や遺跡などについて理解 と関心を深める資料展示を行う。
	サークル展示活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を1週間 単位で提供し、各種展示会を開催することで、地 域文化の向上に寄与する。
事図 業書	図書の貸出等	幼児～成人	通年	図書の貸出/返却受付/相談などを行い、市民の 学習活動促進を図る。

Ⅲ－４ 図書館事業

○運営方針

佐倉市立図書館は市民とともにある図書館を基本として、図書、記録その他必要な資料の収集整理及び保存を行い、市民の教養と文化の発展に寄与するために、自由と公平な立場での図書館サービスに努めます。

また、本と人、人と人との出会いの場を提供するとともに、市民が快適に利用できる施設の運営に努めます。

佐倉図書館・志津図書館・佐倉南図書館共催事業

○平成２９年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
読者の広場 「さくらおぐるま」発行	市内在住 在勤・在学者	7月～3月	市民より読書感想文等を募集し文集を発行する。
夏休みおすすめ ブックリストの作成	市内小学生 中学生	7月	夏休みに向けて、児童・生徒の読書におすすめする本のリストを作成・配布する。
ボランティア養成講座	ボランティア 登録者	年1回	図書館ボランティアのスキルアップ講座を行う。
【新規】千葉県公共図書館 協会創立60周年記念合同 企画展示	一般	読書週間 (10/27～11/9)	「我がまちの図書館」を統一的なテーマとして、パネルや関連資料等の展示を行う。

佐倉図書館

○平成２９年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
読書普及事業	一般・児童	年1回	本に親しんでもらうための講座
佐倉学関連の 推薦図書普及	一般 小・中学生	随時	佐倉城下町400年記念事業として「佐倉城」関連図書の展示およびリストの発行
子どもの本の講座	乳幼児と保護者	年1回	乳幼児と保護者を対象とした絵本やわらべうた等おはなし会形式の講座 ＊共催：臼井公民館
おはなしきやらばん	幼児・児童	通年 (30回)	おはなしきやらばんによる人形劇・大型紙芝居等のおはなし会
特別パックの 団体貸出	希望の保育園 小・中学校等	随時	保育園《読み聞かせ用パック》 小学校《年齢別読み物用パック》 小・中学校《佐倉学パック(調べ物用)》
訪問おはなし会	佐倉保育園 学童保育所	随時	子どもや先生への読書活動の推進に努めるため、保育園や学童保育所に出向き、絵本の読み聞かせ、すばなし、ブックトーク、図書館紹介等を実施
職場体験・職場見学 受け入れ	小学生～大学生	随時	図書館への理解を深めてもらうために、依頼に応じて、図書館業務の体験・見学等を実施
児童室の企画展示	幼児・児童	通年	季節や行事にちなんだ本の展示や児童室の装飾、また折り紙作品の紹介等、親子で本に親しむ環境づくりに取り組む。

志津図書館

○平成２９年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
志津図書館 市民講座	一般	1回	市民の学習意欲に応えるため、地域や暮らしに関する課題等をテーマに開催し、読書領域の拡大を図る。
大人が楽しむお話会	一般	年2回 (7、9月)	語り部の話を聞くことによって、読書とは違った本の楽しさ、面白さに触れる。月曜開館日に実施
地域連携事業 高齢化社会における アウトリーチサービス	施設入所者	毎月1回 (年12回)	認知症高齢者にも優しい社会づくりの一環として、職員が施設を訪問し、絵本の読み聞かせ、手遊び、簡単な体操等を実施する。「回想法」により記憶を刺激する手助けをすることにより、認知機能の向上も期待できる。

事業名	対象	期間・回数	内容
子育て応援！ 赤ちゃん広場	乳幼児と保護者	毎月1回 (年12回)	絵本の読み聞かせ、手遊び、子育て支援関連情報の紹介、交流(質問)タイム等を設け、子育てに対する支援を行う。
絵本プレイス	乳幼児と保護者	年6回	近隣保育園の出前保育の会場に、絵本や育児関連の本を展示し読書普及に努めるとともに、情報提供を行う。
保育園・小学校訪問 おはなし会	保育園・小学校	随時	依頼に応じて、絵本の読み聞かせ、素話、ブックトーク、図書館紹介等を行い、子どもの読書普及に努める。
わくわく図書館クラブ	小学生	年2回	図書館探検、読書感想文の書き方教室、季節の行事に合わせたイベント等を行う。
子ども科学実験教室 ～科学の本って おもしろい～	小学生 (3～6年生)	8、12月	身近な材料を使った科学実験・工作を通じ、子どもたちに科学の世界の楽しさを伝える。科学図書を紹介し、読書領域の拡大を図る。
職業体験・職場見学、 図書館実習受け入れ	小学生～大学生	随時	依頼に応じて、図書館の仕事体験・見学を行い、図書館について理解を深めてもらう。
リサイクル文庫 (ブックリサイクル)	子ども～一般	常設	寄贈本や除籍図書について、市民に無償で提供し、資料の有効活用を図る。
地域メディアの活用による 図書館情報の発信	子ども～一般	毎月	地域情報誌「ちいき新聞」(佐倉西版)に、『志津図書館今月のおすすめの本』の記事を連載。毎月テーマを決め、本の紹介・志津図書館からのお知らせを掲載し、情報発信する。
企画テーマ展示	子ども～一般	毎月	季節や時事問題等のテーマに沿って、図書館資料等を展示、紹介する。
行政情報展示	子ども～一般	随時	主管課と連携し、佐倉市の行政施策、行事等について関連資料を展示、紹介する。

佐倉南図書館

○平成29年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
えほんのおはなし会	2歳・3歳児	年24回	絵本の読み聞かせと手遊びを行う。
教養講座	一般	年1回	文学・歴史等の一般的教養に関する講演会を実施する。
ブックリサイクル	一般	年2回	除籍図書及び不用品について市民が有効利用する機会を設ける。
職場体験・職場見学・ 図書館実習受け入れ	小学生～大学生	随時	依頼に応じて、図書館業務の体験・見学を行い、図書館についての理解を深める。
保育園訪問 おはなし会	希望園	随時	保育園に出向き絵本の読み聞かせをし、子どもの読書普及に努める。先生方への情報提供も行う。
テーマ資料展示	一般・児童	毎月	毎月テーマを決め、館内に資料を展示する。
行政関連テーマ展示	一般	随時	行政施策に関連した資料を館内に展示する
ヤングアダルト向け 本の紹介	小学校高学年 ～高校生	随時	ヤングアダルト世代の利用者が自分が、読んだ本の概要・感想を所定の用紙に書き、同世代の利用者に紹介する。 ※図書館は用紙を回収し、紹介コーナーに掲示する。
【新規】子ども読書の日・ わくわくおはなし会	5歳～小学校 低学年	4月23日・1回	子ども読書の日にあわせ、特別おはなし会を開催する。
【新規】子ども読書週間 ブックツリーを作ろう	幼児～一般	4月23日～ 5月12日	子ども読書週間にあわせて来館者からおすすめの本の紹介文を募り、木の形の掲示板に貼って展示を行う。
【新規】夏休み・春休み おはなし会	幼児～小学校 低学年	夏休み3回 春休み1回	児童の来館者が多い夏休みにあわせておはなし会を開催し、読書普及を図る。
【新規】2018年わくわく ☆本の福袋	幼児～小学校 低学年	1月上旬	各テーマで司書が選んだ数冊を福袋に入れて貸出し、新たな本との出会いを楽しんでもらう。

Ⅲ－５ 市民音楽ホール事業

○運営方針

音楽文化の活動拠点として、各分野の演奏会を実施するほか、学校巡回音楽鑑賞会、市民の自主的な音楽活動の育成援助等を通じて、広く音楽文化の振興を図ります。

また、児童・生徒に質の高い音楽鑑賞の機会や実際に音楽活動に参加する機会を提供することで、子どもたちの豊かな感情や情緒、豊かな心を育みます。

○平成２９年度事業計画

	事業名	月 日	内 容	分野	備考
鑑 賞	仲道郁代ピアノ・リサイタル	5月28日	仲道郁代は、ジュネーヴ国際コンクール最高位ほか国内外のコンクールでも受賞を重ね、以後ヨーロッパと日本で本格的な演奏活動を開始する。 2016/2017年はデビュー30周年を迎え、ゲヴァント・ハウス弦楽四重奏団ほかとの共演等、全国各地で公演を予定している。	器楽	主催
	親子でコンサート	6月17日	クラシック音楽や名曲を親子で楽しむコンサート。ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・パーカッションのアンサンブルで、お話を交えた楽しいプログラム。0歳から入場可。	室内楽	主催
	カール・ハインツ・シュッツフルート・リサイタル	6月24日	カール・ハインツ・シュッツは、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者。ソリストおよび室内楽奏者として各国で数多くの重要な音楽祭に参加しており、アンサンブル・ウィーン＝ベルリンほかのメンバーとしても活躍している。	器楽	主催
	樫本大進＆アレッシオ・バックス	7月15日	樫本大進は、2010年、日本人として史上2人目のベルリン・フィル第1コンサートマスターに就任した。使用楽器は1674年製アンドレア・グウルネリ。 アレッシオ・バックスは、1977年イタリア生まれ。これまでに、欧米の主要オーケストラやNHK交響楽団等、90以上のオーケストラと共演している。	器楽	主催
	演劇『喝采』	9月23日	加藤健一、竹下景子、大和田伸也、山路和弘ら出演。クリフォード・オデッツ原作。人生の光と闇、嘘と真実に揺れる心をリアルに描く、心理ドラマの最高傑作！もう一度踏み出す勇氣に、惜しみない”喝采”を――。	演劇	主催
	午後の名曲コンサート (ピアノ：三浦友理枝)	10月7日	三浦友理枝は、1995年「第3回ゲッティンゲン国際ショパンコンクール」第1位受賞。 これまでに、読売日本交響楽団、ロンドン・ソロイスツ室内オーケストラなど国内外の主要オーケストラと多数共演している。	器楽	主催
	森麻季ソプラノ・リサイタル	10月29日	森麻季は、古典から現代まで幅広いレパートリーを誇り、透明感のある美声と深い音楽性は各方面から絶賛される。日本を代表するオペラ歌手として、常に注目を集めている。	声楽	主催
	島田歌穂＆前田優奈with 千葉交響楽団 ビバ！ミュージカル！Ⅳ (平成29年度県民芸術劇場公演)	11月23日	2014年にも開催し、大変好評を博した「ビバ！ミュージカル！」シリーズのパート4。島田歌穂が、千葉交響楽団の演奏をバックにミュージカルナンバーの数々をお贈りする華やかなステージ。 ゲストは、丸屋食品ミュージカル「アニー」2015年東京公演でアニー役を務めた前田優奈。	声楽・管弦楽	主催
	親子でクリスマス・コンサート	12月16日	クリスマスにちなんだ曲やクラシックの名曲を親子で楽しむコンサート。お話を交えた楽しいプログラムで、0歳から入場可。	室内楽	主催

	事業名	月 日	内 容	分野	備考
鑑賞	ニューイヤーコンサート2018 ウィーン・シェーンブルン宮殿 オーケストラ	1月7日	ウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラは、高い技術を誇る伝統的なウィーンの室内オーケストラ。ヴィニシウス・カター指揮のもと、ソプラノのマーラ・マシュタリール、バリトンのミハエル・ハウリチェックが花を添える。	管弦楽	主催
	アコースティック・ナイト	1月14日	伊勢正三、太田裕美、大野真澄によるコンサート。伊勢正三は「かぐや姫」のもとメンバー、その後ソロ・アーティストとしても多くのヒット曲を飛ばしている。太田裕美は「木綿のハンカチーフ」「赤いハイヒール」などのヒット曲で有名。大野真澄は「学生街の喫茶店」の大ヒット曲で有名なフォーク・グループ「ガロ」のボーカル。	ポピュラー	主催
講座	バックステージツアー	8月4日	普段見る事ができない音楽ホールの舞台裏や舞台の仕事を見学し、コンサートがどのようにして作り上げられるのかを学ぶ講座。臼井公民館との連携事業。	講座	主催
学校巡回音楽会	学校巡回音楽鑑賞会 「千葉交響楽団」 (上志津小学校・井野小学校・山王小学校・臼井南中学校)	6月21日	千葉交響楽団は、地域に根差した音楽活動を基本とし、日本音楽界に新風を送るオーケストラを目指して設立された千葉県唯一のプロ・オーケストラ。音楽の授業やテレビ・CDなどでなじみのある音楽を生で聴く機会を小・中学生に提供。指揮体験やオーケストラとの合唱など、参加・体験コーナーも実施。	管弦楽	主催
	学校巡回音楽鑑賞会 「栗コーダーカルテット」 (佐倉小学校・印南小学校・志津小学校・佐倉東小学校)	11月8日	毎年市内の小中学校を対象に実施されている演奏会。プロの演奏を生で聞くことにより感性を磨き、音楽鑑賞のマナーを学ぶ。今回は、リコーダーとウクレレをメインに演奏する栗コーダーカルテット。国内外で年間100本を超える公演を行い、子供から大人まで幅広い層に歓迎されている。	器楽	主催
参加	第27回佐倉合唱 フェスティバル	11月19日	市内や近隣から30を超える合唱団が集まり盛大に開催される合唱の祭典。	合唱	主催
育成	佐倉シティーブラス 第31回ファミリーコンサート	6月4日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉シティーブラスのファミリーコンサート。	吹奏楽	共催
	佐倉フィルハーモニー 管弦楽団 第66回定期演奏会	6月18日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会。	管弦楽	共催
	佐倉フィルハーモニー 管弦楽団 第67回定期演奏会	12月10日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会。	管弦楽	共催
	佐倉シャルマン・ウインド・ オーケストラ 第26回定期演奏会	12月17日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラの定期演奏会。	吹奏楽	共催
教室	佐倉少年少女合唱教室	通年	佐倉市民音楽ホール主催の少年少女合唱教室。月に2回土曜日にミレニアムセンター佐倉・中央公民館もしくは佐倉市民音楽ホール練習室で練習し、合唱フェスティバル等に出演している。	合唱	主催
	少年少女ハンドベル教室	通年	佐倉市民音楽ホール主催のハンドベル教室。月に3回土曜日に佐倉市民音楽ホールで練習し、佐倉市民音楽ホールロビーでのコンサート等に出演している。	器楽	主催
その他	ストリートオルガン演奏会	通年	佐倉市民音楽ホール所蔵の3台のストリートオルガンによる迫力ある演奏会。休日の午後など、月1回の演奏会が行われる。	器楽	主催

Ⅲ－６ 美術館事業

○運営方針

- 1 多くの著名な美術家を輩出した郷土の美術に関する調査、研究、収集を行い、展覧会を通じて、佐倉ゆかりの作家の功績を紹介し、市民の芸術文化に対する理解を広め、郷土への愛着を育みます。
- 2 市民に親しまれる芸術文化活動を育み、地域に定着することをはかり、調和のとれた「まちづくり」に寄与するよう努めます。

○平成２９年度事業計画

	事業名	月 日	内 容
企 画 展	柴宮忠徳展 (無料)	平成29年 8月5日～ 9月24日	長野県に生まれ、佐倉に暮らした画家・柴宮忠徳の没後10年を記念する回顧展を開催する。
	ミテ・ハナソウ展2017 (無料)	平成29年 8月5日～ 8月31日	対話型鑑賞に適した作品を展示して、普段と違った鑑賞の仕方を提案する展覧会の第3弾。鑑賞コミュニケーターによるトークを会期中毎日実施する。今年度は柴宮忠徳展の一部として開催する。
	自転車の世紀 (有料)	平成29年 10月28日～ 12月17日	発明から200年を迎える自転車を、様々な側面―歴史、競技、生活、芸術そして未来の姿など―から紹介する。
	根付展 (有料)	平成30年 1月20日～ 2月18日	貴重な古根付や印籠のコレクションに、新世代作家による現代根付を加え、これまであまり振り返られることのなかった根付の多彩な魅力を紹介する。
収 蔵 作 品 展 (無 料)	収蔵作品展 浅井忠と弟子たち	平成29年 4月4日～ 5月21日	浅井忠と、その弟子である都鳥英喜や黒田重太郎などの水彩・油彩画を紹介する。
	収蔵作品展 小林ドンゲー 初期版画を中心として	平成29年 5月27日～ 7月17日	小林ドンゲーを中心に戦後版画を代表する作家を紹介する。
	収蔵作品展 (仮)佐倉藩ゆかりの作家たち	平成30年 2月27日～ 3月25日	幕末から明治時代に活躍した、佐倉藩ゆかりの作家による作品を中心に紹介する。 (佐倉・城下町400年記念事業「城と町と人と」展の一部として開催)
教 育 普 及	対話による美術鑑賞 プロジェクト ミテ・ハナソウ	通年	対話による鑑賞をリードするボランティアを育成し、学校団体の対応や、来場者の作品に接する楽しさを広げる取組を進める。
	新春佐倉美術展	通年	佐倉を拠点として活動する現代作家による絵画・彫刻・工芸・書の作品を一堂に集めて紹介する。美術展開催に向けて、年間を通じて実行委員の活動を支援する。
学 校 連 携	学校連携プログラム (佐倉学)	通年	市内小中学校を対象に、送迎バス運行による美術鑑賞教室や学校への出前授業などを行い、美術や美術館に関心を持ってもらう。 佐倉学関連として、佐倉ゆかりの作家である、浅井忠や香取秀真、津田信夫等の生い立ちや美術史上の業績などについて広める活動を行う。

Ⅲ－７ 佐倉学

「佐倉学」は、「佐倉教育ビジョン」の重点目標の一つとして位置づけ、平成15年4月から社会教育や学校教育のそれぞれの分野で取り組んでいます。

佐倉の自然、歴史、文化、ゆかりの人物を学ぶことで、郷土をいつくしむ心を育み、よりよい明日を考えて行動する力を培います。教育委員会では、人づくり、地域づくりにつながる「佐倉学」が学習できるように場を提供するとともに、学校での子どもたちの学習を支援します。

【社会教育】

○平成29年度 佐倉学リレー講座

日 時	担 当	内 容
7月～2月 7回	社会教育課	「歴史の残影が佐倉を語る」 江戸時代から現代まで、400年に及ぶ佐倉の歩みについて、歴史や文化、民俗、自然など、さまざまな角度から振り返る。 ※佐倉・城下町400年記念事業

○平成29年度 佐倉学専門講座

日 時	担 当	内 容
9月～12月 1回	中央公民館	「印旛沼（仮称）」 佐倉の象徴として「印旛沼」を学び、かけがえのない豊かな自然環境を次の世代へ伝えていくことの重要性を学ぶ。
9月～11月 8回	弥富公民館	「塩古ざるづくり」 弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学ぶ。 ※佐倉・城下町400年記念事業
9月～12月 1回	臼井公民館	「印旛沼」 佐倉の象徴とも言える「印旛沼」に関連する身近な自然環境・文化や歴史について学び、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識する。

○平成29年度 佐倉学入門講座

日 時	担 当	内 容
1月～2月 2コース×3回	社会教育課	「成田道を歩く」 佐倉新町から成田山新勝寺まで3日間分のルートを設定し、実際に成田道を歩き、成田道や佐倉藩に関わる地を巡り、成田道に係る様々な学習を通しながら、郷土佐倉への理解を深める。
9月～3月 講座 1回 散策 2回	中央公民館	「佐倉・城下町400年」 講座と佐倉地区の史跡散策を行い、土井利勝が佐倉城とその城下町を整備してから約400年の歴史を学ぶ。 ※佐倉・城下町400年記念事業
9月～12月 2回		「佐倉の文化（仮称）」 佐倉を学ぶ身近な題材として、民話や伝説そして、小説・映画・写真などから郷土への理解を深めると共に、佐倉を学ぶ。 ※佐倉・城下町400年記念事業
8月～12月 5回		印旛沼公開講座 （環境政策課共催事業） 印旛沼環境基金が主催、環境政策課との共催事業。佐倉市のシンボルでもある印旛沼の状況と自然環境と水の浄化について学ぶ。
9月～3月 1回		「古今佐倉真佐子を歩く」 古今佐倉真佐子に記された場所を散策し、古くて新しい佐倉についての身近な発見をする。
6月～1月 7回	和田公民館	「楽しく学べる和田地域塾」 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。

日 時	担 当	内 容
10月・11月 2回	和田公民館 弥富公民館	【新規】「北条氏勝ゆかりの地めぐり」 和田・弥富地区にある北条氏勝ゆかりの地を巡り、郷土の歴史を学習する。 ※佐倉・城下町400年記念事業
6月・7月 2回	弥富公民館	【新規】「中世の弥富」 中世の弥富とその周辺地域について学習し、郷土への理解を深めるとともに地域外の市民にも弥富地区の歴史的魅力を伝える。
1月 1回	弥富公民館	「弥富の民俗」 弥富地区に残る民俗・風習等について学び、地域への理解を深める。
5月～1月 3回	根郷公民館	佐倉をテーマに学び、郷土に関する知識を高める。 （「佐倉学入門講座」「郷土と刀と鐔を学ぶ」「総武鉄道全線開業120周年事業（展示・講演会等）」
4月10月11月 3回		「根郷ふるさと探訪」 根郷をテーマに学び、自然や史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高める。（寺崎散策：密蔵院の大祭を見学）根郷地区周辺を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しむ。（春・秋に野草観察会）
11月～1月 4回	志津公民館	「井野長割遺跡を学ぶ」 井野長割遺跡を中心に志津地区の遺跡の成り立ちを学ぶことから、郷土愛や、遺跡保存の意識を高める。
10月～11月 5回		「佐倉道を歩く」 佐倉城主が通った「佐倉道」を学び、城下町佐倉について考える一助とする。 ※佐倉・城下町400年記念事業

○平成29年度 佐倉学体験講座

日 時	担 当	内 容
随時	中央公民館	「ボランティア団体派遣事業」 佐倉に伝わる民話を題材とした語りをを行うグループ「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育む。
6月～2月 5回	和田公民館	「ふるさと味工房」 地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図る。【こんにゃく作り、太巻き寿司、大和芋、和田の新鮮野菜料理等】
1月予定 1回		「ワラぞうりづくり」 江戸時代より主流となった日本の伝統的な履物であるぞうりづくりを行う。本物のワラを使い、当時のワラぞうりづくりを再現する。※佐倉・城下町400年記念事業
2月予定 1回	和田公民館	「ミニぞうりづくり」 江戸時代の作り方そのまま現代風にアレンジした”ぞうりストラップ”を作る。※佐倉・城下町400年記念事業
6月～3月 8回	弥富公民館	「くらしの講座」 弥富地区で継承されてきた生活文化を次代に伝えるとともに世代間を越えた交流を図り地域に対する郷土愛を育む。【太巻き祭り寿司、布ぞうり作り、バス研修等】
10月～12月 3回	根郷公民館	体験型・参加型の講座を地域住民の協力を得て実施する。講座を通じて地域住民同士の交流を図る。 「こんにゃく作り講座」「勾玉作り講座」「土偶作り講座」
10月～12月 1回	臼井公民館	「ちょっといいところ見て歩き」 佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び、理解を深める。

【学校教育】

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習(活動)内容	資料等
社会科	わたしたちのまち みんなのまち	小学校 3年	・学校の周りを探検したり、市内の特徴ある場所を調べたりすることで佐倉についての理解を深め、愛情を持つ。 ・調べたことを資料にまとめ、発表する。	社会科副読本 「わたしたちの 佐倉市」 まち探検
	郷土の先覚者 「佐藤泰然」	小学校 4年	・地域の発展に尽くした先人の具体的事例として取り上げ、医学の面で地域の人々の生活に向上に尽くした人物の働きや苦労を考える。 ・佐倉順天堂記念館見学	郷土の先覚者 シリーズ 「佐藤泰然」 佐倉順天堂 記念館
	郷土の先覚者 「堀田正睦」	小学校 6年	・江戸時代末期の「開国」を指導する単元で取り扱う。 ・日本を開国に導くために力を尽くした人物の働きや苦労を考える。 ・佐倉藩の藩政改革に触れ、新しい学問等を取り入れようとした佐倉藩の「好学進取」の気風にも触れる。	郷土の先覚者 シリーズ 「堀田正睦」
	郷土の先覚者 「林 董」	中学校 2年	・外交官として日英同盟を結び、政治の世界で日露戦争時に活躍した人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「林 董」
	郷土の先覚者 「西村勝三」		・武士から商人になり、製靴・製革・耐火煉瓦の製造に取り組み、当時としては、いずれも日本を代表する規模にまで高めた人物の働きや苦労を具体的に調べる。	郷土の先覚者 シリーズ 「西村勝三」
美術科	郷土の先覚者 「香取秀真」 「津田信夫」	中学校 3年	・日本の近代工芸の先駆者として、日本の芸術振興に寄与した人物の働きや苦労を具体的に調べる。 ・佐倉市立美術館の見学	郷土の先覚者 シリーズ 「香取秀真」 「津田信夫」 佐倉市立美術館
	ふるさとの歴史		・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。 ・詳しく調べたい生徒は、「ふるさと歴史読本」を活用する。 ・佐倉市立美術館の見学	「ふるさと歴史読本」 副読本「ふるさと 佐倉の歴史」 佐倉市立美術館
	「津田梅子」	小学校 1・2年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 津田梅子…主題名「最後までやりぬく」	道徳副読本 「佐倉の道徳」
	「堀田正倫」 「佐藤泰然」	小学校 3・4年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 堀田正倫…主題名「郷土のために」 「郷土の人のために」 佐藤泰然…主題名「みんなのために」	道徳副読本 「佐倉の道徳」
道徳	「津田 仙」 「西村茂樹」 「浅井 忠」	小学校 5・6年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 津田 仙…主題名「新しい方法を取り入れ未来を ひらく」 西村茂樹…主題名「希望をもって生きる」 浅井 忠…主題名「夢に向かって」	道徳副読本 「佐倉の道徳」

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習(活動)内容	資料等
道徳	「堀田正睦」 「西村茂樹」 「西村勝三」	中学校 1～3年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 堀田正睦…主題名「郷土を愛し、郷土のために尽くす」 西村茂樹…主題名「国を愛する心」 西村勝三…主題名「高い目標」「失敗をのりこえて」	道徳副読本 「佐倉の道徳」
総合的な学習の時間	佐倉の自然と環境	小学校 3・4年	・学校の周りを中心に佐倉の自然に触れ、木々の緑に囲まれた公園や里山に広がる田園地帯を活用して活動する。	印旛沼 地域の里山 公園等
		小学校 5・6年	・佐倉の環境について調べ、佐倉の自然や環境について考える。	「ふるさと佐倉の自然」 印旛沼 里山・公園等
	郷土の先覚者 「佐藤尚中」 「佐藤 進」 「松本 順」	小学校 5年	・「佐藤泰然」の学習の発展として取り扱う。 ・明治期の近代日本の医学の発展に力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「佐藤尚中」 「佐藤 進」 「松本 順」
			・佐倉順天堂記念館見学	佐倉順天堂 記念館
	佐産・佐消		・食から佐倉について調べる。 ・米作りを通して、佐倉の食について理解を深める。 ・大和芋の栽培を体験する。	副読本「ふるさと佐倉の歴史」 農業体験活動
	郷土の先覚者 「堀田正睦」	小学校 6年	・堀田正睦の「頌徳碑」の見学 ・武家屋敷の見学	甚大寺 武家屋敷
	ふるさとの歴史		・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。 ・歴史や史跡、人物などから佐倉について調べる。 ・調べたことを資料にまとめ、発表会を開く。	副読本「ふるさと佐倉の歴史」
	佐倉の自然と環境		・佐倉の環境について調べ、佐倉の自然や環境について考える。	「ふるさと佐倉の自然」印旛沼 里山・公園等
	「堀田正睦」 「西村茂樹」 「西村勝三」	中学校 1～3年	・道徳副読本「佐倉の道徳」を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 堀田正睦…主題名「郷土を愛し、郷土に尽くす」 西村茂樹…主題名「国を愛する心」 西村勝三…主題名「高い目標」	道徳副読本 「佐倉の道徳」
	郷土の先覚者 「堀田正倫」	中学校 1年	・幕末の佐倉藩を守り、明治期の佐倉藩の産業振興に力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「堀田正倫」
			・国指定重要文化財・旧堀田邸の見学 ・佐倉高等学校地域交流施設の見学	旧堀田邸 佐倉高等学校
	郷土の先覚者 「佐藤志津」		・日本の近代における女子教育の先駆者として力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「佐藤志津」
	ふるさとの歴史		・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。	副読本「ふるさと佐倉の歴史」

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習(活動)内容	資料等
総合的な学習の時間	郷土の先覚者 「堀田正睦」	中学校 2年	・「開国と不平等条約」を取り扱う単元で、日本を開国に導くために力を尽くした人物の働きや苦勞を具体的に調べる。 ・佐倉藩の藩政改革に触れ、新しい学問等を取り入れようとした佐倉藩の「好学進取」の気風にも触れる。	郷土の先覚者シリーズ 「堀田正睦」
	ふるさとの歴史		・佐倉市民体育館前の「西村勝三」像の見学	「西村 勝三」像
			・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。 ・詳しく調べたい生徒は、「ふるさと歴史読本」を活用する。	「ふるさと歴史読本」 副読本「ふるさと佐倉の歴史」
	郷土の先覚者 「西村茂樹」	中学校 3年	・日本人の生き方を示した明治の思想家として、日本の道德教育の充実のために尽力した人物の働きや苦勞を具体的に調べる。	郷土の先覚者シリーズ 「西村茂樹」
	郷土の先覚者 「浅井 忠」		・日本洋画界の先駆者として、日本の芸術振興に寄与した人物の働きや苦勞を具体的に調べる。	郷土の先覚者シリーズ 「浅井 忠」
読書の時間	「堀田正睦」 「堀田正倫」 「津田梅子」	小学校 1～3年	・読書の時間等に佐倉市郷土の先覚者小学校低学年用の資料を使用して、先覚者に親しみを持たせる。	小学校低学年用 「堀田正睦」 「堀田正倫」 「津田梅子」

Ⅲ－８ コミュニティ事業

「コミュニティ事業」は、自らの居住地域での人間関係を見直し、地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、地域づくり(防災・防犯、少子高齢化、まちの活性化等のまちづくり)に参加いただける人材の育成を目指しています。人と人のつながりを大切にして地域に根ざした活動をしたい、もしくはそうありたいと考えている市民の学習の場です。

市民協働の取り組みの一つとして、学習者一人ひとりの持つ、技術・知識・能力を高め、次世代に継承していただくだけでなく、地域リーダーとして多種多様な取り組みを、佐倉の様々な地域において実践いただくことにより、社会の人と人との絆を深め、お互いを支え合う地域社会の形成を目指します。

○平成２９年度 コミュニティカレッジさくら

日 時	担 当	内 容
5月～2月 18回	臼井 公民館	地域活動を行うために必要な折衝能力を培うとともに、地域課題の発掘方法や課題解決に向けた実践活動について学びます。また地域の各種資源(人材等)を活かした、様々な地域活動例、具体的な実践手法等、共に生き、支え合う地域づくりについても学びます。

○平成２９年度 さくら学び塾

日 時	担 当	内 容
10月～3月	臼井 公民館	市民の中から公募で選ばれた市民講師と受講生が共に学び、考え、お互いが成長していくための市民講座です。専門的な知識や技術を保持する市民が講師となり、その知識や技術を継承していくことを目指します。

IV 学校紹介 1 幼稚園（3園）

佐倉市立佐倉幼稚園



【古嶋 美文 園長からの一言】

本園は大正2年に創立し、今年で104年目を迎えます。園庭の雄大な“とちの木”と周囲の草花は、元気な園児たちを温かく見守りながら、心地よい緑陰と安らかな空間を提供してくれます。

園児たちは、この豊かな環境の中でより良い生活習慣を身に付けます。また、話し合い、協力しあい、深く関わり合う活動を重視し、協同性を伸ばします。これからも、教育環境を一層整え、家庭や地域との連携を図りながら、教育目標の達成に向けて、誠心誠意努めてまいります。

【今年度の教育目標】

幼稚園生活を通して、生きる力の土台を育む

《目指す幼児像》

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| ○明るく元気な子ども | (よりよい生活習慣を身につけ、のびのびと行動できる) |
| ○最後までがんばる子ども | (多くの体験をしながら我慢したり挑戦したりすることができる) |
| ○みんなと仲良くできる子ども | (相手の気持ちを理解し、思いやりをもった行動ができる) |

佐倉市立和田幼稚園



【平山 博久 園長からの一言】

佐倉市南部の自然豊かな地域にあり、園舎は和田小学校と同じ建物です。園児は8名ですが、『小さくともキラリと光る幼稚園』をモットーに、地域や保護者の協力のもと、教育を進めています。小学生と運動会やマラソン大会、生活科の学習等を一緒に行うなど、幼小の交流を計画的に進め、集団生活における人間関係をいっそう育てていきます。

定員に余裕がありますので、随時、園児を募集しています。

【今年度の教育目標】

『物事に意欲的に取り組み、自己充実していくことのできる子どもに育てる』

- | | |
|----------------|---------------|
| ○心身ともに健康な子ども | (健康・たくましさ) |
| ○明るく情操豊かな子ども | (明るさ・やさしさ・感動) |
| ○友達となかよく遊べる子ども | (思いやり・協力) |
| ○我慢強い子ども | (よく考える・努力) |

佐倉市立弥富幼稚園



【金木 勝己 園長からの一言】

本園は昭和49年の創立で、今年度で44年目を迎えます。園庭には四季折々の花が咲き、豊かな自然に囲まれています。

園児9名の小規模な園ですが、『明るく元気な弥富幼稚園』を目指し、少人数を生かしたきめ細かな教育を行うとともに、同じ敷地内の弥富小学校との行事や歌声、日常の遊びなどで交流活動を積極的に進め、「弥富幼稚園に通ってよかったな」と満足いただける幼稚園にしたいと思います。

【今年度の教育目標】

『豊かな人間性や社会性の基礎を培い、心身ともに健康な園児の育成』

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ◎心のやさしい子 | ◎たくましい子 |
| ・みんなとなかよくできる子ども | ・明るく元気な子ども |
| ・協力しあう子ども | ・自分のことは自分でする子ども |
| ・生命の大切さがわかる子ども | ・最後までがんばる子ども |

IV-2 小学校（23校）

佐倉市立佐倉小学校



【佐久間 保男 校長からの一言】

今年は、「思いや考えを豊かに表現できる教育」をキーワードとして研究を進めています。人の思いや考え、身の回りの自然を敏感に感じ取ることができる、情緒あふれる児童の育成を目指します。

普段から挨拶やボランティア活動、陸上、相撲、合唱等児童の主体的な活動が盛んで、とても活力がある学校です。これからも地域の皆様との絆を大切にしていきます。

【今年度の教育目標】

『自ら学び、豊かな感性と情緒を備え、たくましく生きる子供の育成』

～かしこく・心やさしく・たくましく～

【めざす児童像】

かしこく : 学び方を知り、進んで学習します。

心やさしく : 人を大切にし、友達と仲良く助け合います。

たくましく : 自分の体のことをよく知り、心と体をきたえます。

【重点】 ◎知・徳・体のバランスのとれた教育活動をしていきます。

佐倉市立内郷小学校



【田辺 直美 校長からの一言】

豊かな自然と歴史に恵まれた本校は、創立109年を迎え、よき伝統と地域に支えられた温かな校風の学校です。縦割り活動や内郷まつり、シルバーダンス会など、様々な体験や関わりの中で、子供たちが自己実現の喜びを実感しています。

家庭や地域との深い絆を大切に、JRC精神の「気づき考え行動する子」、夢に挑戦し「一人一人が輝く学校」をめざし、教育活動を推進してまいります。

【今年度の教育目標】

『学び合う 心豊かな 実践力のある児童の育成』

(児童像) 自ら学習や生活に取り組み、関わりの中で自分のよさを見出し、高めようとする子ども
進んで人と関わり、相手の立場に立って考え、互いに支え合う子ども

夢や目標に向かって、やり遂げる意志の強さと体力を備えたたくましい子ども

(学校像) 子どもにとって安全、安心な学校

あいさつや歌声のひびく明るい学校

子どもや保護者、地域から信頼され、支え合う学校

佐倉市立臼井小学校



【佐藤 尚久 校長からの一言】

印旛沼の湖畔にあり豊かな自然と歴史に恵まれた本校は、創立145年を迎えました。学校と家庭が連携し、地域の皆様方からご支援をいただきながら、子ども達にとって安全で安心な学校、学ぶ楽しさが実感できる魅力的な学校づくりを推進していきます。そして、臼井っ子一人一人が、目指す児童像「かしこく、やさしく、たくましく」を強く意識しながら、よりよい姿を目指して諸活動に取り組めるよう教職員が一丸となって取り組んでまいります。

【今年度の教育目標】

○教育理念:「人間尊重の精神に徹すると共に、郷土の歴史と文化を尊重し、社会の変化に主体的に対応し進んで学ぶ(好学進取)ことができる心身共に健康で、心豊かでたくましい子どもの育成を目指す。

○学校教育目標:『自ら学び、心豊かでたくましい子どもの育成』

○目指す児童像:「かしこく、やさしく、たくましく」～「勉強する子」・「やさしい子」・「元気な子」～

佐倉市立印南小学校



【松橋 明子 校長からの一言】

印南小学校は、自然豊かな環境に恵まれた、歴史ある学校です。校舎の窓からは、広々とした田園の向こうに木々の緑が見渡せます。

目指す学校像は、①保護者と地域から信頼される学校 ②明るく活力のある学校 ③互いに支え合い、学び合い、ともに歩む学校 ④清潔感のある学校です。保護者、地域の方々と協力し、全職員で力を合わせて、子どもたちが認め合い学び合いながら確かな力を培える学校を築いていきます。

【今年度の教育目標】

豊かな心を持ち、自ら考え行動する、たくましい児童の育成

(目指す児童像)

- ・考える子・・・進んで学び、豊かに表現できる子、友達と学び合い、考えを深められる子
- ・思いやりのある子・・・明るく礼儀正しく、思いやりのある言動ができる子
- ・たくましい子・・・友達とともに元気よく活動し、ねばり強くやり抜く子

佐倉市立千代田小学校



【加藤 温 校長からの一言】

本校は、明治6年の開校以来、地域に愛され、地域とともに歩んできた歴史ある学校です。本校の伝統である「あいさつ」「歌声」「花」が数々の学校を継続するとともに、子ども、保護者、地域の方、そして教職員も笑顔になれる学校をめざします。

また、今年度はものやお金を大切に、健全な勤労観や金銭感覚を育てることをねらいとして、金融教育にも力を入れています。

【今年度の教育目標】

『気づき 考え 行動する 千代田っ子の育成 「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」』
子どもたちの主体的な学習や活動を通して「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」を育てます。具体的には次のような子どもです。

- 「かしこい子」 課題に気づき、進んで考え判断し、表現する子
- 「やさしい子」 周りの状況に気づき、相手の立場に立って考え、助けられる子
- 「たくましい子」 健康や安全、体力向上について気を配り、考え、行動できる子

佐倉市立上志津小学校



【天田 美佐枝 校長からの一言】

本校のシンボルツリーとして、昭和36年に創立記念樹として植えられた、コウヤマキ。それから半世紀余り、スカイツリーのモデルと変わらない姿にまで成長しました。私たちは、未来に生きる子どもたちのために何ができるのかという強い思いを持ち、教育の可能性に挑戦していきます。児童が夢を持ち、広い世界に目を向け、自己実現を図れるよう学校、家庭、地域が思いを一つにし、教育活動をすすめていきます。

【今年度の教育目標】「豊かな心を持ち、自ら学ぶ意欲ある児童の育成」を教育目標にしています。4つの児童像(かしこい子、がんばる子、やさしい子、けじめのある子)を掲げ、「磨き合い」の場を大切にしながら、一人一人の個性がかがやくよう努めて参ります。本年度の経営の重点として、①児童一人一人の学力向上と指導技能の向上、②心を育む環境づくりと指導の充実、③人権教育の推進と充実、④積極的な生徒指導の推進、⑤将来に根付く健康、安全づくりの推進、⑥家庭・地域社会と連携し、共に育てる環境づくり⑦夢と希望を育む教育の7項目に取り組んでいきます。子ども同士の主体的で深い学びを目指し将来につながる学力育成に努めて参ります。

佐倉市立志津小学校



【松浦 みち子 校長からの一言】

今年度、創立144年目を迎える歴史と伝統のある学校です。子供達は、明るく素直で元気いっぱいです。防犯団体の方々による子供達の見守り活動、図書ボランティアの方々による学習支援活動を始め、PTA活動等も盛んで、保護者や地域の方々に支えられている学校です。主役の子供達が毎日楽しく学び健やかに成長できるよう、これからも学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを目指します。

【今年度の教育目標】

「豊かな心を持ち、一人ひとりの児童が主役となれる学校」

【目指す児童像】

しづっこ(志津っこ) <合い言葉> -やればできる-

『し』しっかり聞いて話せる子 『づ』つながりを大事にする子

『つ』つよい体をつくる子 『こ』こころ配りのできるやさしい子

「やればできる」を合い言葉に、学校教育目標の具現化を図り、全職員一丸となって「しづっこ」の育成に取り組んで参ります。

佐倉市立下志津小学校



【石川 昭彦 校長先生から一言】

昨年、創立50周年記念行事を盛大に実施した下志津小学校です。始業式・入学式では50周年を記念してつくった歌『未来へのバトン』を皆で元気よく歌いました。明るく、素直な子どもたちですが、それもこれもスクールガードや読み聞かせなどボランティアの皆様をはじめ、多くの地域の方々に支えられてのことです。学校・家庭・地域とともに「下志津小大好き 100%」の子どもたちをめざし職員一丸となって取り組んでまいります。

【今年度の教育目標】

『明日のために今を精一杯生きる子どもの育成』 ～レッツ チャレンジ 下志津っ子～
遊ぼう(頑張りのきく体力)・学ぼう(確かな学力)・仲良くしよう(豊かな社会力)

【めざす学校像】

(集 中)授業や行動などの活動一つ一つに集中して取り組む学校

(ぬくもり)あいさつが飛び交い笑顔あふれるぬくもりある学校

(清 潔)整理整頓の行き届いた清潔感あふれる学校

(秩 序)互いに尊重し合い、助け合う秩序ある学校

佐倉市立南志津小学校



【小川 英昭 校長から一言】

緑豊かで広い校庭と、四季折々のきれいな花が咲き、小鳥の囀りが聞こえる、うるおいのある学校です。今年で開校44年目を迎えます。「かしこく、やさしく、たくましく」をスローガンとして、「生きる力」を育む教育を推進します。学校運営委員会をはじめとし、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の充実に努め、子どもたちが生き生きと活動し、「自分が好き、友達が好き、南志津小が好き」と言える、笑顔が絶えない学校をめざして職員一丸となってがんばります。

【今年度の教育目標】

『自ら学び、心豊かでたくましい南っ子の育成』 ～かしこく、やさしく、たくましく！～

○目指す児童像

・**み**ん**な**となかよく 助け合う子(優気)

・**み**ずからがんばる たくましい子(元気)

・**み**ち**づ**かり考え 勉強する子(根気)

○目指す学校像

・子どもにとって安全安心できれいな学校

・子どもや職員にとって楽しく魅力的な学校

・笑顔があふれ、あいさつと歌声がひびく明るい学校

・子どもや保護者、地域から信頼される学校

佐倉市立根郷小学校



【諸根 彦之 校長からの一言】

校訓「進取の心」には、変えてはならない不易な価値があります。初代桧貝勇吉先生の教育理念を継承し「恐れず、怯まず、勇気を持って挑戦」する心と「思い遣り・お互い様」の心を大切にする教育を進めてまいります。

そして、母語である日本語をきちんと学び、子供たちの豊かな情緒を育ててまいります。

【今年度の教育目標】

「実践力があり 個性豊かでたくましい児童の育成」

めざす児童像

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 思い遣りのある子 | (徳育)・・・友達を大切にし、思い遣りや配慮のできる子 |
| できる喜びを感じる子 | (知育)・・・進んで学び、あきらめず、探究できる子 |
| 自分を鍛える子 | (体育)・・・進んで行動、元気に運動、自分を鍛える子 |

佐倉市立和田小学校



【平山 博久 校長からの一言】

豊かな自然に囲まれた、児童61名の小さな学校ですが、小規模校の良さを生かした特色ある教育活動を展開し、児童一人ひとりの自尊感情・自己肯定感を高めています。校内に和田幼稚園があり、幼小連携、児童・園児の交流を進めています。昨年度に引き続き、校内研究のテーマを、「自分の将来を見据え、生きる力を育てるためのキャリア教育」とし、家庭や地域、公民館や企業などの関係機関と連携し、体験活動を重視した学習を進めます。

【今年度の教育目標】

『ともに・・・こころ豊かに生き生きと活動する児童の育成』 まなびあい みんななかよく たくましく
＜めざす児童像＞

【和】わかるまで根気よく学ぶ子 【田っ】たくましく体をきたえる子 【子】心やさしい思いやりのある子
＜めざす学校像＞

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ①子どもの「生きる力」を育てる学校 | ②明るいあいさつと笑顔があふれる学校 |
| ③学ぶ環境が整えられた潤いのある学校 | ④家庭・地域とともに歩む学校 |

佐倉市立弥富小学校



【金木 勝己 校長からの一言】

本校は、平成20年度に市内どこからでも転入学が可能となる小規模特認校に指定され、今年度は弥富地区外から7名の児童を受け入れています。全校児童50名という少人数の利点を生かし、一人一人にきめ細かな指導を行っています。

本校の良さを生かし、『いじめのない学校づくり』『学力向上』『小規模特認校の周知』『併設する弥富幼稚園との交流』に力を入れています。

【今年度の教育目標】

『ふるさとに誇りをもち、夢に向かって学び合い、思い合い、鍛え合い、社会に尽くすことのできる児童の育成』

◎めざす児童像=弥富っ子の3つの合い(愛)

- ・学び合い・・・よく考え、友だちと学び合える子
- ・思い合い・・・相手を思いやるやさしい子
- ・鍛え合い・・・健康でたくましい子

◎めざす学校像

- ・児童一人一人を大切にする学校
- ・保護者・地域から信頼される学校
- ・明日も元気に登校したいと思える学

佐倉市立井野小学校



【荒金 誠司 校長からの一言】

井野小学校は、昭和46年4月に開校し、本年度創立46周年を迎えました。長割遺跡という遺跡の中に建つ学校で、自然と歴史に囲まれた中で育つ児童約760名は、活力と優しさにあふれています。

すべては子どもたちのために、「児童・保護者・地域から信頼され、ともに歩む学校」「一人一人の児童を大切にする学校」「笑顔のある明るく活力のある学校」「組織的に対応できる学校」「学ぶ環境が整えられ、きれいで安全な学校」をめざしていきます。

【今年度の教育目標】

『思いやりがあり、学び合い、たくましく生きる子の育成 ～一人一人が輝く学校～』

一めざす児童像一

- 「思いやりがある子」…自分も友達も大切にするとともに、善悪の判断を正しくできる子
- 「学び合う子」…自ら学び、考え、豊かに表現できるとともに、友達と学びを高め合うことができる子
- 「たくましく生きる子」…心も体も健康で、困難にくじけない子

佐倉市立佐倉東小学校



【市村 尚義 校長からの一言】

地域の方々に支えられて43年 ～人と環境に優しい学校の創造～ を伝統とし、校庭の木々の緑、色とりどりの花、そして慈愛に満ちた方達が、児童の成長を見守ってくださる学校です。

日々の授業の中や縦割り班による心のふれあい活動等の推進により、一人一人の居場所づくり、自分らしさが輝く場面づくり、好ましい人間関係づくりを進めて参ります。創立43年目の今年度は「互いのよさを認め合い、協力し、主体的に活動する児童の育成」をめざします。

【今年度の教育目標】

『ひとにやさしい子、がんばれるたくましい子、しんけんに考え学べる子』

【めざす学校像】

- (1) 学ぶことが楽しくなる創意ある授業が展開されている学校
- (2) 自分が役に立ち、支持的風土のある学級づくりがなされている学校
- (3) 児童と教師が理解と信頼で結ばれるあたたかい学校
- (4) 保護者や地域と信頼し合える安心・安全な学校

佐倉市立西志津小学校



【沼田 正信 校長からの一言】

西志津小の3つの特色『響け歌声』『読書大好き』『1000人パワー』は伝統です。この中心となる「歌声集会」「図書まつり」「運動会」等の行事や集会は、活気にあふれ児童一人一人が輝いています。この教育活動も、保護者・地域の方々の温かいご支援、佐倉市・佐倉市教育委員会のご指導・ご支援、先生方の献身的な努力のもと行われています。多くの方々への感謝の気持ちを胸に、安心・安全を基盤とし、児童一人一人のよさを伸ばし、西志津小で学べてよかったと思える学校運営をします。

【今年度の教育目標】

『思いやりのこころをもち 互いに学びあう たくましい児童の育成』をめざす。

目標を達成するため、全教職員と共に、3つの児童像をめざし教育にあたります。①『思いやりのある子』相手の立場に立って考えられ、気遣いのできる児童。自ら明るく元気に挨拶できる児童。②『学びあう子』自分から進んで学習に取り組むとともに、他の人との関わりの中で自分や他の人の良さを見だし、さらに自分を高めようとする児童。③『たくましい子』夢や目標に向かって、あきらめることなく、主体性をもってやり遂げる意思の強さと体力をもった児童。

佐倉市立小竹小学校



【戸村 桂二 校長からの一言】

あいさついっぱい、歌声いっぱい、読書いっぱい、花いっぱいの学校です。開校から37年目を迎えました。

異学年による縦割り活動や学校図書館教育には、特に力を入れています。たくさんの図書ボランティアの皆様の協力を得ながら、子どもの読書活動を推進しています。また、まちづくり協議会やスクールガードの皆様をはじめとした地域の方々が大変熱心に教育活動に参加・ご協力いただき、子どもたちが「安心安全」に笑顔で登下校できている学校です。

【今年度の教育目標】 夢を抱き 輝く小竹っ子 わくわく登校 にこにこ下校
あいさついっぱい 歌声いっぱい 読書いっぱい 花いっぱいの学校で
「元気な子 やさしい子 考える子」の育成

元気な子 (体) よく働き、進んで挨拶ができる心身共にたくましい子ども
やさしい子 (徳) 思いやり助け合いながら、感謝の気持ちをもって行動する子ども
考える子 (知) 読み書き計算ができ、学び方を身につける子ども よく考え、判断し、行動できる子ども

佐倉市立間野台小学校



【宮腰 英二 校長からの一言】

間野台公園に併設の本校は創立37年目。えがおで元気いっぱい、しっかりと「あいさつ」ができ、「立腰」で姿勢の良い児童とチームワークのとれた教職員が共に間野台小という大きな家族をめざします。市指定「佐倉学」の学びを通し郷土への愛着、進取の精神を育みます。ボランティア、保護者・地域の皆様の協力をいただき、「希望の登校、満足な下校」、安心・安全な学校づくりを推進します。

【今年度の教育目標】

『心豊かで、進んで学ぶ、心身ともにたくましく生きる子どもの育成』

自尊感情を高めつつ、“よさ”や“可能性”を引き出し、意欲をもって自己実現をめざして学ぶ、心身ともに健やかで、たくましく生きる子どもの伸長を図ります。

《めざす学校像》 ①「明るく、一人一人の子どもを大切にする学校」
②「元気な挨拶、大きな返事、歌声がいっぱいの学校」
③「学年に応じて基礎・基本の能力が育っている学校」
④「校舎内外がよく整備され、安全で活動しやすく信頼される学校」

佐倉市立王子台小学校



【川尻 高志 校長からの一言】

本校は住宅地にありながらも、近くには豊かな自然が残されており、教育環境に恵まれた学校です。明るく人懐っこい児童がのびのびと学習しています。「好学進取」を念頭に置き、佐倉が大好きな子どもたちを佐倉学を通して学び、郷土への愛着を高めていく学校づくりを目指します。また、文部科学省指定の特例校として、平成30年から始まる本格的な外国語(英語)学習に向けての先行研究を行っています。

【今年度の教育目標】

『思いやりの心を持ち、知性豊かな、たくましい児童の育成』

〈めざす児童像〉 ○思いやる子(お互いのよさを認め、ともに助け合う子)
○学び合う子(表現力を豊かにし、進んで学習する子)
○たくましい子(自分の健康に気をつけ、最後までやりぬく子)

〈めざす学校像〉 ・保護者、地域に信頼される学校・あいさつや歌声が響きいじめのない楽しい学校

〈めざす教職員像〉 ・子どもを「認めて ほめて 励ます」教師 チーム王子台の自覚を持った教師

佐倉市立青菅小学校



【塩田 恭子 校長からの一言】

豊かな自然と歴史、新しい住宅地が融合した活力ある地区です。楽しみながらたくさん学び、たくさん遊んでかしこい子になってほしいと願っています。本校は表現豊かな歌声活動が自慢の一つです。明るく落ち着いた人間関係作り、確かな学力の向上をめざし、教職員一同、心をつちにして進んで参ります。家庭・地域の皆様とともに歩み、登下校の際に見守り活動等の協力をいただき、安全安心な学校をつくっていきます。

【今年度の教育目標】

『かしこい子の育成』 ～ やさしい子・勉強する子・元気な子 ～

やさしい子 …… 進んで挨拶ができ、友だちと仲よく遊び、環境を大切にする。

勉強する子 …… よく聞き、考え、読み書き計算を得意にする。

元気な子 …… 進んで運動し、規則正しい生活を送る。

○ あおすげ合い言葉

あ …… 明るい挨拶 お …… 思いやりの心 す …… 進んで学ぶ げ …… 元気に運動

佐倉市立寺崎小学校



【吉田 浩 校長からの一言】

昨年創立30年を迎え、今年は寺崎小の新たな一歩を歩み始めました。笑顔や活気にあふれ、心豊かな児童の育成を目指します。「みんな なかよし」を合い言葉に道徳教育に重点を置き、道徳の教科化に向け日々研修に励んでいます。新入生は77名と大きく増え、390名で新学期がスタートしました。教職員も児童に負けず元気一杯、全員で一致協力し、保護者・地域の皆さんと連携し『子どもたちのために』を第一に教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】

『知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい児童の育成』

<児童目標> 「かしこく やさしく たくましく」(みんな なかよし)

<めざす児童像>

- ・かしこい子……話を最後まで聞き、進んで発表する子
- ・やさしい子……あいさつが先にでき、お互いに助け合う子
- ・たくましい子 ……自分の健康に気をつけ、進んで運動する子

《児童重点目標》

三つのやくそく

- ・ていねいなことばづかい
- ・すすんであいさつ
- ・なかよくせいかつ

佐倉市立山王小学校



【松本 厚子 校長からの一言】

本校は平成元年に根郷小学校より分離独立して創設29年目になります。スクールカラーは「コバルトブルー」です。

平成29年度は新1年生21名、全校158名で始まりました。周辺環境との調和、明るくゆとりある空間をもつ校舎等、恵まれた教育環境のもとで子どもたちはのびのびと学習活動に励んでいます。隣接の敬愛短大や福祉施設との交流、全校縦割り班による異学年交流活動など、地域の特性を活かした教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】

『よく学び 心豊かで たくましい児童の育成～知・徳・体のバランスのとれた児童の育成～』

【めざす児童の姿】

○勉学に励む子

○励まし合い、支え合って伸びる子

○健康でがんばる子

○保護者・地域に信頼され、ともに歩む学校

【めざす教師像】

○教育のプロとしての自覚と誇りをもち、実践する教師

佐倉市立染井野小学校



【小山 光子 校長からの一言】

本校は、開校19年目を迎えました。
平成29年度も保護者の皆様や地域の方々との連携を密にして教育活動を進めていきたいと思ひます。

さらに、これまで子どもたちが身につけてきた「探究」「協同」の学び方を土台とし、それを生かした子ども主体の学習を各教科にも広げていきます。「全力」を合ひ言葉に、心身ともにたくましい心豊かな子どもたちにするために、教職員一丸となって指導していきます。

【今年度の教育目標】『夢をもち、進んで学ぶ、心豊かでたくましい児童の育成』

「生きる力」の基盤となる「豊かな心」の育成と、自らの目あてに向かつて主体的に取り組み、困難なことにもあきらめずに挑戦し続ける「たくましい児童」の育成に努めます。

引き続き「学力向上」にチャレンジします。指導の形態や方法・授業内容の工夫改善を図ります。複数の教師がかかわる指導を積極的に取り入れ、個に応じたきめ細かな指導を全校体制で進めていきます。

明るいあいさつができ、相手の立場を思いやり、友だちと仲良くできる児童の育成をめざします。

佐倉市立白銀小学校



【工藤 富士雄 校長からの一言】

白銀小学校は、家庭や地域とともに歩むコミュニティスクールとして、14年目を迎えました。平成23年度より防災体制づくりに積極的に取り組んでいます。児童による「防災リーダー」を任命し佐倉東中学校区で連携しています。本年度は佐倉学を生かした理科学習を進め、子どもたちの学力向上に努めます。

【今年度の教育目標】

○自ら学び、人間性豊かで、たくましく生きる子どもの育成

～かしこい子の育成～ ○勉強する子 ○やさしい子 ○元気な子

本校の教育がとらえる学びとは、「教えられるが故に学ぶのではなく、学ばんと欲するが故に教を乞う」様子が伺えることです。一人一人の児童の学びたいという意欲(好学)を引き出し、基礎・基本や思考・判断し、表現する力(進取)等の向上を図ります。また、地域の様々な人々とのふれあいや交流教育等を通して、互いに認め合い、協力し合い、自ら進んでより良い学校生活を築こうとする姿勢を育てます。

IV-3 中学校（11校）

佐倉市立佐倉中学校



【柏熊 文雄 校長からの一言】

本校は開校71年目を迎えました。昨年の70周年記念式典では関係者の多大なるご協力を戴き、学校環境が一段と整備されました。正門前が佐倉城の大手門跡地であることから、8年目に入る現在の校舎はそれを模したデザインです。校訓「好学進取」のもと、生徒たちは明るく爽やかに学校生活を送っています。保護者、地域の方々、地域関係諸機関との連携を活かし、信頼される学校づくりに努めて参ります。

【今年度の教育目標】

校訓「好学進取」のもと、心豊かで、進んで学び、行動するたくましい生徒の育成をめざします。

〈めざす生徒像〉

- 自他ともに命を大切にし、他を思いやる心を持つ生徒
- 進んで学び、進路に向けて努力する生徒
- 礼儀正しく、きまりやマナーを守る生徒
- 奉仕の心をもって進んで働く生徒
- 健康・体力づくりに励む生徒

佐倉市立志津中学校



【天本 憲亮 校長からの一言】

本校は、全校生徒数750名の大規模校です。今年度は創立70周年記念式典を行います。生徒は歴史ある伝統のもとに、明るく伸び伸びと学校生活を過ごしています。また、地域との交流も深く、地域から支えられている学校です。志津中五本柱と学習五原則を生活の基盤とし、自己有用感を高め自己指導能力を育む教育活動に取り組み、「生徒による、生徒のための、生徒の学校」（生徒が主役）を目指します。

【今年度の教育目標】「進んで学び、人間性豊かでたくましく生き抜く生徒の育成」

〈進んで学ぶ生徒〉

○授業に真剣に取り組み、自ら学ぶ生徒（勤勉）

○自分の進路に向けて努力し続ける生徒（進路）

〈人間性豊かな生徒〉

○礼儀正しく、自他共に大切に作る生徒（礼儀・思いやり・共生）

○よく働き、人に尽くす生徒（勤労・奉仕）

〈たくましい生徒〉

○きまりやマナーを守り、節度ある行動ができる生徒（強い意志）

○健康・体力作りに励む生徒（健康・体力）

佐倉市立上志津中学校



【三村 宏治 校長からの一言】

本校は地域との交流が盛んで、地域や保護者の皆様に支えられている教育活動を行っております。

学区の小学校と連携した「四つの約束」①さわやかな挨拶をする ②時間を守る ③人の話をよく聴く ④進んで隅々まで清掃をする を合言葉に、生徒自身でより良い学校生活を目指すとともに、将来自己実現を図れるたくましい生徒の育成を目指してまいります。

【今年度の教育目標】

『心優しく、たくましく生きる生徒の育成 -四つの約束を基盤に- 』

〈めざす生徒像〉

- ① 思いやりの心を持ち互いに助け合える生徒
- ② 基本的な生活習慣が身についた生徒
- ③ 進んで学習に取り組む生徒
- ④ 意欲的に体力の向上に取り組む生徒
- ⑤ 進んで清掃に取り組む生徒

佐倉市立南部中学校



【泉 重二 校長からの一言】

南部中学校は、開校58年目を迎え、歴史と伝統を受け継いだ249名(新入生73名)の生徒の元気のよい挨拶、さわやかな歌声で新年度スタートしました。31名の教職員が「すべては生徒のために」を経営の柱に、学区小学校との連携、保護者や地域の皆様のご協力のもと、信頼される学校をめざし取り組みます。

【今年度の教育目標】

『進んで学び、心豊かに、たくましく生きる生徒の育成』

＜めざす生徒像＞

- 自ら学び、よく考え、授業を大切にする生徒
- 明るく思いやりがあり、自他共に大切にする生徒
- 自ら健康・体力の向上に努め、生活を大切にする生徒
- 強い意志を持ち、自らの進路を切り拓く生徒

佐倉市立臼井中学校



【中藁 信夫 校長からの一言】

生徒数374名、教職員37名の中学校です。積極的に学習に取り組む学校、明るい挨拶と笑顔と拍手のあふれる学校、いじめのない学校、うつくしい学校、思いやりに満ちた学校を目指します。

【今年度の教育目標】

「明るく直くたくましく」

日々進化するために、生徒も教職員も意識を高く持って生活経験を積み重ねたいと思います。すべての活動に真摯に全力で取り組む。すべての活動に取り組む指針とする。すべての活動の評価とする。すべての活動がそこに集約・収斂される。校歌の一節でもあります。

佐倉市立井野中学校



【渡辺 渡 校長からの一言】

学校は、生徒の力を伸ばすとともに人としての在り方を学び、身につける場であると考えます。本校では、家庭・地域の力に支えられながら授業や行事・諸活動を通して「自立、協働、貢献」の3つの力の育成を重点的に目指します。これらの力は、人が社会生活を営む上でも大切なものです。生徒の夢や志を育み、その実現に向けて粘り強く取り組み、達成した時の喜びや達成感を味わい、周囲の人へ感謝できる中学校生活を展開できるよう、全教職員で支援します。

【今年度の教育目標】

『自立・協働・貢献ができる生徒を育成する』

- | | |
|------------|---------------------------|
| (1) めざす生徒像 | 自他敬愛の心を持ち、共に努力向上しようとする生徒。 |
| (2) めざす教師像 | 生徒の夢・志を育み、自己実現を支えられる教師。 |
| (3) めざす学校像 | 地域の中に生きる学校。 |

佐倉市立佐倉東中学校



【林田 祐一 校長からの一言】

佐倉東中学校は、今年度、創立31年目を迎えました。花と緑が学舎を包み、四季の彩りに「爽やかな挨拶」がこだまする落ち着いた環境にあります。

めざす生徒像を『あそぶべし』としました。勉強も大切。遊びも大切。お互いの人間関係を大切に、仲の良い、いじめのない学校にしていきたいと思ひます。学校と保護者、地域が協力し、常に開かれた学校を目指してまいります。

【今年度の教育目標】

『心身ともに健全で、未来を築く たくましい力をもつ生徒の育成』

《目指す生徒像》

- | | | | |
|---|---------------|---|----------------|
| あ | あいさつができる生徒 | べ | 勉強を頑張る生徒 |
| そ | そうじができる生徒 | し | 進路を切り拓く努力をする生徒 |
| ぶ | 部活動や習い事を頑張る生徒 | | |

佐倉市立臼井西中学校



【加藤 康男 校長からの一言】

室町の歴史が残り、新興住宅地と融合する地で30年目を迎えた本校の周りには、実に豊かな自然があります。「挨拶」「清掃」「態度」を生徒会三本柱に、明るく爽やかな生徒326名が意欲的に活動しています。自分で考え、自分で決められる生徒の育成を目指し、正に生徒が”生きていける力”を育むべく、熱い思いをもった教職員集団が一丸となって、教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】 『生きる力』を育む -自分で考え、自分で決められる生徒の育成-

＜目指す生徒像＞

- 自ら学ぶ生徒
- 周りと自分を大事にする生徒
- 健康管理に努め、体力向上を目指す生徒

＜目指す学校像＞

- 安心・安全な学校
- 学びが保障されている学校
- 家庭・地域とともに歩む、信頼される学校

佐倉市立西志津中学校



【石田 賢治 校長からの一言】

「山吹の花 静かにゆれて」これは校歌の一節で、その図柄は校章に、そして、色はスクールカラーとなって30年の季節を迎えています。さらには校舎南面のグランドと隔てる桜並木、校地を縁取る銀杏と佐倉の西の一角に新たな街造りと共に歩み、地域人の思いや夢を語り継いで日々歴史を積み重ねている学校ともいえます。「合唱・読書・俳句」は本校の3本の矢。生徒主体の活動運営は見事です。

【今年度の教育目標】

『自ら鍛え、生きる力を積み重ねる生徒の育成』

○目指す生徒像3本の柱

- | | | |
|-------|----------------------|-------------------|
| ①文武両道 | ○進んで学習に励み、学力向上を目指す生徒 | ○自ら鍛え、気力・体力を高める生徒 |
| ②温故知新 | ○良さを引き継ぎ、気づいて行動できる生徒 | ○思いやりと工夫改善の心を持つ生徒 |
| ③地域貢献 | ○自治的活動に積極的に取り組む生徒 | ○地域人として成果を還元できる生徒 |

佐倉市立臼井南中学校



【前林 典子 校長からの一言】

開校23年目を迎えました。美しい街並みの中、市民の憩いの場である七井戸公園が隣接しており、敷地内には吉見台遺跡の大型竪穴建物跡を有する自然に恵まれた学校です。平成22年度より学校運営委員会を核とし、地域、家庭との協働による学校運営を図っています。「汗をかく」を学校教育目標に、31名の職員が一丸となり、363名の生徒の自己肯定感、自主・自立の力を高めることに全力で臨んで参ります。

【今年度の教育目標】◆学校教育目標 汗をかく

◆めざす生徒像

- ・学ぶことの喜び、意味を大切にし、進んで学ぶことができる生徒
- ・豊かな心を持ち、自他を大切にできる生徒
- ・将来への夢、希望を大切にし、今を生きる生徒
- ・心身ともに健康で、命を大切にする生徒
- ・集団の一員として、自己の役割を果たすことができる生徒

◆めざす教師像

- ・率先垂範
- ・人権尊重
- ・謙虚
- ・向上心
- ・感謝

佐倉市立根郷中学校



【塚本 学 校長からの一言】

本校は創立21年目を迎えます。佐倉南図書館が隣接しており、近隣には佐倉南高校や敬愛短期大学があり文教地区の香り漂う地域です。自然環境や学習環境に恵まれている根郷中学校で生徒が夢や希望を育めるよう、全職員が一丸となって教育目標の実現に向けて取り組んでまいります。また、生徒が安心して学校生活が送れるよう、いじめの早期発見、早期解決に努めます。

【今年度の教育目標】

- 夢や希望を持って、これからの時代を生き抜く生徒の育成

【目指す学校像】

- 学校像 ・生徒、保護者、地域住民から信頼される学校
- ・生徒が安心して通える学校
- 生徒像 ・夢を抱き、全力で挑戦する生徒
- ・自他を尊重し、正しい判断に基づき行動できる生徒

〔 資料編 〕

I 教育行財政

1 歴代教育長及び教育委員

年度	教 育 委 員					
	委 員 長	委 員				教 育 長
昭和29	遠山 実	立田 喜一	渡辺 宗次郎	三須 力雄	大木 三郎	円城寺 悦作
30	大木 三郎	三門 新五郎	〃	〃	遠山 実	〃
31	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	三須 力雄	渡辺 宗次郎		仲台 昭之助	遠山 実	大木 三郎
32	〃	〃		〃	〃	〃
33	〃	立崎 浩		〃	〃	〃
		〃				
34	立崎 浩	木村 伊三郎		〃	〃	〃
		岩井 喜三郎			木村 康正	木村 伊三郎
35	〃	〃		〃	〃	〃
36	〃	〃		〃	〃	〃
37	〃	〃		〃	〃	〃
		前原 一雄				
38	〃	小沢 喜一郎		〃	〃	〃
39	〃	〃		〃	〃	〃
		円道寺 勇				川名部 秀雄
40	前原 一雄	菅谷 定一		立崎 浩	〃	〃
41	〃	〃		〃	〃	〃
42	〃	〃		〃	〃	〃
	菅谷 定一	前原 一雄				
43	〃	〃		〃	〃	〃
44	〃	〃		〃	〃	〃
	立崎 浩	菅谷 定一				
45	〃	〃		〃	〃	〃
		森谷 勉				
46	〃	〃		〃	〃	〃
		内田 寅之助				
47	〃	〃		〃	〃	〃
48	〃	〃		〃	〃	〃
	森谷 勉	野口 甫			郡司 幹雄	
49	〃	〃		〃	〃	〃
50	〃	〃		〃	〃	〃
		渡辺 熨斗男				
51	〃	〃		〃	〃	〃
		井原 善一郎				
52	〃	〃		〃	〃	〃
		檜貝 信一郎				
53	〃	〃		〃	〃	〃
	井原 善一郎	森谷 勉				
54	〃	〃		〃	〃	〃
55	〃	〃		〃	〃	〃
		横橋 彌壽夫				
56	〃	〃		〃	〃	〃
57	〃	〃		〃	〃	〃
		蜂谷 秀雄				
58	〃	〃		〃	〃	〃
	檜貝 信一郎	井原 善一郎			佐藤 強	
59	〃	〃		〃	〃	〃
60	〃	〃		〃	〃	〃
	蜂谷 秀雄	伊藤 俊一				
61	〃	〃		〃	〃	〃
62	〃	〃		〃	〃	〃
63	〃	〃		〃	新田 輝子	〃
		遠山 正道				渡貫 博孝
平成 元	〃	〃		〃	〃	〃
2	〃	〃		〃	〃	〃
3	〃	〃		〃	〃	〃
4	〃	〃		〃	〃	〃
	伊藤 俊一	蜂谷 秀雄				
5	〃	〃		関山 邦宏	〃	〃
6	〃	〃		〃	〃	〃

年度	教 育 委 員 員				
	委 員 長	委 員			教 育 長
7	伊藤 俊一	遠山 正道	関山 邦宏	新田 輝子	藤江 徳也
8	〃	〃	〃	〃	〃
9	〃	〃	〃	〃	〃
	新田 輝子			奥山 透	
10	〃	〃	〃	〃	〃
	奥山 透			新田 輝子	
11	〃	〃	〃	〃	〃
12	〃	〃	〃	田中 藤子	高宮 良一
		徳嵩 陽子		〃	〃
13	〃	関山 邦宏	徳嵩 陽子	木村 正久	〃
	関山 邦宏	田中 藤子			
14	〃	〃	〃	〃	〃
15	〃	〃	〃	〃	〃
16	〃	齋藤 恵子	〃	〃	〃
			響庭 紀子		
17	〃	〃	〃	〃	〃
18	〃	〃	〃	〃	〃
	木村 正久			関山 邦宏	
19	〃	〃	〃	〃	〃
20	〃	〃	〃	〃	葛西 広子
			(欠員)		
21	〃	〃	田邊 俊彦	〃	〃
	関山 邦宏			菅谷 義範	
22	〃	〃	〃	〃	〃
23	〃	〃	〃	〃	〃
24	〃	〃	〃	〃	〃
25	〃	〃	〃	〃	茅野 達也
26	〃	〃	〃	〃	〃
27	〃	〃	〃	〃	〃
28	〃	(欠員)	〃	〃	〃
年度	教 育 長	教 育 委 員 員			
		委 員			
28	茅野 達也	関山 邦宏	田邊 俊彦	菅谷 義範	熊倉 夏子
29	〃	〃	〃	〃	〃

2 平成28年度教育委員会会議

○平成28年度の会議の開催回数

定例会	臨時会	協議会	計
12	2	—	14

○会議に付議した議案

件 名	議案件数
教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
予算その他の議会の議決や市長との協議を要する事件について市長に申し出ること	5
付属機関の委員等の任命又は委嘱に関すること	15
教育委員会規則及び訓令等の制定又は改廃に関すること	4
教育委員会職員の人事異動について	1
佐倉市教育功労者の決定について	1
教科用図書に関すること	1
教育委員会の事務執行にかかる点検評価報告書について	1

3 平成28年度教育功労者等

(所属は表彰当時)

○佐倉市教育功労者

齋藤 恵子 (前教育委員)	宮島 誠一 (校長)
天本 安一 (学校医)	林 賢治 (校長)
比留間信夫 (佐倉市教育支援委員会 委員)	勝田 敏彦 (校長)
渡辺 菊江 (佐倉市社会教育委員)	鈴木 優一 (教頭)
蓮 淳子 (幼児教育研究家)	作田 博成 (教頭)
古嶋 美文 (校長)	岩立 明 (教頭)
高橋 正雄 (校長)	細川 浩美 (教諭)
浅野 宏美 (校長)	

○佐倉市学校教育振興基金による表彰

1. 佐倉市学校教育幼児、児童及び生徒表彰

竹原 凜 (間野台小学校児童)	井上 美紗 (佐倉中学校生徒)
椎名 萌枝 (染井野小学校児童)	石渡 翔己 (佐倉中学校生徒)
宮川 駿平 (臼井小学校児童)	小出菜々子 (南部中学校生徒)
長洲 百香 (間野台小学校児童)	林 颯一郎 (南部中学校生徒)
長洲 拓実 (間野台小学校児童)	櫻井 未結 (臼井中学校生徒)
木下 将希 (間野台小学校児童)	渡邊誠美音 (臼井中学校生徒)
高瀬 藍斗 (寺崎小学校児童)	加藤 颯太 (臼井中学校生徒)
青菅小学校合唱部	八木原 諒 (佐倉東中学校生徒)
佐倉中学校生徒会	西志津中学校吹奏楽部
佐倉東中学校生徒会	志津中学校生徒会

2. 佐倉市教育改善研究表彰

櫻井 昭 (佐倉小学校 主幹教諭)

3. 佐倉市学校教育支援表彰

白銀小学校 学校開放委員会

吉原 廣 (臼井西中学校への支援)

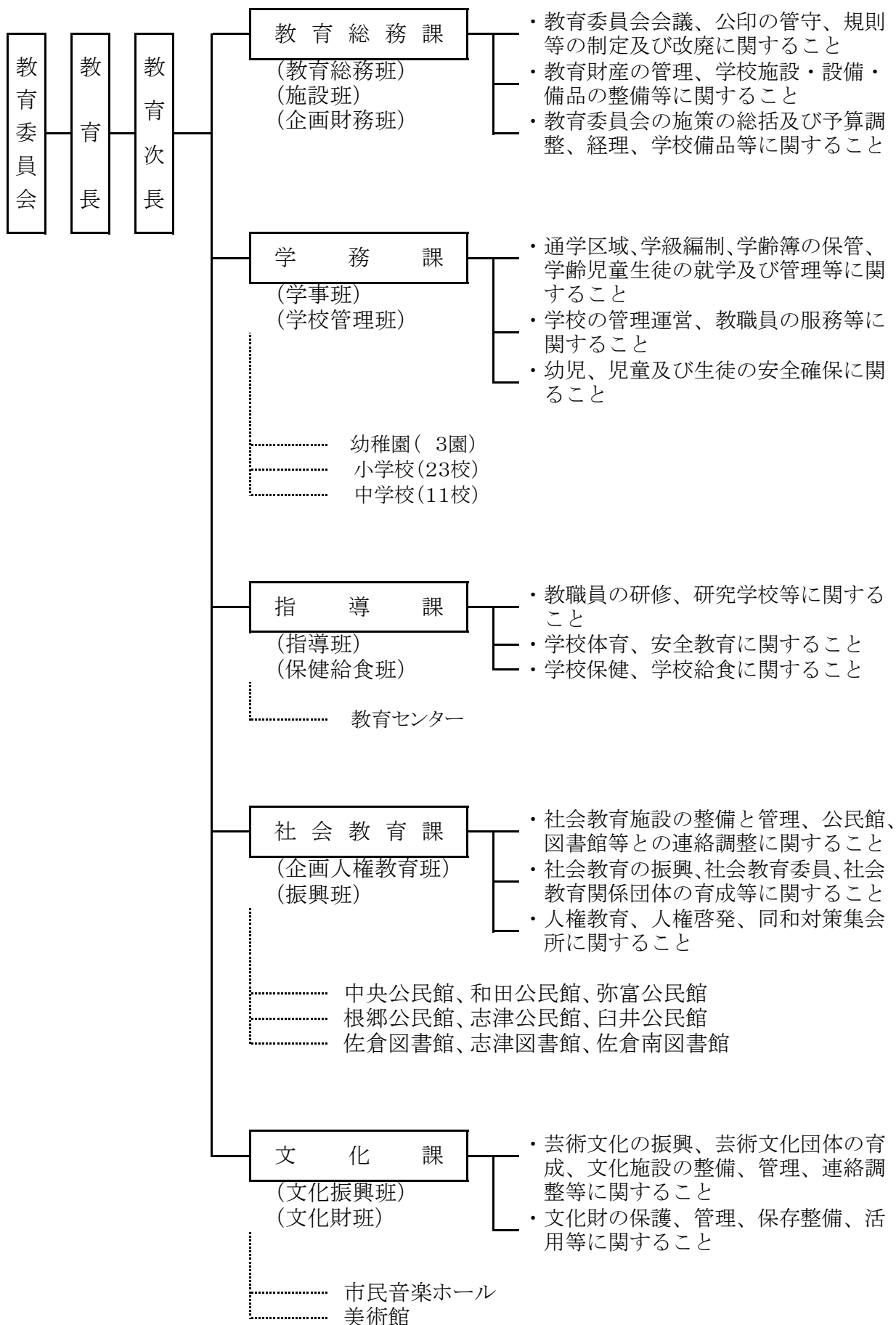
○印旛郡市地方教育委員会連絡協議会教育功労者

古嶋 美文 (佐倉小学校長)	石井 喜広 (根郷小学校長)
林 賢治 (寺崎小学校長)	柴内 靖 (佐倉中学校長)
勝田 敏彦 (井野中学校長)	細川 浩美 (佐倉中学校教諭)

○印旛郡市よい歯の学校

井野中学校

4 教育委員会機構



5 職 員 数

(平成29年4月1日現在)

○事務局

	教育 次長	参 事	課 長	主 幹	副 主 幹	社会 教育 主事	指 導 主 事	主 査	主 査 補	主任 栄 養 士	主任 技 事 師	主技 ・主 事・補 書 ・司 書 ・栄 養 士	計
教 育 次 長	1												1
教育総務課			1		1			4	3	2		1	12
学 務 課			1	1	1		4	1		1		1	10
指 導 課			1	1			8	2	1				13
社会教育課			1		1	1		1	1	兼 (1)		3	8
文 化 課			1		3			2		1		3	10
派遣等職員												1	1
計	1	0	5	2	6	1	12	10	5	4		9	55

○教育機関・施設

(平成29年4月1日現在)

	館所園 長	副副教 主館 幹長頭	主 査	指 導 主 事	主 査 補	主任 栄 養 士 主任 保 健 師	主任 主 事	栄 主 養 士 事	教 養 護 教 諭	司 書	学 芸 員	用 務 員	計
中央公民館	1				2	2	1						6
和田公民館	併 (1)		併 (1)		1	1							2
弥富公民館	1				併 (1)	1							2
根郷公民館	1	1				1					1		4
志津公民館	1		1		2		1					1	6
臼井公民館	兼 (1)				兼 (3)	1	兼 (1)	兼 (2)		兼 (1)			1
佐倉図書館	1		3		3	1				1			9
志津図書館	1				4	1				3			9
佐倉南図書館	1		1		2	2				1			7
市民音楽ホール	1				兼 (2)	2	1	2					6
美術館	1		3		1		1				1		7
教育センター	1			4			1						6
幼稚園(3園)	併 (2)	1	3	1	兼 (1)		兼 (1)		9			1	15
小学校(23校)			5		5			6					16
中学校(11校)		1	1			2							4
計	11	5	15	4	24	11	12	9	5	2	2	2	100

*「兼」は兼務、「併」は併任を表す。(なお、上記職員数には再任用職員、任期付職員は含まない)

6 教育費予算・決算

(1) 平成29年度一般会計予算の概要

平成29年度教育費予算の歳出総額は、56億1,914万8千円で、一般会計予算に占める構成比は12.0%、前年度当初予算に比べ4,134万2千円の増となっている。

(歳入)

(単位:千円)

款名	29年度予算額	構成比	28年度予算額	構成比	前年との差額	増減率
1 市税	24,002,684	51.2%	23,771,655	51.3%	231,029	1.0%
2 地方譲与税	443,000	0.9%	445,000	1.0%	△2,000	△0.4%
3 利子割交付金	30,000	0.1%	28,000	0.1%	2,000	7.1%
4 配当割交付金	181,000	0.4%	186,000	0.4%	△5,000	△2.7%
5 株式等譲渡所得割交付金	170,000	0.4%	175,000	0.4%	△5,000	△2.9%
6 地方消費税交付金	2,550,000	5.4%	2,600,000	5.6%	△50,000	△1.9%
7 ゴルフ場利用税交付金	41,000	0.1%	38,000	0.1%	3,000	7.9%
8 自動車取得税交付金	131,000	0.3%	114,000	0.2%	17,000	14.9%
9 地方特例交付金	130,000	0.3%	129,000	0.3%	1,000	0.8%
10 地方交付税	600,000	1.3%	1,800,000	3.9%	△1,200,000	△66.7%
11 交通安全対策特別交付金	25,000	0.1%	25,000	0.1%	0	0.0%
12 分担金及び負担金	717,868	1.5%	582,998	1.3%	134,870	23.1%
13 使用料及び手数料	594,077	1.3%	541,447	1.2%	52,630	9.7%
14 国庫支出金	7,098,780	15.1%	6,992,634	15.1%	106,146	1.5%
15 県支出金	2,968,326	6.3%	2,952,665	6.4%	15,661	0.5%
16 財産収入	45,831	0.1%	54,058	0.1%	△8,227	△15.2%
17 寄附金	18,536	0.0%	14,755	0.0%	3,781	25.6%
18 繰入金	4,254,310	9.1%	3,094,249	6.7%	1,160,061	37.5%
19 繰越金	10	0.0%	10	0.0%	0	0.0%
20 諸収入	517,278	1.1%	483,229	1.0%	34,049	7.0%
21 市債	2,373,300	5.1%	2,335,300	5.0%	38,000	1.6%
合計	46,892,000	100.0%	46,363,000	100.0%	529,000	1.1%

(歳出)

款名	29年度予算額	構成比	28年度予算額	構成比	前年との差額	増減率
1 議会費	410,203	0.9%	403,135	0.9%	7,068	1.8%
2 総務費	5,358,151	11.4%	5,927,539	12.8%	△569,388	△9.6%
3 民生費	18,793,079	40.1%	18,695,239	40.3%	97,840	0.5%
4 衛生費	4,281,889	9.1%	4,269,739	9.2%	12,150	0.3%
5 農林水産業費	1,050,067	2.2%	460,782	1.0%	589,285	127.9%
6 商工費	476,318	1.0%	502,116	1.1%	△25,798	△5.1%
7 土木費	4,887,280	10.4%	4,629,294	10.0%	257,986	5.6%
8 消防費	2,772,993	5.9%	2,656,336	5.7%	116,657	4.4%
9 教育費	5,619,148	12.0%	5,577,806	12.0%	41,342	0.7%
10 災害復旧費	50	0.0%	50	0.0%	0	0.0%
11 公債費	3,162,822	6.7%	3,160,964	6.8%	1,858	0.1%
12 予備費	80,000	0.2%	80,000	0.2%	0	0.0%
合計	46,892,000	100.0%	46,363,000	100.0%	529,000	1.1%

※表示単位未満四捨五入の関係で、構成比の各項目の積み上げは必ずしも100%にはなっていません。

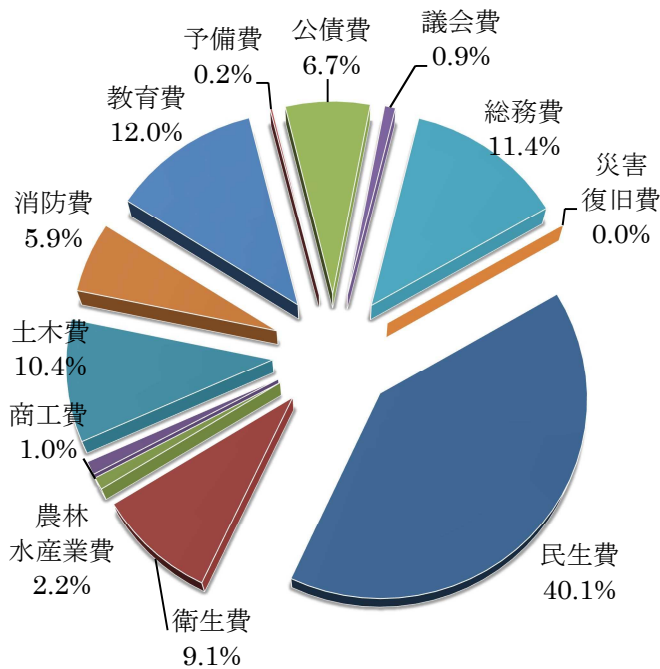
(2) 平成29年度教育費の科目別予算額と財源内訳

(単位：千円)

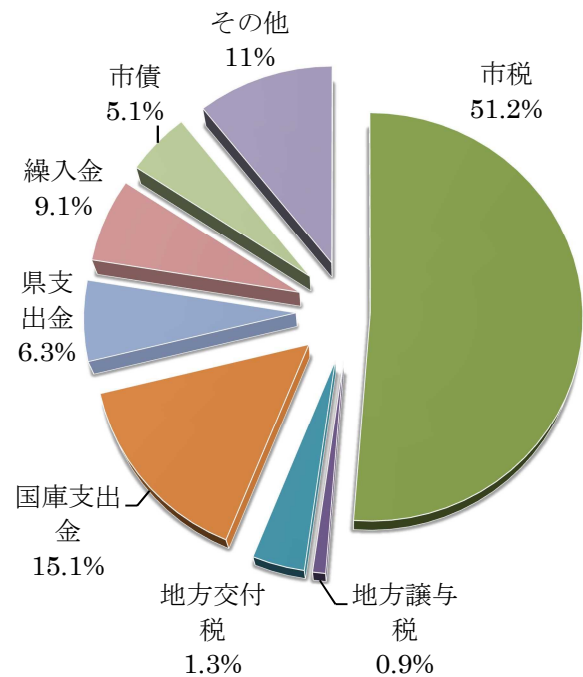
予算科目	予算額	財源内訳				
		特定財源				一般財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
教育費	5,619,148	124,676	46,471	66,000	61,096	5,320,905
1. 教育総務費	795,317	137	0	0	2,084	793,096
1 教育委員会費	3,390					3,390
2 事務局費	517,766				581	517,185
3 教育研究指導費	213,948	137			1,503	212,308
4 教育センター費	60,213					60,213
2. 小学校費	867,385	2,167	0	0	2,921	862,297
1 学校管理費	395,256				2,921	392,335
2 教育振興費	233,437	2,167				231,270
3 学校建設費	238,692					238,692
3. 中学校費	565,726	1,721	0	0	1,493	562,512
1 学校管理費	248,574				1,493	247,081
2 教育振興費	152,490	1,721				150,769
3 学校建設費	164,662					164,662
4. 幼稚園費	596,908	101,951	32,589	0	7,609	454,759
1 幼稚園費	596,908	101,951	32,589		7,609	454,759
5. 社会教育費	1,598,963	18,700	13,882	66,000	42,954	1,457,427
1 社会教育総務費	185,955		129		418	185,408
2 文化財保護費	175,765	10,708	13,753		18,349	132,955
3 公民館費	302,850				5,825	297,025
4 図書館費	379,385				277	379,108
5 音楽ホール費	401,439	7,992		66,000	9,963	317,484
6 美術館費	153,569				8,122	145,447
6. 保健体育費	1,194,849	0	0	0	4,035	1,190,814
1 保健体育総務費	124,834					124,834
2 体育施設費	109,897				4,035	105,862
3 学校給食費	960,118					960,118

平成29年度一般会計予算の内訳

【歳出予算】

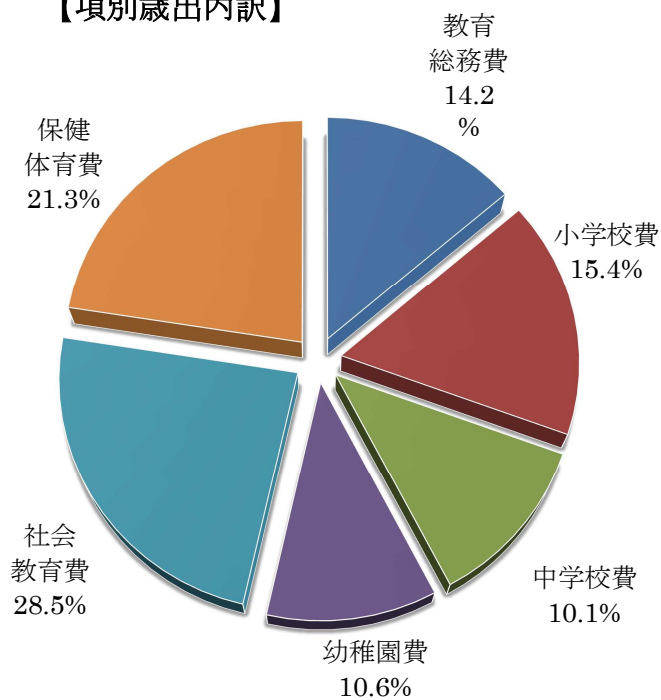


【歳入予算】

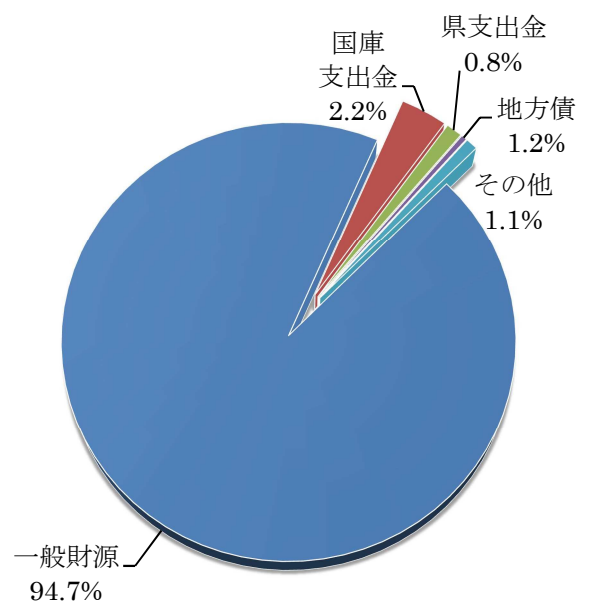


平成29年度教育費の項別予算と財源内訳

【項別歳出内訳】



【財源内訳】

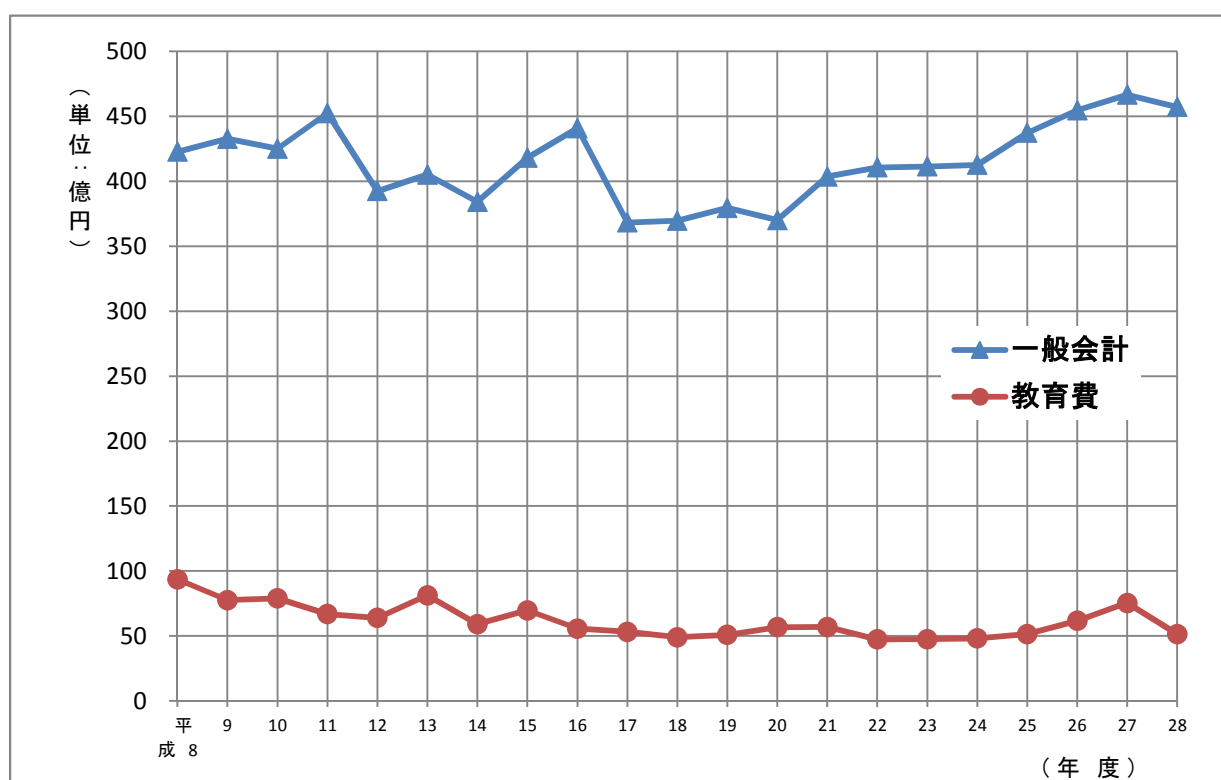


(3) 一般会計及び教育費決算額の推移

(単位:千円)

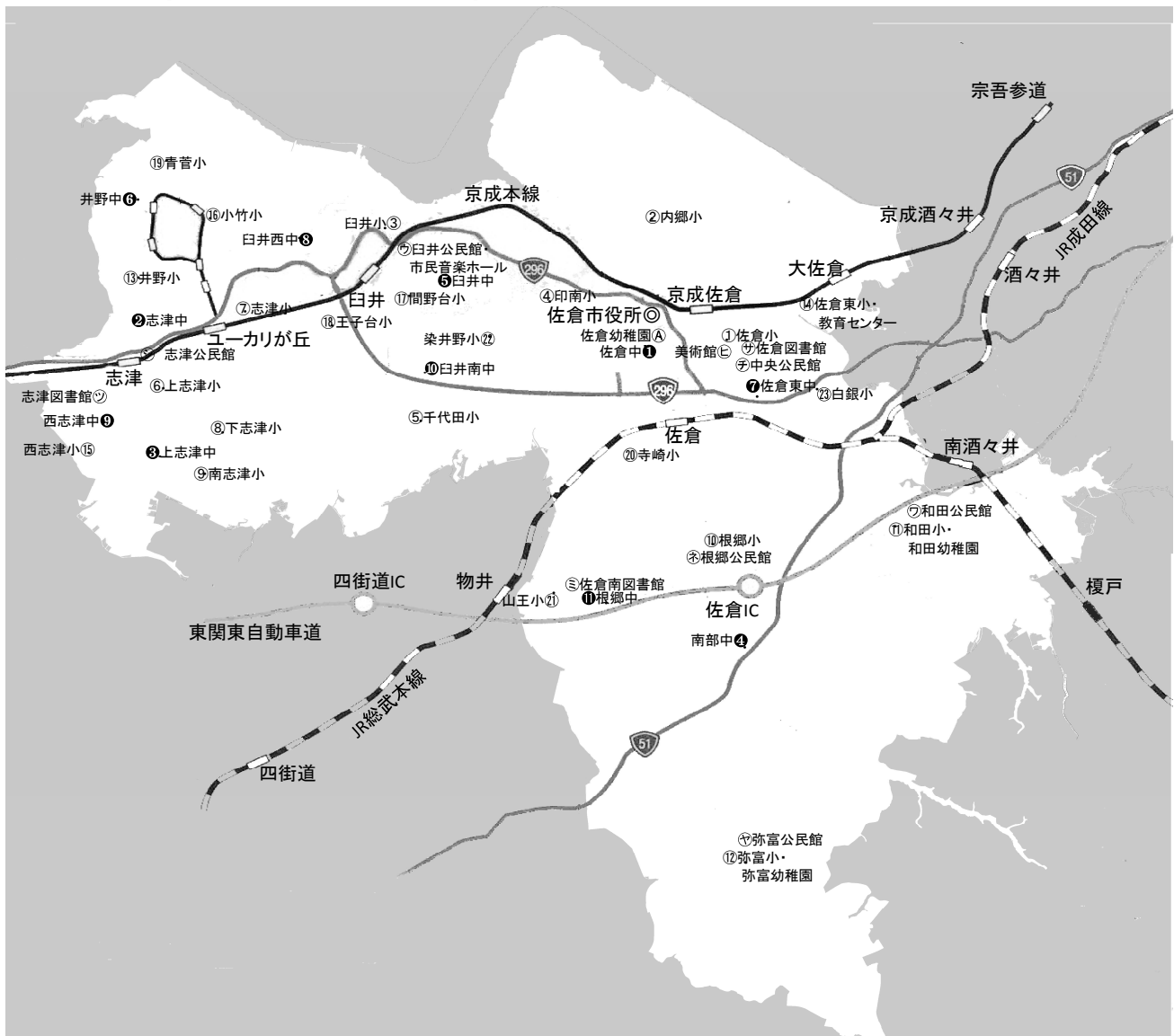
年 度	一 般 会 計	教 育 費	一般会計総額に 占める教育費の割合
平成 8	42,268,432	9,362,602	22.2%
9	43,275,624	7,760,108	17.9%
10	42,512,103	7,901,565	18.6%
11	45,241,030	6,688,049	14.8%
12	39,248,752	6,393,707	16.3%
13	40,518,076	8,128,767	20.1%
14	38,419,160	5,917,859	15.4%
15	41,802,236	6,967,875	16.7%
16	44,084,913	5,570,160	12.6%
17	36,834,040	5,316,520	14.4%
18	36,961,344	4,895,911	13.2%
19	37,946,154	5,085,269	13.4%
20	37,010,386	5,678,875	15.3%
21	40,369,994	5,694,165	14.1%
22	41,071,620	4,742,722	11.5%
23	41,137,161	4,754,653	11.6%
24	41,264,152	4,820,290	11.7%
25	43,733,183	5,152,083	11.8%
26	45,466,120	6,172,645	13.6%
27	46,665,215	7,534,649	16.1%
28	45,720,847	5,147,443	11.3%

※平成28年度は決算見込み額



Ⅱ 教育関係施設

1 佐倉市立の教育施設マップ



幼稚園 (3園)		
(A) 佐倉市立 佐倉幼稚園	(16) 佐倉市立 小竹小学校	佐倉市役所
(11) 佐倉市立 和田幼稚園	(17) 佐倉市立 間野台小学校	◎ 佐倉市役所
(12) 佐倉市立 弥富幼稚園	(18) 佐倉市立 王子台小学校	佐倉市教育センター
小学校 (23校)		
(1) 佐倉市立 佐倉小学校	(19) 佐倉市立 青菅小学校	(14) 教育センター
(2) 佐倉市立 内郷小学校	(20) 佐倉市立 寺崎小学校	公民館 (6館)
(3) 佐倉市立 臼井小学校	(21) 佐倉市立 山王小学校	(7) 中央公民館
(4) 佐倉市立 印南小学校	(22) 佐倉市立 染井野小学校	(7) 和田公民館
(5) 佐倉市立 千代田小学校	(23) 佐倉市立 白銀小学校	(ヤ) 弥富公民館
(6) 佐倉市立 上志津小学校	中学校 (11校)	
(7) 佐倉市立 志津小学校	(1) 佐倉市立 佐倉中学校	(ホ) 根郷公民館
(8) 佐倉市立 下志津小学校	(2) 佐倉市立 志津中学校	(シ) 志津公民館
(9) 佐倉市立 南志津小学校	(3) 佐倉市立 上志津中学校	(ウ) 臼井公民館
(10) 佐倉市立 根郷小学校	(4) 佐倉市立 南部中学校	図書館 (3館)
(11) 佐倉市立 和田小学校	(5) 佐倉市立 臼井中学校	(サ) 佐倉図書館
(12) 佐倉市立 弥富小学校	(6) 佐倉市立 井野中学校	(ツ) 志津図書館
(13) 佐倉市立 井野小学校	(7) 佐倉市立 佐倉東中学校	(三) 佐倉南図書館
(14) 佐倉市立 佐倉東小学校	(8) 佐倉市立 臼井西中学校	市民音楽ホール
(15) 佐倉市立 西志津小学校	(9) 佐倉市立 西志津中学校	(ウ) 市民音楽ホール
	(10) 佐倉市立 臼井南中学校	美術館
	(11) 佐倉市立 根郷中学校	(E) 美術館

2 学校一覧

(1) 市内幼稚園・幼保連携型認定こども園

《市立幼稚園》

平成29年5月1日現在

番号	園名	所在地	電話番号	創立年度	園長名	園児数		教職員数※
						4歳児	5歳児	
1	佐倉幼稚園	鐺木町934番地	486-1533	大正2年	古嶋 美文	30	36	9
2	和田幼稚園	直弥59番地6	498-1509	昭和48年	平山 博久	4	4	6 (3)
3	弥富幼稚園	岩富町145番地	498-0603	昭和49年	金木 勝己	2	7	6 (3)
計						36	47	21 (6)

※休業代替等臨時教職員は除く。()内数字は小学校との兼務職員数で内数。

《私立幼稚園》

平成29年5月1日現在

園名	所在地	電話番号	創立年度	設置者	園長名	園児数			教職員数
						3歳児	4歳児	5歳児	
志津幼稚園	井野1362番地	487-6717	昭和39年	学校法人青木学園	青木 千代子	76	91	109	21
佐倉城南幼稚園	鐺木町1丁目5番地	484-0551	昭和40年	学校法人丸和学園	井出 渉	46	59	50	15
さくら幼稚園	西志津2丁目23番19号	487-1747	昭和43年	学校法人晃栄学園	北澤 英津子	28	28	39	13
慈光幼稚園	本町54番地	484-2444	昭和43年	学校法人藤学園	伊藤 昌子	78	87	71	25
臼井幼稚園	臼井田2435番地	487-5462	昭和48年	学校法人臼井学園	志田 茂夫	81	78	108	27
小竹幼稚園	小竹795番地1	487-1784	昭和48年	学校法人定明学園	立田 房子	63	84	78	22
志津わかば幼稚園	上志津874番地	487-1787	昭和48年	学校法人角田学園	矢崎 聖二	124	121	126	38
千成幼稚園	千成3丁目11番15号	485-3755	昭和49年	学校法人千成学園	南 光代	79	98	85	26
臼井たんぽぽ幼稚園	王子台1丁目10番地7	461-5105	昭和56年	学校法人大野木学園	佐藤 わか	113	122	121	32
計						688	768	787	219

《幼保連携型認定こども園》

平成29年5月1日現在

園名	所在地	電話番号	創立年度※	設置者	園長名	園児数			教職員数
						3歳児	4歳児	5歳児	
佐倉くるみ幼稚園	石川551番地1	485-8425	平成29年(昭和53年)	学校法人平岡学園	平岡 立行	20	14	12	12
計						20	14	12	12

※()内は幼稚園創立年度。

(2)市立小・中学校

《小学校》

平成29年5月1日現在

番号	学 校 名	所 在 地	電話番号	創立	校長名	児童数 ()内特別支援 学級児童数 (外数)	学 級 ()内特別 支援学級 (外数)	教職員数		
								県 費	市 費	計
1	佐倉小学校	新町78番地4	484-1028	明治5年	佐久間 保男	641 (14)	21 (3)	39	0	39
2	内郷小学校	岩名870番地	486-1501	明治41年	田辺 直美	152 (1)	6 (1)	13	0	13
3	臼井小学校	臼井田2395番地	487-3009	明治6年	佐藤 尚久	340 (10)	12 (2)	21	0	21
4	印南小学校	印南223番地1	486-1531	明治6年	松橋 明子	223 (1)	9 (1)	16	1	17
5	千代田小学校	吉見553番地	487-3140	明治6年	加藤 温	302 (10)	12 (2)	20	1	21
6	上志津小学校	上志津1752番地	489-3829	昭和36年	天田 美佐枝	544 (14)	17 (3)	28	1	29
7	志津小学校	上座1156番地2	487-0252	明治6年	松浦 みち子	455 (14)	16 (3)	26	1	27
8	下志津小学校	中志津4丁目26番10号	487-8550	昭和42年	石川 昭彦	244 (8)	11 (2)	18	1	19
9	南志津小学校	下志津原164番地2	489-3884	昭和49年	小川 英昭	370 (8)	12 (2)	23	1	24
10	根郷小学校	城454番地	484-1031	明治5年	諸根 彦之	511 (12)	18 (3)	28	1	29
11	和田小学校	直弥59番地1	498-1509	明治41年	平山 博久	60 (1)	6 (1)	13	1	14
12	弥富小学校	岩富町145番地	498-0603	明治41年	金木 勝己	49 (1)	6 (1)	11	2	13
13	井野小学校	西ユ-カが丘3丁目1番地6	487-1541	昭和46年	荒金 誠司	743 (20)	24 (3)	37	1	38
14	佐倉東小学校	将門町7番地	484-0626	昭和50年	市村 尚義	269 (4)	12 (2)	20	1	21
15	西志津小学校	西志津7丁目2番1号	489-5835	昭和52年	沼田 正信	900 (10)	27 (2)	41	2	43
16	小竹小学校	ユ-カが丘5丁目5番1号	461-3121	昭和55年	戸村 桂二	265 (4)	12 (2)	22	0	22
17	間野台小学校	王子台2丁目18番地	461-5501	昭和56年	宮腰 英二	505 (14)	17 (3)	27	1	28
18	王子台小学校	王子台5丁目19番地	487-1376	昭和59年	川尻 高志	327 (7)	12 (2)	20	1	21
19	青菅小学校	宮ノ台1丁目17番1号	488-0121	昭和61年	塩田 恭子	439 (2)	15 (1)	24	0	24
20	寺崎小学校	大崎台4丁目4番地1	486-3601	昭和62年	吉田 浩	378 (12)	13 (2)	23	0	23
21	山王小学校	山王1丁目44番地	486-7011	平成元年	松本 厚子	154 (4)	6 (2)	13	1	14
22	染井野小学校	染井野1丁目19番地	463-6511	平成11年	小山 光子	237 (3)	10 (2)	18	1	19
23	白銀小学校	白銀1丁目4番地	483-4611	平成16年	工藤 富士雄	191 (7)	7 (2)	16	1	17
計						8,299 (181)	301 (47)	517	19	536

《中学校》

平成29年5月1日現在

番号	学 校 名	所 在 地	電話番号	創立	校長名	生徒数 ()内特別支援 学級生徒数 (外数)	学 級 ()内特別 支援学級 (外数)	教職員数		
								県 費	市 費	計
1	佐倉中学校	城内町117番地10	484-1026	昭和22年	柏熊 文雄	478 (14)	14 (3)	35	0	35
2	志津中学校	井野1376番地	487-6611	昭和22年	天本 憲亮	735 (15)	22 (3)	47	1	48
3	上志津中学校	上志津866番地	487-1786	昭和48年	三村 宏治	278 (5)	9 (2)	25	1	26
4	南部中学校	神門432番地1	498-0023	昭和35年	泉 重二	243 (6)	9 (2)	23	1	24
5	臼井中学校	臼井1530番地	489-5635	昭和51年	中基 信夫	369 (4)	12 (2)	28	0	28
6	井野中学校	宮ノ台3丁目9番1号	461-5221	昭和57年	渡辺 渡	399 (2)	12 (1)	28	1	29
7	佐倉東中学校	高岡423番地1	486-3031	昭和62年	林田 祐一	275 (11)	9 (2)	25	0	25
8	臼井西中学校	臼井台1588番地	462-1781	昭和63年	加藤 康男	315 (11)	11 (3)	27	0	27
9	西志津中学校	西志津4丁目18番1号	462-1161	昭和63年	石田 賢治	480 (7)	14 (2)	33	0	33
10	臼井南中学校	染井野4丁目1番地	488-1020	平成7年	前林 典子	355 (8)	11 (2)	26	0	26
11	根郷中学校	山王2丁目37番地1	483-1000	平成9年	塚本 学	269 (5)	9 (2)	22	1	23
計						4,196 (88)	132 (24)	319	5	324

(3) 県立高等学校

平成29年5月1日現在

学 校 名	所 在 地	電話番号	創立年度	校長名	生徒数	教職員数
佐倉高等学校	鍋山町18番地	484-1021	明治32年	高橋 輝雄	969	81
佐倉東高等学校	城内町278番地	484-1024	明治43年	釜菴 德行	708	73
〃 定時制	〃	〃	昭和25年	〃	116	16
佐倉西高等学校	下志津263番地	489-5881	昭和52年	石井 久雄	711	55
佐倉南高等学校	太田1956番地	486-1711	昭和58年	中原 章子	585	51
計					3,089	276

(4) 短期大学

平成29年5月1日現在

学 校 名	所 在 地	電話番号	創立年度	学長名	学生数	教職員数
千葉敬愛短期大学	山王1丁目9番	486-7111	昭和25年	明石 要一	355	83

3 学校施設一覧

(1) 教室等施設

《市立幼稚園》

平成29年5月1日現在

番号	園 名	実学級数	保 有 教 室										プ ー ル		
			保育室	そ の 他 諸 室									長さ (m)	幅 (m)	コース 数
				遊 戯 室	多 目 的 室										
1	佐倉幼稚園	4	5	1	1										
2	和田幼稚園	2	2												
3	弥富幼稚園	2	2												
計		8	9	1	1										

《小学校》

番 号	学 校 名	実学級数	保 有 教 室											プ ー ル		
			普 通 教 室	特 別 教 室										長さ (m)	幅 (m)	コ ー ス 数
				理 科	生 活	音 楽	図 工	家 庭	視 聴	パ ソ コ ン	図 書	特 別 活 動	教 育 相 談			
1	佐倉小学校	21 特3	24	1	1	1	1	1		1	2	6	1	－	－	－
2	内郷小学校	6 特1	7	1	1	1	1	1		1	1	1		25	15	7
3	臼井小学校	12 特2	14	1		1	1	1		1	1	1		25	17	8
4	印南小学校	9 特1	10	1		2	1	1		1	1	1		25	17	8
5	千代田小学校	12 特2	14	1		1	1	1		1	1			25	17	8
6	上志津小学校	17 特3	20	1		1	1	1		1	1		1	25	17	8
7	志津小学校	16 特3	19	1		1	1	1		1	1	2	1	25	17	7
8	下志津小学校	11 特2	13	1		1	1	1		1	1	1		25	16	7
9	南志津小学校	12 特2	14	1		1	1	1		1	2	1	1	25	17	8
10	根郷小学校	18 特3	21	1		1	1	1		1	1	2	1	25	17	8
11	和田小学校	6 特1	7	1		1		1			1			25	16	7
12	弥富小学校	6 特1	7	1		1				1	1			25	17	7
13	井野小学校	24 特3	27	1	1	1	1	1		1	1	2	1	25	17	8
14	佐倉東小学校	12 特2	14	1	1	1	1	1		1	1	4	1	25	17	8
15	西志津小学校	27 特2	29	1	1	2	1	1		1	1	5	2	－	－	－
16	小竹小学校	12 特2	14	1	1	1	1	1		1	1	1	2	25	17	7
17	間野台小学校	17 特3	20	1		1	1	1		1	1			25	17	8
18	王子台小学校	12 特2	14	1	1	1	2	1		1	2	2	1	25	17	8
19	青菅小学校	15 特1	16	1		1		1		1	1		1	25	17	8
20	寺崎小学校	13 特2	16	1		1	1	1		1	1	1	1	25	17	8
21	山王小学校	6 特2	8	1	1	1	2	1		1	1	1	1	25	17	8
22	染井野小学校	10 特2	12	1	1	1	1	1		1	1	3	1	25	17	8
23	白銀小学校	7 特2	9	1		1	1	1		1	1	1	1	20	11	5
計		301 特47	349	23	9	25	22	22	0	22	26	35	17	－	－	－

《中学校》

平成29年5月1日現在

番号	学 校 名	実学級数	保 有 教 室												プ ー ル		
			普通 教室	特 別 教 室											長さ (m)	幅 (m)	コ ー ス 数
				理科	音楽	美術	技術	家庭	視聴	パ ソ コン	図 書	特別 活動	教育 相談	進路 指導			
1	佐倉中学校	14 特3	17	2	1	1	2	2		1	1	3	1	1	25	19	9
2	志津中学校	22 特3	25	2	2	2	1	2		1	1	3	2		25	16	7
3	上志津中学校	9 特2	11	2	1	1	1	2		1	2	2	1	1	25	15	7
4	南部中学校	9 特2	11	2	1	1	1	2		1	1	2	1		25	16	8
5	臼井中学校	12 特2	17	2	2	1	2	2		1	2	8	1		25	17	8
6	井野中学校	12 特1	14	2	2	1	1	2		1	2	6	2		25	19	9
7	佐倉東中学校	9 特2	11	2	1	2	2	2		1	1	7	1		25	17	8
8	臼井西中学校	11 特3	14	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	25	17	8
9	西志津中学校	14 特2	16	2	1	1	2	2		1	1	3	2	1	25	17	8
10	臼井南中学校	11 特2	13	2	2	2	2	2		1	1	5	1	1	25	17	8
11	根郷中学校	9 特2	11	2	2	1	2	2		1		2	1	1	25	17	8
計		132 特24	160	22	17	14	18	22	1	11	13	42	14	6	-	-	-

※小中学校の普通教室には、余裕教室を含みます。

(2) 建物・校地面積

《市立幼稚園》

平成29年5月1日現在

番号	園 名	建物面積 (㎡)					校地面積(㎡)				
		園 舎			屋内運動場		建物 敷地	運動場	実 験 実習地 その他	借 用	計
		RC造	鉄骨造	木造	RC造	鉄骨造					
1	佐倉幼稚園	1,518					3,427	1,358			4,785
2	和田幼稚園	190					190	471			661
3	弥富幼稚園	254					254	1,854			2,108
計		1,962	0	0	0	0	3,871	3,683	0	0	7,554

《小学校》

平成29年5月1日現在

番 号	学 校 名	建物面積 (㎡)					校地面積 (㎡)				
		校 舎			屋内運動場		建物 敷地	運動場	実 験 実習地 その他	借 用	計
		RC造	鉄骨造	木造	RC造	鉄骨造					
1	佐倉小学校	6,080	63	41	1,191		11,951	8,750			20,701
2	内郷小学校	2,944		86	740		5,490	10,223	8,503		24,216
3	臼井小学校	4,044	79	10	1,070		7,597	14,378			21,975
4	印南小学校	3,668		60	749		9,424	11,294			20,718
5	千代田小学校	2,780	1,103	10	749		7,366	9,661	15,954		32,981
6	上志津小学校	3,939	71	65	748		14,099	7,825			21,924
7	志津小学校	3,380	677	33	1,157		8,456	11,270	2,671		22,397
8	下志津小学校	3,225	20	26		704	8,720	10,270			18,990
9	南志津小学校	4,225		80	1,041		10,316	9,226	9,177		28,719
10	根郷小学校	5,361	8	46	1,232		12,241	9,351	4,980		26,572
11	和田小学校	1,732		81	726		5,552	10,091			15,643
12	弥富小学校	1,842		83	751		10,481	9,451	638		20,570
13	井野小学校	4,360	1,392		749		6,826	26,658	120		33,604
14	佐倉東小学校	4,491		80	760		13,272	6,661	32,207		52,140
15	西志津小学校	5,544	789	43	1,195		13,133	13,067			26,200
16	小竹小学校	5,123	40	59	851		13,563	11,819	1,679		27,061
17	間野台小学校	4,583	66		977		9,721	9,421	795		19,937
18	王子台小学校	4,615		76	1,142		8,913	9,351	1,747		20,011
19	青菅小学校	4,651	42	10	1,169		9,983	17,020			27,003
20	寺崎小学校	4,672		81	1,165		11,040	13,319	4,138		28,497
21	山王小学校	5,212		10	1,299		14,729	12,517	1,777		29,023
22	染井野小学校	4,500			1,347		12,420	15,417	2,790		30,627
23	白銀小学校	3,611			1,182		13,622	10,922	2,187		26,731
計		94,582	4,350	980	21,990	704	238,915	267,962	89,363		596,240

《中学校》

番 号	学 校 名	建物面積 (㎡)					校地面積 (㎡)				
		校 舎			屋内運動場		建物 敷地	運動場	実 験 実習地 その他	借 用	計
		RC造	鉄骨造	木造	RC造	鉄骨造					
1	佐倉中学校	6,393	57		2,352		11,801	15,689		2,835	30,325
2	志津中学校	6,132		73	1,797		8,927	13,331			22,258
3	上志津中学校	4,223		33	2,123		10,718	12,569			23,287
4	南部中学校	3,766		50	2,383		13,012	34,120			47,132
5	臼井中学校	6,318	169	66	990		11,685	12,592	10,156		34,433
6	井野中学校	5,937	159		1,553		16,203	24,991	1,611		42,805
7	佐倉東中学校	6,213			1,504	75	8,612	13,932	20,101		42,645
8	臼井西中学校	6,115	38	24	1,619		11,785	28,187	3,372		43,344
9	西志津中学校	5,830	38	24	1,491		11,551	12,894	1,492		25,937
10	臼井南中学校	5,962			2,323		13,858	18,118	4,177		36,153
11	根郷中学校	5,627			2,369		17,000	13,886			30,886
計		62,516	461	270	20,504	75	135,152	200,309	40,909	2,835	379,205

4 社会教育等施設一覧

平成29年5月1日現在

名 称	所 在 地 (電 話 番 号)	設 置 年 月	建 築 年 月	構 造	建築延床 面積(㎡)	敷地面積 (㎡)	備 考
中央公民館	鎗木町198番地3 (485-1801)	昭22. 4	昭51. 3	RC造 地上3階	2,898.96	12,500.66	平4. 3 増改築
和田公民館	直弥59番地 (498-0417)	昭29. 4	昭50. 3	RC造 地上2階	533.66 (公民館部分)	759.65	学童保育所 併設
和田公民館 分 館	八木850番地1 (498-4000)	平13. 4	平13. 3	RC造 地上2階	441.00 (公民館部分)	3,461.11	和田ふるさと館内 歴史民俗資料室
弥富公民館	岩富町151番地 (498-0860)	昭29. 4	平21. 3	RC造 地上2階	799.74 (公民館部分)	1,367.83	弥富派出所 農村婦人の家 学童保育所 併設
根郷公民館	城343番地5 (486-3147)	昭29. 4	平5. 2	RC造 地下1階 地上3階	1,634.93 (公民館部分)	2,007.55	根郷出張所 併設
志津公民館	上志津1672番地7 (487-5064)	昭29. 4	平27. 11	RC造 地上4階	2,295.02 (公民館部分)	4,758.22	志津出張所 志津児童センター 志津南部地域包括 支援センター 併設
臼井公民館	王子台1丁目16番地 (461-6221)	昭59. 11	昭59. 9	RC造 地下1階 地上2階	922.36 (公民館部分)	4,106.33	市民音楽ホール 併設
佐倉図書館	新町189番地1 (485-0106)	昭51. 4	昭31. 4	RC造 地上2階	970.63	1,067.90	昭58. 5転用 (旧郵便局)
志津図書館	西志津4丁目1番2号 (488-0906)	平7. 7	平7. 3	RC造 地下1階 地上3階	3,386.77 (図書館部分)	2,999.56	西志津ふれあいセン ター・西志津市民サー ビスセンター・適応指導 教室併設
志津図書館 志津分館	上志津1672番地7 (461-7211)	昭57. 1	平27. 11	RC造 地上4階	291.15 (図書館部分)	-	志津公民館 併設
佐倉南図書館	山王2丁目37番地13 (483-3000)	平12. 2	平11. 9	SRC造 平屋	1,899.63	11,928.64	
青少年 センター	岩名828番地 (486-3231)	昭59. 4	昭59. 2	RC造 地上2階	575.30	1,800.00	
佐倉市 ヤングプラザ	栄町8番地7 (484-6431)	平10. 1	昭46. 9	RC造 地上2階	809.73	725.23	平9. 12改築転用
佐倉市民 音楽ホール	王子台1丁目16番地 (461-6221)	昭59. 11	昭59. 9	RC造 地下1階 地上2階	3,654.15 (音楽ホール 部分)	4,106.33	公民館 922.36㎡ 出張所 183.76㎡ 平成13年度 改築
美術館	新町210番地 (485-7851)	平6. 11	平6. 8	RC造 地下2階 地上5階	5,137.42	1,938.61	
佐倉市 教育センター	将門町7番地 (486-2400)	平15. 4	昭50. 6	RC造	477.00	477.00	佐倉東小学校の 一部を転用

5 社会体育施設一覧

平成29年5月1日現在

種 類	名 称 (位 置)	施 設 概 要
体育館	佐倉市民体育館 (佐倉市宮小路町3番地)	- 敷地面積 16,123.74㎡ - 床面積 6,472.960㎡ - 構 造 鉄筋コンクリート4階建
	佐倉市立青少年体育館 (佐倉市江原新田54番地)	- 面 積 433.51㎡ - 構 造 木造 〔県立佐倉高等学校 旧武道館〕
市 民 プー ル	佐倉市上座総合公園プール (佐倉市上座915番地)	- 敷地面積 6,000㎡ - 建造物 練習プール(425㎡) 25m 17m 8コース 子供プール(348㎡) 幼児プール(130㎡) - 建築物 管理棟、機械棟、屋外便所 (510.46㎡)
	佐倉市岩名運動公園プール (佐倉市岩名姿山地先)	- 敷地面積 10,039㎡ - 建造物 競技用プール(1,000㎡) 50m 20m 9コース 幼児プール(348.34㎡) - 建築物 管理棟(310㎡) 機械室・倉庫(91.22㎡)
テニス コート	佐倉市岩名運動公園テニスコート (佐倉市岩名姿山地先)	競技場 オールウェザーコート 6面 クレーコート 2面
	佐倉市直弥公園テニスコート (佐倉市直弥438番地)	競技場 オールウェザーコート 4面
陸 上 競技場	佐倉市岩名運動公園陸上競技場 (佐倉市岩名姿山地先)	競技場 400m全天候トラック(19,150㎡) メインスタンド (客数:1,022席、2,077㎡) 第3種公認競技場
野球場	佐倉市岩名運動公園野球場 (長嶋茂雄記念岩名球場) (佐倉市岩名姿山地先)	- 面 積 12,277㎡ - 付属施設 メインスタンド(2,322㎡) バックスクリーン、バックネット スコアボード、ナイター照明
	佐倉市岩名運動公園野球場 (第2球場) (佐倉市岩名姿山地先)	- 面 積 7,494㎡ - 付属施設 バックネット、ベンチ
	佐倉市大作野球場 (佐倉市大作2丁目1番地1)	- 面 積 10,156㎡ - 付属施設 バックネット、ベンチ
球技場	佐倉市岩名運動公園球技場 (佐倉市岩名姿山地先)	- 面 積 12395. 22㎡ - 建造物 トイレ・更衣室棟(131. 78㎡) メインスタンド (363. 44㎡) 照明(6基) 防球ネット、ワイヤメッシュフェンス
スポーツ 資料館	(佐倉市岩名姿山地先)	- 面 積 309.35㎡ - 建築物 鉄筋コンクリート2階建 1F:図書、展示、保健管理コーナー 2F:研修室

Ⅲ その他

1 児童生徒数の推移

学校数の()内は分校数(外数)
 ※佐倉市人口を除き各年5月1日現在
 (平成27年からは外国人の方を含みます)

年 度	学 校 数		学 級 数		児童数	生徒数	児童生徒数 合計	佐倉市人口 3月末現在
	小学校	中学校	小学校	中学校				
昭和 29	8 (3)	5	114	51	4,604	2,160	6,764	35,196
30	8 (4)	5	119	54	4,775	2,270	7,045	35,502
31	8 (4)	5	118	55	4,814	2,451	7,265	35,481
32	9 (4)	5 (1)	126	55	5,108	2,383	7,491	37,431
33	9 (4)	5 (1)	130	50	5,285	2,101	7,386	37,107
34	9 (4)	5 (1)	127	50	4,134	2,118	6,252	37,467
35	9 (4)	5	125	50	4,883	2,315	7,198	37,705
36	10 (3)	3	121	59	4,643	2,704	7,347	37,891
37	10 (3)	3	120	58	4,499	2,753	7,252	38,148
38	10 (3)	3	118	58	4,262	2,657	6,919	37,808
39	10 (3)	3	119	57	4,156	2,536	6,692	38,970
40	10 (3)	3	123	56	4,142	2,376	6,518	40,528
41	10 (3)	3	123	56	4,188	2,305	6,493	42,911
42	11 (3)	3	130	55	4,266	2,274	6,540	45,684
43	11 (3)	3	131	58	4,459	2,357	6,816	49,770
44	11 (2)	3	137	57	4,855	2,254	7,109	54,104
45	11 (1)	3	151	56	5,442	2,262	7,704	58,914
46	12 (1)	3	167	56	5,970	2,297	8,267	63,748
47	12 (1)	3	180	62	6,542	2,516	9,058	68,243
48	12 (1)	4	196	67	7,013	2,724	9,737	73,022
49	13 (1)	4	214	72	7,832	2,909	10,741	77,519
50	14 (1)	4	236	78	8,590	3,085	11,675	80,972
51	14 (1)	5	254	85	9,417	3,378	12,795	83,135
52	15	5	278	94	10,242	3,755	13,997	86,182
53	15	5	302	105	11,157	4,195	15,352	91,022
54	15	5	326	110	12,321	4,373	16,694	95,176
55	16	5	340	118	13,110	4,850	17,960	99,616
56	17	5	371	132	13,778	5,427	19,205	104,276
57	17	6	374	149	14,163	6,223	20,386	108,914
58	17	6	374	164	14,286	6,779	21,065	113,555
59	18	6	371	173	14,120	7,217	21,337	116,972
60	18	6	360	184	13,746	7,696	21,442	120,459
61	19	6	356	185	13,330	7,839	21,169	123,251
62	20	7	351	189	12,846	7,959	20,805	127,002
63	20	9	363	191	12,854	7,879	20,733	132,297
平成 元	21	9	370	192	12,856	7,753	20,609	138,411
2	21	9	375	197	12,773	7,540	20,313	143,070
3	21	9	376	199	12,662	7,380	20,042	147,303
4	21	9	373	200	12,316	7,302	19,618	151,222
5	21	9	369	194	12,199	7,024	19,223	155,328
6	21	9	361	192	11,889	6,902	18,791	158,725
7	21	10	360	186	11,615	6,688	18,303	162,604
8	21	10	354	191	11,368	6,709	18,077	165,870
9	21	11	343	188	10,975	6,573	17,548	168,849
10	21	11	333	179	10,553	6,350	16,903	170,292
11	22	11	330	171	10,253	6,087	16,340	172,181
12	22	11	316	164	9,965	5,700	15,665	173,548
13	22	11	317	160	9,762	5,453	15,215	174,078
14	22	11	312	151	9,504	5,160	14,664	174,624
15	22	11	309	147	9,497	4,893	14,390	175,033
16	23	11	313	142	9,396	4,583	13,979	175,573
17	23	11	312	139	9,186	4,396	13,582	175,118
18	23	11	316	139	9,160	4,307	13,467	174,984
19	23	11	327	142	9,066	4,330	13,396	175,126
20	23	11	334	139	9,104	4,200	13,304	175,134
21	23	11	338	146	9,024	4,278	13,302	175,601
22	23	11	341	148	8,981	4,250	13,231	175,914
23	23	11	349	149	8,999	4,319	13,318	176,169
24	23	11	349	150	8,822	4,306	13,128	176,072
25	23	11	345	153	8,755	4,286	13,041	175,690
26	23	11	347	152	8,762	4,305	13,067	175,575
27	23	11	351	155	8,702	4,284	12,986	177,411
28	23	11	353	155	8,652	4,288	12,940	176,976
29	23	11	348	156	8,480	4,284	12,764	176,518

2 スポーツテスト実施状況

《小学校 低学年》

(平成28年度)

種 目		1 年		2 年		3 年	
		男	女	男	女	男	女
握 力 (kg)	千葉県	9.75	9.17	11.54	10.73	13.17	12.44
	印 旛	9.96	9.45	11.53	10.76	13.34	12.88
	佐倉市	10.26	9.50	11.19	10.60	13.23	12.73
上体おこし (回)	千葉県	12.45	12.26	15.19	14.46	17.09	16.52
	印 旛	13.31	12.89	15.41	14.39	17.72	16.70
	佐倉市	14.08	12.93	16.63	14.73	20.28	18.06
長座体前屈 (cm)	千葉県	27.20	29.49	28.39	31.33	30.01	33.32
	印 旛	27.44	29.32	28.64	31.05	30.74	33.42
	佐倉市	27.56	30.73	29.15	31.78	31.73	33.36
反復横とび (回)	千葉県	28.97	27.87	33.10	31.60	36.52	34.86
	印 旛	30.04	29.02	34.30	32.96	38.16	36.25
	佐倉市	31.34	28.84	33.17	34.34	39.30	37.76
20 メートル シャトルラン (回)	千葉県	20.87	17.75	30.02	23.43	37.47	29.39
	印 旛	21.84	19.49	31.02	24.87	38.80	29.73
	佐倉市	23.50	17.61	30.51	28.68	38.41	33.30
50 メートル走 (秒)	千葉県	11.13	11.41	10.39	10.73	9.93	10.21
	印 旛	10.96	11.17	10.42	10.65	9.85	10.14
	佐倉市	10.74	11.31	10.51	10.44	9.96	9.88
立ち幅とび (cm)	千葉県	118.01	111.13	129.41	121.81	138.36	132.12
	印 旛	119.46	112.94	130.40	123.16	142.33	133.65
	佐倉市	123.63	112.15	133.55	124.00	143.13	135.33
ソフトボール投 (m)	千葉県	9.31	6.36	12.61	8.22	16.04	10.06
	印 旛	9.57	6.71	12.66	8.57	16.19	10.59
	佐倉市	10.37	6.63	13.26	9.09	16.28	11.43

《小学校 高学年》

(平成28年度)

種 目		4 年		5 年		6 年	
		男	女	男	女	男	女
握 力 (kg)	千葉県	15.06	14.54	17.40	17.13	21.31	20.20
	印 旛	15.57	15.23	17.95	17.68	21.65	20.47
	佐倉市	15.89	14.63	17.54	17.19	22.60	19.80
上体おこし (回)	千葉県	19.35	18.67	21.87	20.88	23.96	22.06
	印 旛	20.28	19.60	22.82	21.67	24.44	22.66
	佐倉市	20.15	19.61	23.45	22.97	25.76	23.34
長座体前屈 (cm)	千葉県	32.63	36.32	35.45	40.32	38.83	43.60
	印 旛	33.55	37.22	36.01	41.60	38.66	44.01
	佐倉市	33.93	36.71	36.71	41.52	40.00	43.52
反復横とび (回)	千葉県	40.92	39.17	45.44	43.30	48.09	45.54
	印 旛	42.63	41.27	46.85	44.76	48.75	46.57
	佐倉市	42.63	42.73	48.39	44.04	50.55	46.68
20 メートル シャトルラン (回)	千葉県	47.91	37.97	57.77	47.36	66.18	53.28
	印 旛	49.85	38.78	58.45	49.23	64.19	52.90
	佐倉市	45.58	40.28	62.28	45.19	63.71	54.36
50 メートル走 (秒)	千葉県	9.47	9.75	9.06	9.30	8.60	8.94
	印 旛	9.33	9.70	8.94	9.19	8.54	8.81
	佐倉市	9.41	9.71	8.90	9.27	8.49	8.71
立ち幅とび (cm)	千葉県	148.17	142.08	159.18	153.98	172.47	162.53
	印 旛	151.30	146.00	161.60	156.49	172.68	164.64
	佐倉市	150.13	148.10	163.71	154.28	177.02	165.45
ソフトボール投 (m)	千葉県	19.87	12.30	23.15	14.55	27.17	16.75
	印 旛	20.31	12.95	23.38	14.70	26.68	17.08
	佐倉市	20.63	13.69	23.97	14.21	27.39	16.36

《中 学 校》

(平成28年度)

種 目		1 年		2 年		3 年	
		男	女	男	女	男	女
握 力 (kg)	千葉県	23.39	21.62	29.21	29.21	34.52	25.63
	印 旛	24.02	21.82	29.93	24.32	34.15	25.70
	佐倉市	22.95	21.31	28.43	22.93	34.63	26.40
上体おこし (回)	千葉県	24.59	22.35	28.68	25.13	30.89	26.32
	印 旛	25.52	22.63	29.30	25.41	31.55	26.86
	佐倉市	25.58	24.00	30.52	25.90	31.56	27.79
長座体前屈 (cm)	千葉県	40.98	45.72	46.72	49.09	50.57	51.76
	印 旛	41.37	45.76	46.89	48.54	49.72	52.21
	佐倉市	41.65	46.06	48.13	50.63	51.81	54.13
反復横とび (回)	千葉県	49.35	46.00	53.11	47.88	56.18	48.54
	印 旛	49.67	46.76	53.49	48.14	56.61	48.42
	佐倉市	48.55	46.72	54.29	48.09	57.23	49.25
20 メートル シャトルラン (回)	千葉県	70.72	55.89	88.75	63.20	95.90	62.01
	印 旛	74.44	56.40	88.71	62.64	96.88	60.81
	佐倉市	68.95	56.77	92.18	63.84	100.37	65.45
50 メートル走 (秒)	千葉県	8.46	8.92	7.77	8.59	7.38	8.52
	印 旛	8.34	8.90	7.76	8.56	7.39	8.45
	佐倉市	8.50	8.90	7.76	8.67	7.27	8.34
立ち幅とび (cm)	千葉県	179.52	165.61	198.18	173.08	213.26	176.37
	印 旛	180.09	165.39	198.54	173.09	213.69	177.71
	佐倉市	175.88	164.50	197.09	174.77	219.41	184.54
ハンドボール投 (m)	千葉県	17.15	11.51	20.55	13.12	23.51	14.16
	印 旛	16.50	10.72	20.00	12.43	23.00	13.57
	佐倉市	15.68	10.75	20.54	12.40	22.84	14.45

3 スポーツ施設利用状況の推移

(利用者延人数)

年 度	岩 名 テニス コート	大 作 テニス コート	直 弥 テニス コート	岩名 野球場	大作 野球場	岩名 陸上 競技場	市民 体育館	市営プール		青少年 体育館	岩名 球技場
								上座	岩名		
平成 5 年度	42,073	20,433		19,147	3,947	27,313	105,219	21,534	15,940	5,645	
平成 6 年度	41,740	18,341		18,535	4,316	14,383	115,633	32,099	21,718	5,154	
平成 7 年度	41,890	12,419		20,231	4,482	20,847	120,646	25,733	20,085	5,177	
平成 8 年度	45,891	19,944		17,978	4,862	30,888	129,339	15,785	12,283	6,047	
平成 9 年度	48,114	19,611		21,463	4,976	35,662	125,336	16,213	10,849	6,213	
平成10年度	49,322	19,638		15,712	4,426	25,755	110,591	12,679	8,191	6,733	
平成11年度	48,045	19,116		20,194	5,375	23,284	103,580	17,727	10,867	7,270	
平成12年度	43,712	19,278		18,365	4,521	32,765	119,040	14,955	9,710	7,621	
平成13年度	45,582	21,939		24,070	4,506	34,075	81,130	9,158	6,347	7,089	
平成14年度	45,406	4,880	15,152	25,511	3,934	46,843	89,112	12,201	8,216	7,226	
平成15年度	41,627		19,008	20,668	4,465	37,075	92,248	8,315	5,480	6,724	
平成16年度	43,054		13,992	21,679	4,360	48,106	50,539	11,354	7,352	9,915	
平成17年度	41,156		14,685	22,710	5,220	38,637	76,246	12,829	8,507	7,829	
平成18年度	39,906		14,733	23,975	5,031	41,982	94,344	10,923	6,151	7,474	
平成19年度	42,612		15,620	23,280	6,306	50,726	96,647	13,697	8,109	8,312	
平成20年度	38,843		17,532	31,585	4,207	37,064	103,629	12,206	7,397	8,103	
平成21年度	41,147		18,395	32,210	3,845	46,504	112,744	11,785	7,183	8,384	
平成22年度	41,687		19,113	16,178	3,733	39,156	111,688	17,547	10,634	9,075	
平成23年度	42,869		19,335	28,794	3,681	54,681	106,168	11,550	7,862	9,791	
平成24年度	43,358		17,674	35,154	4,379	74,353	125,938	16,258	9,939	9,824	
平成25年度	39,398		18,722	36,469	3,579	55,030	128,645	14,542	9,342	9,630	
平成26年度	42,784		17,279	40,083	5,390	71,462	137,462	11,866	7,907	10,435	73,317
平成27年度	46,220		16,612	41,205	5,747	70,026	134,302	11,397	8,118	11,109	90,109
平成28年度	44,726		13,586	21,586	6,988	80,522	140,351	8,811	6,285	11,181	85,223

4 指定・登録文化財一覧

平成29年5月1日現在

区分	番号	種類	名 称	所在地・指定地 伝承地	指定・登録 年月日	員 数 (面 積)
国 指定 文化財	1	史跡	本佐倉城跡	佐倉市天佐倉 酒々井町本佐倉	平10. 9. 11	20, 982. 65㎡
	2	史跡	井野長割遺跡	西ユーカーが丘	平17. 3. 2	22, 955. 65㎡
	3	有建	旧堀田家住宅 附棟札 1枚	鎭木町	平18. 7. 5	7棟
	4	名勝	旧堀田正倫庭園	鎭木町	平27. 3. 10	32, 529. 52㎡
県 指定 文化財	1	天記	佐倉城の夫婦モッコク	城内町	昭27. 11. 3	99. 17㎡
	2	有工	紫裾濃胴丸	鎭木町	昭29. 3. 31	1領
	3	有民	甲賀神社の鹿面	羽鳥	昭29. 12. 21	1面
	4	有工	鳳凰蒔絵鞍	新町	昭41. 5. 20	1具
	5	有工	天球儀	新町	昭41. 5. 20	1個
	6	史跡	長熊廃寺跡	長熊	昭42. 3. 7	1, 376㎡
	7	史跡	旧佐倉順天堂	本町	昭50. 3. 28	2, 383㎡
	8	無形	武術 立身流	岩富町	昭53. 2. 28	
	9	史跡	堀田正俊、正睦、正倫墓	新町	昭53. 2. 28	45㎡
	10	史跡	飯郷作遺跡	下志津	昭54. 3. 2	2, 400㎡
	11	無民	坂戸の念仏	坂戸	昭55. 2. 22	
	12	有建	松林寺本堂	弥勒町	昭57. 4. 6	1棟
	13	史跡	上座貝塚	上座	昭57. 4. 6	2, 235㎡
	14	有建	佐藤家住宅	中尾余町	昭59. 2. 24	1棟
	15	有建	旧河原家住宅	宮小路町	昭60. 3. 8	1棟
	16	有建	旧川崎銀行佐倉支店 附棟札 1枚	新町	平 3. 2. 15	1棟
	17	有歴	鹿山文庫関係資料	鍋山町	平 5. 2. 26	一括
市 指定 文化財	1	史跡	佐倉城跡	城内町	昭37. 3. 28	
	2	天記	鷲神社のケヤキ	先崎	昭37. 12. 22	1樹
	3	有彫	木造薬師如来立像	畔田	昭39. 3. 18	1躯
	4	有工	ピストル	新町	昭39. 3. 18	1挺
	5	有工	麻賀多神社神輿	鎭木町	昭39. 3. 18	1基
	6	有工	六崎区神輿	六崎	昭39. 3. 18	1基
	7	天記	称念寺のムクロジ	青菅	昭39. 3. 18	1樹
	8	有工	刀 銘細川 忠義	寺崎	昭41. 9. 26	1口
	9	史跡	上人塚古墳	小篠塚	昭41. 9. 26	1基
	10	有絵	花園口上陸図	新町	昭44. 3. 12	1点
	11	有彫	木造阿弥陀如来坐像	臼井台	昭44. 3. 12	1躯
	12	有工	刀 銘国友忠恕	新町	昭44. 3. 12	1口
	13	無民	佐倉囃子	新町	昭46. 10. 20	
	14	有歴	公立米戸小学校版木	米戸	昭47. 2. 9	2点
	15	天記	印旛郡役所跡のイヌマキ	鎭木町	昭47. 11. 6	1樹
	16	天記	臼井台稻荷神社のカヤ	八幡台	昭48. 2. 7	1樹
	17	有工	佐藤尚中陣羽織	裏新町	昭48. 4. 14	1領

区分	番号	種類	名 称	所在地・指定地 伝承地	指定・登録 年月日	員 数 (面 積)
市指定文化財	18	有考	ナウマン象歯牙化石	岩名	昭48. 4. 14	2点
	19	有工	銅 大国主命立像	鎭木町	昭48. 6. 20	1躯
	20	有民	先崎地藏尊	先崎	昭49. 3. 26	1躯
	21	史跡	香取秀真おいたちの地	鎭木町	昭49. 3. 26	3. 3m ²
	22	有工	銅 武内宿彌立像	新町	昭49. 4. 27	1躯
	23	有工	銅 十一面観音菩薩立像	新町	昭49. 4. 27	1躯
	24	無民	下勝田の獅子舞	下勝田	昭49. 4. 27	
	25	有工	銅 麻賀多神社印	鎭木町	昭49. 6. 4	1顆
	26	有工	銅 釣燈籠	鎭木町	昭49. 6. 4	1対
	27	有歴	佐倉城城門写真原板	宮小路町、新町	昭49. 7. 19	5枚
	28	天記	坂戸西福寺のイチョウ	坂戸	昭49. 10. 15	1樹
	29	無民	上勝田の盆綱	上勝田	昭50. 1. 13	
	30	史跡	山崎ひょうたん塚古墳	下根	昭50. 4. 23	1基
	31	史跡	勝胤寺中世石塔群	大佐倉	昭50. 9. 17	19基
	32	史跡	海隣寺中世石塔群	海隣寺町	昭50. 9. 17	17基
	33	名勝	勝間田の池	下勝田	昭51. 5. 20	1, 586m ²
	34	有歴	松林寺古絵図	弥勒町	昭52. 1. 19	1幅
	35	史跡	土井利勝父母夫人供養塔	弥勒町	昭52. 1. 19	3基
	36	有絵	麻賀多神社板絵馬「藤戸の渡し」	鎭木町	昭52. 4. 13	1面
	37	有絵	熊野神社絵馬「龍図」	太田	昭52. 4. 13	1面
	38	有建	将門山大明神鳥居	大佐倉	昭52. 7. 13	1基
	39	有絵	佐倉城大絵図	新町	昭52. 7. 13	1葉
	40	有彫	木造大日如来坐像	鎭木町	昭53. 4. 18	1躯
	41	有歴	将門町地租改正地引図	海隣寺町	昭53. 4. 18	1葉
	42	有建	鷲神社鳥居	先崎	昭53. 7. 26	1基
	43	有建	鷲神社本殿 附宮殿 1基 棟礼 1枚 御正躰箱 1点	先崎	昭53. 7. 26	1棟
	44	有彫	木造金剛力士立像	岩名	昭53. 7. 26	2躯
	45	有工	刀 銘細川 忠義	西志津	昭53. 7. 26	1口
	46	有彫	木造薬師如来坐像 及び両脇侍立像	鎭木町	昭53. 10. 18	3躯
	47	有歴	伝堀田正盛坐像	新町	昭54. 6. 29	1躯
	48	史跡	修静居跡	宮小路町	昭54. 6. 29	1m ²
	49	有工	槍 銘細川 忠義	鎭木町	昭54. 10. 17	1口
	50	有工	刀 銘細川 忠正	西志津	昭55. 7. 22	1口
	51	有絵	紙本著色釈迦涅槃図	新町	昭58. 6. 30	1幅
	52	有工	簾阿弥陀来迎図	新町	昭58. 6. 30	1面
	53	有書	古今佐倉真佐子 附絵図 1葉	海隣寺町	昭59. 1. 18	1冊
	54	有工	佐倉町内祭礼用具	新町、弥勒町	昭59. 11. 26	一括
	55	有建	密蔵院薬師堂	寺崎	昭60. 9. 26	1棟

区分	番号	種類	名 称	所在地・指定地 伝承地	指定・登録 年月日	員 数 (面 積)
市指定文化財	56	有工	梵鐘(元禄七年在銘)	岩富	昭61. 3. 31	1口
	57	有絵	絹本着色釈迦涅槃図	臼井台	昭63. 3. 15	1幅
	58	有建	旧但馬家住宅	宮小路町	平元. 3. 31	1棟
	59	有民	和田地区民俗資料	八木	平4. 7. 1	一括
	60	史跡	臼井城跡	臼井、臼井田	平6. 2. 16	1か所
	61	有工	金銅五鈷杵	井野	平 7. 8. 16	1口
	62	有歴	小幡家旧蔵佐倉城関係資料	新町	平 9. 3. 26	一括
	63	無民	青菅のどんどれえ	青菅	平19. 6. 29	
	64	有彫	金銅地藏菩薩坐像	新町	平20. 9. 1	1軀
	65	史跡	青菅の大塚・小塚	宮ノ台	平22. 10. 1	2基
	66	有工	岩富城主北条氏勝寄進資料 ①七条袈裟・横被 牡丹唐草模様 ②七条袈裟・横被 亀甲梅椿模様 ③三鱗紋蒔絵四重帷	直弥	平22. 10. 1	1組2点 1組2点 1具4点
	67	有絵	佐倉牧関係絵図	新町	平25. 2. 22	3点
	68	無民	佐倉麻賀多神社神輿渡御	鎗木町	平27. 10. 21	
文国 化登 財録	1	有形	千葉県立佐倉高等学校記念館	鍋山町	平17. 7. 12	1棟
	2	有形	旧武居家住宅主屋	宮小路町	平28. 8. 1	1棟
	3	有形	旧平井家住宅店舗兼主屋・座敷棟・脇蔵	新町	平28. 8. 1	3棟
市登 録文 化財	1	有形	山口家住宅 袖蔵及び店蔵	新町	平12. 2. 16	2棟
	2	有形	三谷家住宅 主屋・袖蔵及び座敷屋	弥勒町	平13. 5. 16	3棟
	3	有形	石渡家住宅 主屋及び蔵	弥勒町	平13. 5. 16	2棟
	4	有形	藤寄家住宅 主屋・洋館・文庫蔵・ 味噌蔵・表門・米蔵・馬小屋	大佐倉	平17. 7. 1	7棟
	5	有形	蔵家住宅 長屋門	先崎	平17. 7. 1	1棟
	6	有形	斎藤家住宅 主屋及び蔵	太田	平21. 2. 23	2棟
文無 国化 形選 財民 択俗	1	無民	上勝田の盆綱(東関東の盆綱)	上勝田	平27. 3. 2	

5 市民文化資産一覧

平成29年5月1日現在

番号	種別	名 称	所在地	選定年月日	員 数 (面 積)
1	生活文化資産	表町の御神酒所	表町	平17. 9. 20	1台
2	生活文化資産	城麻賀多神社の神輿の巡幸 及び 奉納相撲と旧相撲地跡地	六崎	平17. 9. 20	行事及び 跡地一式
3	生活文化資産	時崎城跡	六崎	平17. 9. 20	12, 557㎡
4	生活文化資産	下総まわし宿百観音	馬渡	平17. 9. 20	一括
5	生活文化資産	千蔵寺の千駄仏	馬渡	平17. 9. 20	一括
6	生活文化資産	下総まわし宿善養院境内 と 阿弥陀堂周辺	馬渡	平21. 6. 15	2か所
7	生活文化資産	先崎鷺神社の神輿及び神輿渡御	先崎	平21. 6. 15	1基及び 行事一式
8	自然資産	小竹城跡と小竹五郎の墓 及び その周辺の里山風景	小竹	平23. 3. 1	1件及び1基
9	生活文化資産	時崎の弁天さまの池	六崎	平23. 10. 17	995㎡
10	生活文化資産	上志津の神社と社叢 (八幡神社・天御中主神社)	上志津	平24. 12. 13	2か所
11	芸術文化資産	西志津囃子	西志津	平26. 12. 5	
12	生活文化資産	田町の御神酒所	田町	平28. 3. 7	1台

6 日本遺産

平成29年5月1日現在

番号	タイトル	所在地	選定年月日	員 数 (面 積)
1	北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み	新町、鎗木町、 井野他	平28. 4. 25	

7 「北総四都市江戸紀行」日本遺産認定について

1 概要

- ・タイトル：北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み
ー佐倉・成田・佐原・銚子：百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群ー
- ・申請者：千葉県、佐倉市、成田市、香取市、銚子市
- ・認定年月日：平成28年4月25日

2 「日本遺産」について

- ・「日本遺産」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものであり、魅力ある有形・無形の文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦力的に発信することによって、地域の活性化を図ることを目的としています。

3 「北総四都市江戸紀行」について

・北総地域は、百万都市江戸に隣接し、関東平野と漁場の太平洋を背景に、利根川の水運と江戸に続く街道を利用して江戸に東国の物産を供給し、江戸のくらしや経済を支えました。こうした中、江戸の文化を取り入れることにより、城下町佐倉・門前町成田・商家の町佐原・港町銚子という、四つの特色ある都市が發展しました。

現在でもこれら四都市では、江戸庶民も訪れた町並みや風景が残り、東京近郊にありながら江戸情緒を体感することができます。また、これらの都市は成田空港から近くアクセスにも恵まれていることから、世界から一番近い「江戸」として地域の活性化を図っていきます。

4 「北総四都市江戸紀行」の構成文化財（佐倉市）



佐倉城跡



佐倉の武家屋敷群 (旧但馬家住宅)



城下町佐倉の町並み (旧平井家住宅)



佐倉道 (成田街道) 道標



城下町佐倉の祭礼



旧佐倉順天堂



鹿山文庫関係資料



旧堀田家住宅・旧堀田正倫庭園



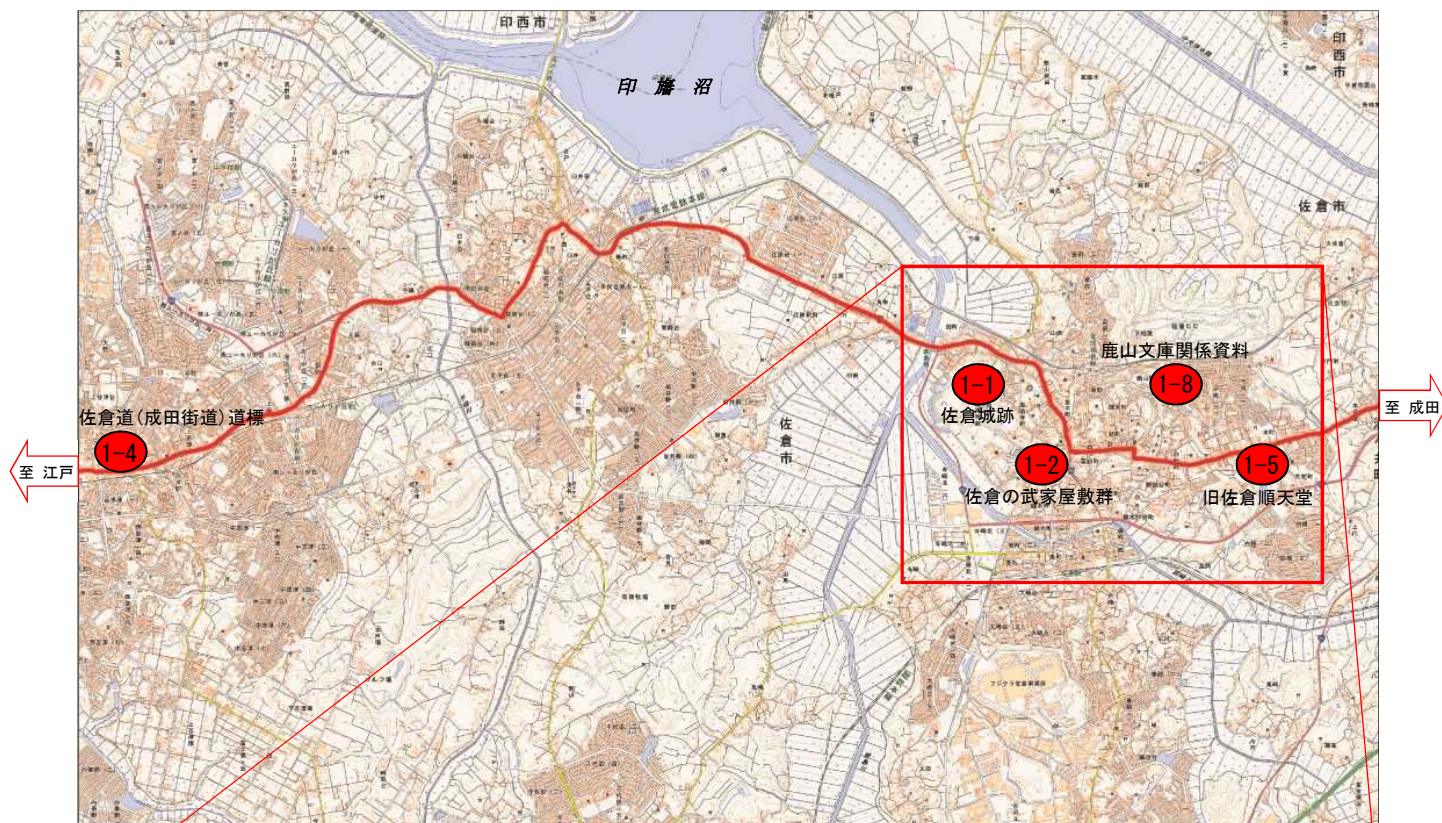
堀田正俊・正睦・正倫墓

ストーリーの構成文化財一覧（佐倉市）

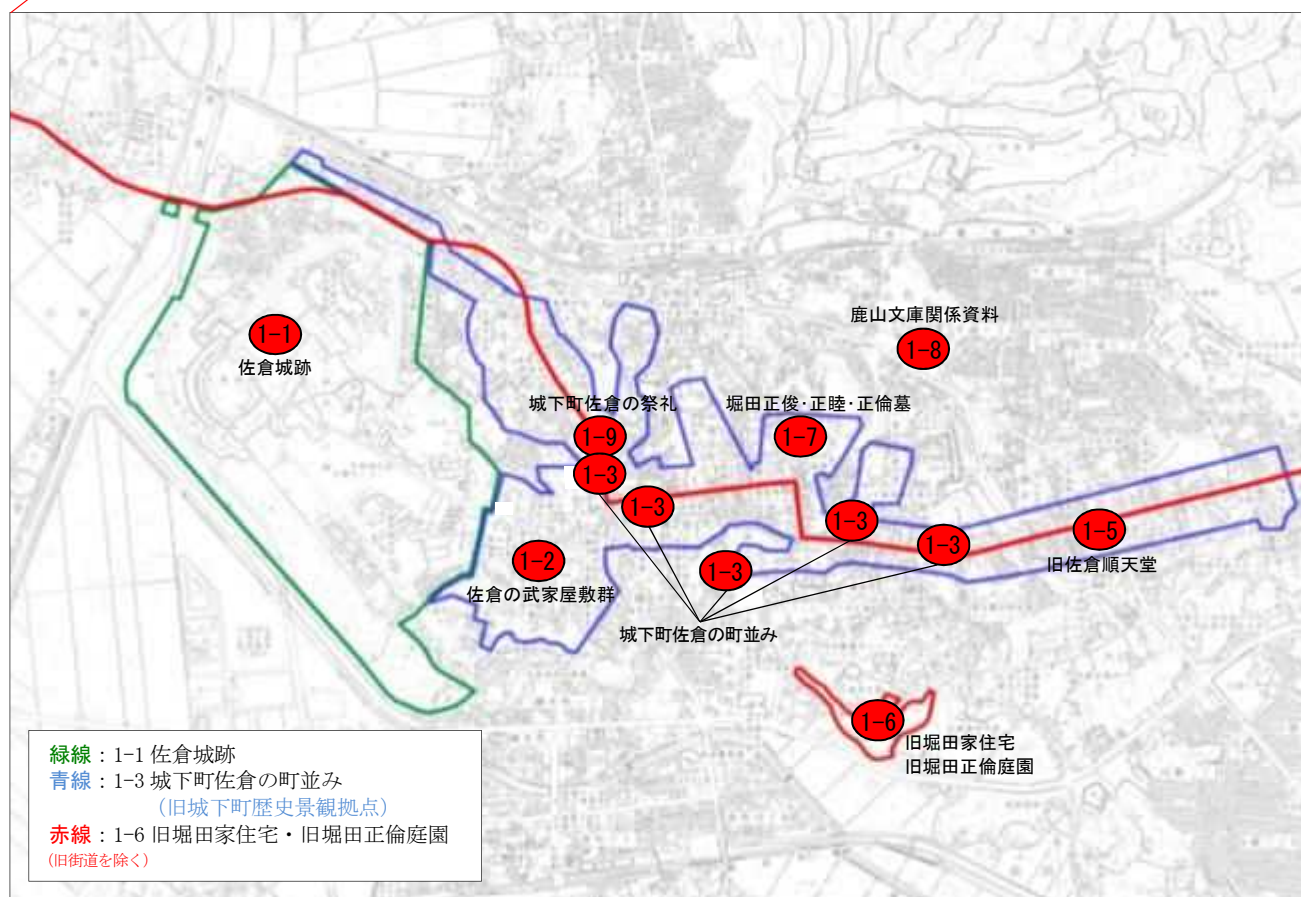
文化財の名称	指定等の状況	概要
政治・軍事の面で江戸を支えた佐倉		
1 佐倉城跡	市史跡	江戸の東を守る要として慶長 16 年（1611）より 7 年かけて、徳川家康の重臣土井利勝が築城した。日本 100 名城にも選定されている。ストーリーのガイダンス施設として国立歴史民俗博物館も城跡内に位置している。
2 佐倉の武家屋敷群 ① 旧河原家住宅 ② 旧但馬家住宅 ③ 旧武居家住宅	県有形 市有形 国登録	佐倉城築城にあわせて城の東に連なる台地上に武家屋敷と町屋が配置された。 宮小路町字鍋木小路の通りに 3 棟の武家屋敷が公開されている
江戸の趣きを感じる町並み・文化		
3 城下町佐倉の町並み ① 旧平井家住宅 ② 佐藤家住宅 ③ 山口家住宅 ④ 石渡家住宅 ⑤ 三谷家住宅	国登録 県有形 市登録 市登録 市登録	江戸へ向かう佐倉道（成田街道）は、城下町をほぼ東西にはしり、防衛のためクランク状に屈曲している。その他の道路・地割もほぼ当時の形状を保ち、旧佐倉順天堂をはじめ近世から近代の歴史的建造物が現在も残っている。
4 佐倉道（成田街道）の道標	無指定	街道沿いには現在も多くの道標が残り、江戸庶民の成田山信仰を象徴している。中でも井野の道標「成田山道」は、七代目市川團十郎が建てたものである。
5 城下町佐倉の祭礼 ① 麻賀多神社神輿 ② 麻賀多神社神輿渡御 ③ 旧佐倉町の祭礼用具 ④ 佐倉囃子	市有形 市無形民俗 市有形 市無形民俗	江戸の祭礼文化を受け継ぐ城下町佐倉の祭礼。祭礼で引き回す山車は江戸型山車。
蘭学の先進地であった佐倉		
6 旧佐倉順天堂 佐倉順天堂医史学資料	県史跡 市有形	天保 14 年（1843）蘭医学者佐藤泰然が江戸から移住し、開設した医塾兼診療所。全国から門人が集まり、近代の日本医学界の基礎を築いた。
7 鹿山文庫関係資料	県有形	藩校「成徳書院（現在の県立佐倉高校）」に所蔵されていた、日本初の蘭和辞典「ハルマ和解」をはじめとする古典籍群。
地域の象徴であった大名家・堀田家		
8 旧堀田家住宅 旧堀田正倫庭園	重文 国名勝	最後の佐倉藩主堀田正倫の邸宅と庭園。明治 23 年（1890）竣工。かつては隣接して堀田家農事試験場があった。
9 堀田正俊・正睦・正倫墓	県史跡	堀田家菩提寺の甚大寺に隣接する墓所。

構成文化財の位置図(地図等)

1 佐倉市



1-3 城下町佐倉の町並み



8 佐倉市教育大綱

-魅力ある心豊かなふるさと佐倉の人づくり、まちづくり-

1. はじめに

人口減少社会の到来により、地域社会を支える基盤の脆弱化が懸念される中、個人の様々な能力を開花させ、その精神を豊かにするとともに、社会全体の今後一層の発展を実現する基盤である教育の意義はますます高まっています。

また、過去に例を見ない社会情勢の変化に対応し、更に新たな価値を創造していくためには、進取の精神を育んできた佐倉の歴史から学ぶところは今なお大きいものがあります。

佐倉市は、このような認識の下、豊かな心の充実を教育の根幹と捉え、「ふるさと佐倉」を育てる人づくりを念頭に、佐倉学を推進し、教育のさらなる充実に取り組むため、ここに佐倉市教育大綱を定めます。

大綱の実現に当たり、教育行政の政治的中立性、継続性及び安定性を確保した上で、佐倉市が直面する様々な課題に対して、市長と教育委員会が共通認識を持ち、協議、調整及び連携協力を図ることとします。また、教育の推進に当たっては、地域社会が一体となって取り組むものとし、

2. 策定の趣旨及び基本的な考え方

佐倉市教育大綱（以下「大綱」といいます。）は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の趣旨に基づき、佐倉市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものです。

佐倉市においては、「佐倉教育ビジョン」及び「佐倉市総合計画 後期基本計画」とこれに関連する各個別計画において、教育、学術及び文化に関する計画がなされていることから、これらの内容を踏まえ、本市が進めるべき方針を大綱として定めることとし、その期間を後期基本計画と連動させた、平成31年度までとします。

3. 大綱の基本方針

基本方針1 豊かな心と学ぶ喜びに満ちた学校教育を充実させます

進展する社会の中で、子どもたちが力強く生きていくために、「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を育むとともに、「ふるさと佐倉」への愛着と誇りを涵養します。

子どもたちの発達段階に応じた心の教育を推進し、いじめの防止に向けて、市、教育委員会、学校、地域、家庭が一体となり、「いじめは起こりうるもの」として捉え、「いじめを絶対に許さない、見逃さない」という認識のもと、いじめ根絶に取り組みます。

基本方針2 学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育みます

地域に開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域が互いの役割を果たしながら、連携を進めることのできる取り組みを行います。

ボランティアや地域行事への参加を積極的に推進し、世代間交流を深めながら、市全体で青少年の健全育成に取り組めます。

基本方針3 生涯にわたる学びを支援し、人権・平和教育を推進します

自ら学ぶ風土のもと、市民の多様な学習ニーズとライフステージに応じた学習機会を提供するとともに、スポーツに親しむ環境を整備し、心と体の健康づくりを推進します。併せて、市民の多様な学びを地域に活かすための仕組みを充実させます。

人権意識を醸成し、偏見や差別のない社会を創造するとともに、平和の大切さを広め、国際交流や異文化を理解するための取り組みを行います。

基本方針4 歴史・文化の保全活用と芸術・文化の振興を推進します

「好学進取」の精神に富んだ佐倉市には、文化の発展を支える確かな気風があり、数多くの歴史文化資産が存在します。これらの特色を活かしながら、数多くの歴史文化資産を未来へ継承していくために、地域文化の振興に向けた取り組みを行います。

また、文化的行事の充実を図るとともに、市民の芸術文化活動を支援し、佐倉から芸術文化を創造・発信します。

平成28年 1月

佐倉市長 藤 和雄

佐倉の教育（平成29年度）

平成29年 7月発行

発行 佐倉市教育委員会

編集 佐倉市教育委員会事務局

〒285-8501

千葉県佐倉市海隣寺町97番地

電話 043(484)1111(代表)

<http://www.city.sakura.lg.jp>